

令和5年度

水道事業年報

和泉市上下水道部

目 次

1. 事業の経緯

(1) 沿革	1
(2) 拡張事業の経過	3
(3) 年表	5
(4) 業務量の推移	12

2. 機 構

(1) 機 構 図	15
(2) 職員配置表	16
(3) 在職年数別構成表	17
(4) 年齢別・職制構成表	17
(5) 事務分掌	18
(6) 課・係別職員数（各年度当初）	20
(7) 研修の実施状況3年度・4年度（抜粋）	22
(8) 災害応急対策概要	23
(9) 車両配置状況	25
(10) 無線局運営状況	25
(11) 電算運営状況	26

3. 財 務

(1) 決算の推移	27
(2) 損益計算書	29
(3) 資本的収支（税抜）	31
(4) 貸借対照表	33
(5) 費用構成表	37
(6) 経営分析表	40
(7) 業務分析表	42

4. 業 務

(1) 取水状況	44
(2) 配水量	46
(3) 水量分析	50
(4) 修 理	52
(5) 漏水防止	52
(6) 年度別メーター取替状況	53
(7) 加 入 金	54
(8) 手 数 料	56

5. 施設の概要

(1) 浄・配水場（池）一覧表	58
(2) 施設系統図	59
(3) 浄水施設	61
(4) 配水施設	66
(5) 施設図及び主要配管図	86
(6) 導・送・配水管布設延長	87
(7) 消火栓設置状況	88
(8) 耐震管延長	89

6. 電力・薬品

(1) 年度別使用状況	90
(2) 薬品使用量	90
(3) 施設別電力使用量及び使用料金	92

7. 水 質

(1) 水質基準	93
(2) 主な水質検査用機器	95
(3) 水質試験別検査機器・項目	96

8. 料 金

(1) 調定及び収納	97
(2) 調定状況	99
(3) 収納状況	101
(4) 納入方法	103
(5) 不納欠損金額	103
(6) 福祉減免制度実施状況	105

9. 資 料

(1) 水道料金の変せん	106
(2) 現行水道料金	113
(3) 町名別調定区分表	115
(4) 広報の実績及び主な記事	116

1. 事業の経緯

- (1) 沿 革
- (2) 拡張事業の経過
- (3) 年 表
- (4) 業務量の推移

1. 事業の経緯

(1) 沿革

水道創設

和泉市の水道は、旧和泉町、八坂町、信太村地域の飲料水不足から、上水道の布設が早くから望まれていました。このような背景のもと昭和 28 年 4 月に和泉町他 2 か町村（八坂町信太村）上水道組合として設立されました。創設事業は、昭和 28 年 10 月に認可着手し、昭和 30 年 9 月から給水を開始しました。

創設事業の計画概要は、給水人口 19,200 人 1 人 1 日平均給水量 120 ℓ と計画し、水源を大阪府営水道から 1 日平均給水量 2,300 m³を求めました。

その後、昭和 31 年 9 月の市制施行に伴う地域の拡大により、水の需要は増加の一途をたどりました。

しかし、本市は南北に細長い地勢と街が分散しているため、単一事業としての給水区域の拡大は困難で、また水源確保も難しく、各地域毎に簡易水道の事業認可を受けて着手しました。

昭和 35 年 8 月には、八坂町、信太村を編入合併と同時に、和泉町他 2 か町村上水道組合を解消し、和泉市水道事業として発足しました。



創設起工式

第 1 回拡張事業



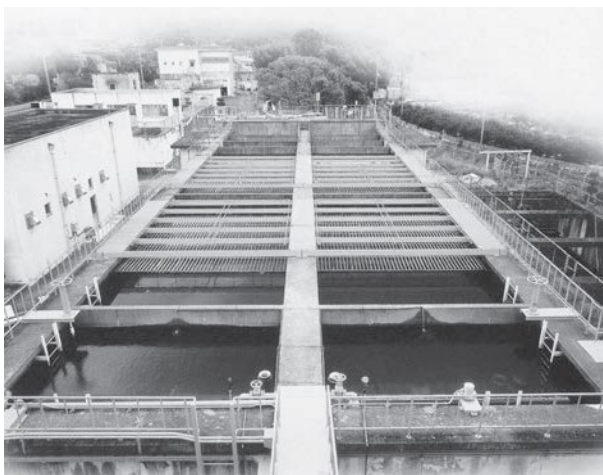
山荘配水場

市勢の発展に伴い、給水人口の増加は著しく、創設時の目標年度には既に計画給水量の 2 倍強に達しましたが、大阪府営水道の第 4 次拡張事業の受水対象から除かれていたため、契約受水量以上の受水を望むことができず、新規水源を泉北水道企業団（和泉市・泉大津市・高石市による一部事務組合）に求め、昭和 35 年 12 月に認可を得て、昭和 36 年 4 月から第 1 回拡張事業に着手、昭和 38 年度を目標として、給水人口 40,000 人、1 日最大給水量 9,600 m³とし、新たに 3,200 m³の給水能力を持つ山荘配水場を築造しました。

第 2 回拡張事業

本市における住宅開発は予想以上に進展し、水需要もこれに伴って著しい増加傾向が見られたので、第 2 回拡張事業を計画しました。

本事業計画は、和田浄水場の処理能力を 1 日最大 10,000 m³に拡張するとともに、池上浄水場（池上ポンプ所）に深井戸（1 日最大給水量 4,000 m³）を新設しました。同時期に大阪府営水道の受水池を築造しました。



和田浄水場

第 3 回拡張事業



鶴山台配水場

第 1 回、第 2 回拡張事業を実施し、堺、泉北臨海工業地の造成に伴い、その後背地としての本市丘陵地帯に住宅団地などの計画が進められましたのでこれと併せて未給水地区を解消するため、給水区域を低区、中区、高区に区分し、各区の送配水施設を整備、拡張すべく第 3 回拡張事業を計画しました。

第 3 回拡張事業は、昭和 53 年度を目標として、給水人口 165,000 人、1 日最大給水量 59,400 m³を確保するもので、昭和 41 年 2 月 2 日認可を得て、昭和 54 年 3 月に竣工しました。

水道施設等整備事業

拡張事業は完成を見たものの、経済活動の停滞に伴い、人口の伸びが鈍化傾向となり、給水能力 59,400 m³に余裕が生じたため、次期拡張事業着手までの間、水源拡張の伴わない浄水場の機械、電気、計装設備及び配水池のテレメーター、配水幹線の整備を中心として水道施設等整備事業を施行しました。



施設整備

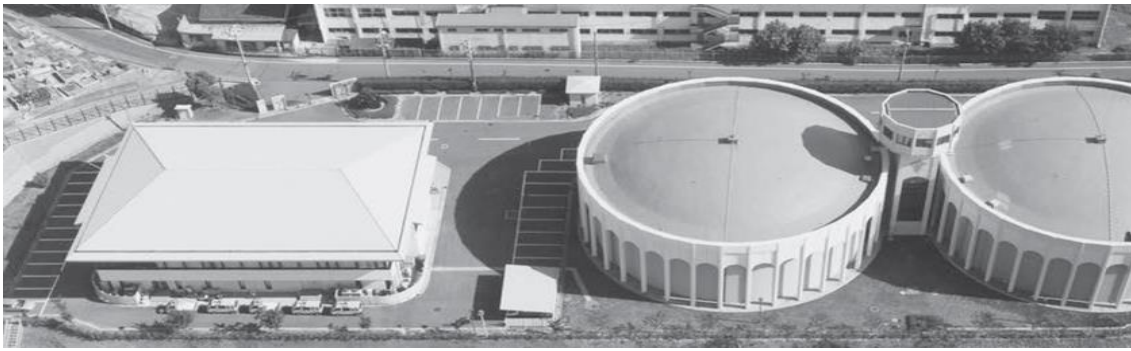
第4回拡張事業

本市丘陵地帯における新住宅市街地開発事業をはじめとして新規宅地開発が活発となり、今後の水需要の増加は必須である事から、これらに対応すべく給水条件の均等化、受水施設・送配水施設の整備拡充及び監視制御体制を強化し、広域的な施設の運用を図るため第4回拡張事業を計画しました。

第4回拡張事業は、平成27年度を目標として、給水人口199,600人、1日最大給水量90,000m³とし、将来に亘る安定供給を図るもので、平成4年3月12日認可を得て、平成28年3月に竣工しました。

(2) 拡張事業の経過

年次 項目	創設 和泉町他2か町村上水道組合	第1回拡張事業	第2回拡張事業
認可	昭和28年4月1日	昭和35年12月28日	昭和38年12月27日
起工	昭和28年10月	昭和36年4月	昭和39年4月
竣工	昭和33年3月	昭和39年3月	昭和42年3月
総事業費	88,652,000円	149,912,000円	487,992,000円
計画給水人口	19,200人	40,000人	100,000人
1日平均給水量	2,300m ³	6,800m ³	25,000m ³
1日最大給水量	3450m ³	9,600m ³	36,000m ³
1人1日最大給水量	180ℓ	240ℓ	360ℓ
水源	府営水受水（浄水） 2,300m ³ /日	府営水受水（浄水） 2,200m ³ /日 泉北水道受水（浄水） 7,400m ³ /日	府営水受水（浄水）6,930m ³ /日 泉北水道受水（浄水）7,400m ³ /日 自己水（地下水、光明池・表流水） 21,670m ³ /日
施設概要	池上ポンプ場 能力 3,450m ³ /日 黒鳥配水池 容量 1,100m ³	山荘配水場 容量 3,200m ³ 山荘配水塔 容量 105m ³	池上浄水場拡張（地下水） 処理能力 4,000m ³ /日 受水池 1,440m ³ 和田浄水場拡張（光明池分水） 処理能力 10,000m ³ /日 （簡易水道上水道事業に統合） 北田中簡水＝下宮浄水場（伏流水） 2,800m ³ /日 父鬼簡水＝父鬼浄水場（表流水） 900m ³ /日 池田広域簡水＝和田浄水場（表流水） 1,500m ³ /日
	事業名	竣工年月	事業費
	九鬼簡易水道	昭和32年8月	276万円
	北田中簡易水道	昭和33年7月	931万円
	松尾上水道	昭和36年1月	9,400万円
	父鬼簡易水道	昭和36年12月	2,002万円
	池田広域簡易水道	昭和37年10月	10,293万円



中央受配水場

第3回拡張事業	第4回拡張事業
昭和41年2月2日	平成4年3月12日
昭和41年4月	平成4年4月
昭和54年3月	平成28年3月
3,500,885,000円	15,450,688,000円
165,000人	199,600人
41,250m ³	72,800m ³
59,400m ³	90,000m ³
360ℓ	451ℓ
府営水受水（浄水）35,000m ³ /日 泉北水道受水（浄水）7,400m ³ /日 自己水（地下水、光明池・表流水） 17,000m ³ /日	府営水受水（浄水）73,000m ³ /日 泉北水道受水（浄水）5,000m ³ /日 自己水（地下水、光明池・表流水） 12,000m ³ /日
(低区) 鶴山台配水場 容量 6,000m ³ 鶴山台配水塔 容量 250m ³ (中区) 和田浄水場拡張（光明池分水）11,000m ³ /日 浄水池 容量 2,500m ³ 排水処理施設 能力 10,000m ³ /日 光明台低区配水場 容量 1,600m ³ 光明台高区配水場 容量 2,900m ³ 光明台配水塔 容量 1,600m ³ 松尾寺配水池 容量 5,000m ³ (高区) 父鬼浄水場拡張（表流水） 能力 2,000m ³ /日 春木川配水池 容量 100m ³ 坪井配水池 容量 1,000m ³ 南面利配水池 容量 180m ³ 善正加圧ポンプ所 容量 51m ³	中区配水区域 { 中区東部配水区域 { 中区西部配水区域 (低区) 耐震貯水槽（5か所） 500m ³ (中区東部) みずき台配水塔 500m ³ (中区西部) 中央受配水場 14,600m ³ テクノステージ配水池 5,000m ³ テクノステージ加圧ポンプ場 250m ³ はつが野配水場 19,000m ³ はつが野配水塔 200m ³ 耐震貯水槽 100m ³ (高区) 父鬼配水池 200m ³ 小川ポンプ所 10m ³

(3) 年 表

昭和		主 な 事 項	昭和		附 記
年	月		年	月	
28	4	和泉町他 2 か町村上水道組合創設 同年 10 月工事着手			<p>上水道組合概要</p> <p>組合構成 和泉町・八坂町・信太村</p> <p>地 勢 面積 9.7 km² 東西 3.8 km 南北 4.6 km</p> <p>給水区域内人口 33,490 人（創設時）</p> <p>水道事務所 和泉町役場内に設置</p> <p>組 織 管理者（和泉町長） 助 役（八坂町長・信太村長） 収入役（和泉町収入役） 上水道組合</p> <p>組合議会構成 15 名 和泉町 7 名・八坂町 4 名・信太村 4 名</p> <p>事業経費負担割合 和泉町 70%・八坂町 15%・信太村 15%</p> <p>35 3 泉北用水組合発足、水道用水供給事業認可を受ける。 8 和泉市と八坂町、信太村編入合併</p> <p>市勢 面積 85.44 km² 東西 6.9 km 南北 18.8 km</p> <p>世帯数 1 万 4,388 世帯 人 口 7 万 1,286 人</p> <p>和泉上水道組合解消、和泉市水道事業が発足 水道課設置 (機構) 管理者 — 所長 — 次長 水道事業所、庶務係、業務係、工務係 職員 51 名 10 名 13 名 28 名</p> <p>37 7 和泉上水道区域では急激な市勢の伸展で需要が増大し、 夏季には、末端及び高台地区で出水不良及び断水状態と なり、急拠、泉北用水組合に水源地の臨時工事により、 送水を受け断水状態を解消する。</p> <p>39 9 夏季需要期に異常な干ばつと相まって、信太地区厚生年 金住宅付近などで断水状態が続き、泉北用水組合からも 受水したが解消せず、池上浄水場水源、深井戸を仮配管 で送水し、給水の危機を脱する。</p> <p>42 1 水道部設置 地方公営企業法、一部改正に伴い管理者を不設置とする</p>
30	9	同給水開始			
31	9	和泉町隣接 6 か村合併により市制施行			
	12	九鬼簡易水道事業認可			
32	8	同給水開始			
33	3	北田中簡易水道事業認可			
	//	和泉町他 2 か町村水道事業完成			
	7	北田中簡易水道給水開始			
	8	松尾上水道事業認可			
35	8	父鬼簡易水道事業認可			
	//	池田広域簡易水道事業認可			
	//	八坂町、信太村を和泉市に編入合併			
	12	第 1 回拡張事業認可（和泉上水道）			
36	1	松尾上水道給水開始			
	4	第 1 回拡張事業着手			
	12	父鬼簡易水道給水開始			
37	4	地方公営企業法適用			
	10	池田広域簡易水道給水開始			
38	4	三林加圧ポンプ所稼働（池田広域簡易水道）			
	//	内田加圧ポンプ所稼働（松尾上水道）			
	12	北田中、父鬼、池田広域簡易水道並びに松尾上 水道を廃止し、和泉上水道事業に統合する 北 田 中 簡 易 水 道→下宮浄水場 父 鬼 簡 易 水 道→父鬼浄水場 池田広域簡易水道→和田浄水場 松 尾 上 水 道→唐国浄水場			
	//	第 2 回拡張事業認可			
39	3	第 1 回拡張事業完成			
	4	第 2 回拡張事業着手			
	8	泉北用水組合より受水開始			
	9	池上浄水場深井戸揚水開始			
40	4	料金改定			
41	2	第 3 回拡張事業認可			
	4	第 3 回拡張事業着手			
	12	和田浄水場拡張工事着手（第 2 括）			
42	3	第 2 回拡張事業完成			
	5	和田浄水場拡張工事竣工（第 2 括）			

昭和		主 な 事 項	昭和		附 記
年	月		年	月	
43	7	上町加圧ポンプ所稼働	42	1	制度に改め、事業所制を部制にする。 職員数 59名
	10	唐国浄水場廃止（和田浄水場に統合）			
44	2	料金改定			
	10	大阪府営水道第5 拡より受水開始 10月1日 和田浄水場 12月12日 池上浄水場			水道部 { 営業課 庶務・経理・給水 工務課 工務・浄水
45	3	三井受水場、三井配水塔稼働	43	4	泉北用水組合が地方公営企業法の適用を受け、 名称を泉北水道企業団に改める。
	//	第3回拡張事業変更認可	44	4	各種特殊勤務手当を特殊企業手当に統一
	4	同事業着手			
46	1	水道庁舎竣工			
	9	鶴山台配水場稼働により鶴山台団地に給水開始			
47	4	上町加圧ポンプ所廃止			
	//	配水管整備事業着手（環境改善整備事業）	47	11	無線電話装置設置 周波数 59.84MHz 基地局 10W 1局 移動局 10W 7局（車載）
48	2	和田浄水場拡張工事着工（第3 拡）			
	12	和田浄水場拡張工事竣工（第3 拡）			
49	4	配水管更生事業着手			
50	4	隔月集金検針実施			
	6	加入金制度実施	48	7	梅雨季よりの晴天続きで夏季のピーク時には異常濁水に 見舞われ、高台地区では出水不良一部断水状態となり、 市内一円にピラ及び公報車等により節水の呼びかけを行 うとともに、仕切弁減圧調整を実施する。
	//	春木川配水池稼働			
	8	父鬼浄水場拡張工事着手			
51	4	池上浄水場休止			
	10	父鬼浄水場拡張工事竣工			
52	4	酸性土壌による配水管腐蝕防止のため、ポリエ チレンスリーブ使用開始	51	8	光明台低区配水場築造工事竣工 給水方式 和田浄水場より受水、光明台高区配水場に 送水と中区東部低地域に自然流下式で配水
53	2	料金改定			
	//	善正加圧ポンプ所及び南面利配水池稼働			
	4	光明台高区、低区配水場稼働により光明台団地 給水開始（三林加圧ポンプ所休止）	9	9	光明台高区配水場及び配水塔築造工事竣工 配水方式 中区東部高地域に自然流下式で配水及び配 水塔に送水
	//	松尾寺配水池稼働により中区系統は全面自然流 下式に切り替える。（内田加圧ポンプ所休止）			
	//	漏水防止対策担当配置			
	5	福瀬加圧ポンプ所稼働	53	4	光明台高区及び低区配水場稼働 光明台団地給水中区系 （和田浄水系）の給水方式は、東部光明台高区及び低区 配水場並びに西部松尾寺配水池稼働（53.2）によりポンプ 圧送式から全面自然流下式に切り替える。 光明台団地（住・都公団） 開 発 面 積 127.8ha 計 画 給 水 人 口 10,810 人 計 画 戸 数 3,280 戸 和田浄水場水質試験室完成 理化学試験室 RC造 89.0 m ² 1棟 事 務 室 58.75 m ² 生 物 試 験 室 23.3 m ²
	10	料金改定			
54	3	和田浄水場処理施設稼働			
	//	第3回拡張事業完成			
	4	水道施設等整備事業着手			
	5	坪井配水池稼働			

昭和		主 な 事 項	昭和		附 記																												
年	月		年	月																													
54	7	下宮浄水場休止	53	4	倉庫 S造 21.26㎡ 漏防訓練設備 15.0m×12.0m 面積80㎡ 資材倉庫 鉄骨2階建 581.32㎡ 鉄骨平屋建 48.00㎡)少雨により琵琶湖水位が低下し、異常湧水に見舞われる。 水道部庁舎 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">建築費</th> <th colspan="4">延床面積(㎡)</th> </tr> <tr> <th>1F</th> <th>2F</th> <th>3F</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初分</td> <td>千円 28,960</td> <td>243.6</td> <td>248.3</td> <td>190.3</td> <td>682.2</td> </tr> <tr> <td>増築分</td> <td>43,067</td> <td>72.0</td> <td>72.0</td> <td>-</td> <td>144.0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>72,027</td> <td>315.6</td> <td>320.3</td> <td>190.3</td> <td>826.2</td> </tr> </tbody> </table>		建築費	延床面積(㎡)				1F	2F	3F	計	当初分	千円 28,960	243.6	248.3	190.3	682.2	増築分	43,067	72.0	72.0	-	144.0	計	72,027	315.6	320.3	190.3	826.2
	建築費	延床面積(㎡)																															
		1F	2F	3F		計																											
当初分	千円 28,960	243.6	248.3	190.3		682.2																											
増築分	43,067	72.0	72.0	-		144.0																											
計	72,027	315.6	320.3	190.3		826.2																											
56	4	電算機導入(NECシステム100-80)	59	10																													
57	8	和田浄水場水質試験室完成	60	2																													
58	10	水道使用料金納付制度実施	60	3																													
59	8	漏水防止訓練センター完成、資材センター完成																															
60	3	通水満30年記念事業 (黒鳥配水池苑路植樹) 通水満30年映画制作 (各小学校他ビデオ配布)																															
61	1	水道部庁舎増築工事完成																															
62	4	電算機上位機種(NECシステム・150-88)移行																															
63	8	唐国加圧ポンプ所稼働																															
63	4	財務会計電算化																															
	8	水道事業管理者設置(田中 稔氏就任)																															
	12	山荘配水場施設整備																															
平成		主 な 事 項	平成		附 記																												
年	月		年	月																													
元	3	消費税導入により給水条例改正(適用未定)	元	7	福祉減免制度 対象世帯 <ul style="list-style-type: none"> — 母子世帯 — 独居老人世帯(65歳以上) — 心身障がい者世帯(1、2級・療育手帳A) 																												
	4	管工事設計積算電算化																															
	//	耐震性を考慮し、大口径送・配水管にS形、KF形、UF形を採用																															
	7	水道料金福祉減免制度発足																															
2	4	資材入出在庫管理電算化																															
3	4	電算機導入レベルアップ(NEC 3100-A90)																															
	//	窓口入出金管理ボスシステム稼働																															
	11	ハンディ・ターミナルによる検針システム導入																															
4	3	第4回拡張事業認可																															
	4	第4回拡張事業着手																															
	10	水道フェア開催(第1回)	3	1																													
	12	検針業務委託																															
5	4	水道料金納付書シールメール化	5	4																													
	//	父兎浄水場無人化(中央監視・制御)																															
	//	耐震性を考慮し、中口径送・配水管にSⅡ形を採用																															
	9	中央受配水場築造工事起工																															
	12	新水質基準施行																															
6	1	料金改定(平25.21%)	6	1	区域外給水料金2割増廃止 福祉減免制度改正(老人夫婦世帯にも拡大) 梅雨期からの異常少雨と猛暑のため、全国的な異常湧水																												

平成		主 な 事 項	平成		附 記
年	月		年	月	
6	6	ワンタッチ給水栓無料取替(3か年計画) 漏水修理専用ダイヤル設置(0725-44-1441)	6	1	琵琶湖水位 マイナス 123 cmを記録
	10				9
7	3	中央受配水場築造工事竣工 九鬼簡易水道従量料金適用 給水車(タンクローリー)導入 容量:2kl	7	1	阪神淡路大震災発生 給水応援(芦屋市:延べ97人) 復旧工事応援(西宮市:延べ32人)
	10				
	11	田中 稔管理者退任			
8	4	谷上 徹管理者就任			
	11	電算機上位機種移行(NECシステム7200/90)			
	6	株式会社和泉市公共サービス公社業務開始			
9	4	消費税率引き上げによる給水条例改正 平成9年度 3%加算 平成10年度以降 5%加算			
10	3	みずき台配水塔竣工	12	7	池上資材センター用地一部売却及び隣接地買収 売却面積 29.66㎡ 買収面積 277.33㎡ 現有面積 5,076.34㎡
	4	規制緩和による給水条例全部改正	9	3	
	11	小口径配水管にK形を採用			
	7	府営水道高度浄水処理水全面供給			
11	3	中央監視施設・はつが野配水場・テクノステーション配水池・加圧ポンプ場竣工	10	3	部庁舎改造(会議室を1Fに) 公認業者制度→指定工事業者制度へ移行 三林送配水管布設用地買収・寄贈 買収面積 614.52㎡ 寄贈面積 316.67㎡
	11	和田浄水場排水処理施設廃止			
	4	中央監視業務一部委託			
	11	排水汚泥下水道放流	11	3	三林加圧ポンプ所進入路用地買収 107.92㎡
	12	谷上 徹管理者退任			
12	4	仲田博文管理者就任			
13	3	中央受配水場2号配水池竣工			
	4	電算機上位機種移行 (NEC Express 5800/680Ai)	4		浄水課事務所(水質係除く)中央受配水場内に移転 特殊企業手当見直し
	9	給水開始45周年記念ビデオ制作 (各小学校他配布)			
14	4	料金改定(14.63%)	12	10	大阪府営水道料金改定(18.26%)
	8	給水条例一部改正(工事負担金廃止等)			
15	4	水道法改正(貯水槽水道等)に伴う給水条例一部改正	13	4	部庁舎内総合ネットワーク確立
	10	耐震性緊急貯水槽設置(郷荘中学校グラウンド) 仲田博文管理者退任	14	3	天然ガス車導入
	12				
			15	4	コンビニによる水道料金収納業務を開始 地方独立行政法人法施行 地方自治法(指定管理者制度)一部改正
				7	
				9	

平成		主 な 事 項	平成		附 記
年	月		年	月	
16	1	長岡敏晃管理者就任	16	6	「水道ビジョン」策定・公表（厚生労働省） 水道料金等納付書変更 封書方式→シークレットメール方式 厚生労働省立入検査 支給材料制順次廃止 水道施設耐震診断実施（4 年計画） 和泉市行財政改革プラン作成 父鬼配水池及び進入路用地買収 第 4 回拡張事業認可（軽微な変更） 「和泉市水道ビジョン」策定着手 阪南水道協議会「指定工事事業者研修会」開催 福祉減免制度廃止 福祉助成制度開始 対象世帯 <ul style="list-style-type: none"> — ひとり親世帯 — 高齢者世帯（65 歳以上） — 重度障がい者世帯 — （1,2 級・療育手帳 A・精神障がい者 1 級）
17	4	新水質基準施行	17	5	
17	4	マッピングシステム稼働			
	6	長岡敏晃管理者退任			
	9	給水開始 50 周年パンフレット制作 （水道フェア他配布）		9	
	10	送・配水管にNS形を採用 給水管にポリエチレン管を採用		10	
18	3	耐震性緊急貯水槽設置（青葉はつが野小学校）	18	3	
	4	電算機上位移行 （NEC Express 5800/680xi） 水道事業管理者非設置（条例改正）	18	10	
	10	耐震性緊急貯水槽設置（富秋中学校）			
19	4	機構改革により上下水道部になる			
	10	耐震性緊急貯水槽設置（和泉中学校グラウンド）			
20	3	父鬼配水池竣工	20	3	
	9	坪井加圧ポンプ所竣工	20	9	
	10	耐震性緊急貯水槽設置（信太中学校グラウンド）			
21	4	漏水等減免制度一部改正	21	3	
	//	水道料金等滞納整理・開閉栓・清算業務委託			
22	4	大阪府営水道料金改定（用水供給料金 1 m ³ 当たり 10.1 円引き下げ）により、水道料金 4%軽減	22	3	
	//	水道検針・料金収納等業務包括委託	22	4	
23	4	直通電話設置 経営総務課 0725-99-8148 お客さまサービス課 0725-99-8149 水道工務課 0725-99-8151	23	3	
	//	経営総務課システム運用係が経営企画係と統合			
	7	小川地区特設水道から上水道となる			
			23	11	
			23	3	
	//				
	4		23	4	
	//				
	7		23	6	
			24	3	

平成		主 な 事 項	平成		附 記
年	月		年	月	
25	4	大阪広域水道企業団水道料金改定（用水供給料金1㎡当たり3円引き下げ）により水道料金8%軽減	25	3	「新水道ビジョン」策定・公表（厚生労働省）
26	1	イメージキャラクター「オッスイ」「ジョッスイ」公表			
	2	はつが野配水場2号池・配水塔竣工			
	3	上下水道部庁舎移転			
	//	耐震性緊急貯水槽設置(黒鳥小学校グラウンド)	26	7	大阪府の榎尾川改修事業に伴い 和田浄水場用地一部売却 売却面積 74.31㎡
	//	仏並配水場築造工事着工			
	4	消費税率の改正に伴う水道料金改定			
	//	上下水道管路管理システム稼働			
	//	送・配水管にGX形を採用			
	10	上下水道料金システム稼働	27	4	区域内福祉減免制度復活（区域内福祉助成制度廃止） 区域外福祉助成制度は継続 機構改革により浄化槽係編入
	12	仏並加圧ポンプ場築造工事着工			
27	5	大阪広域水道企業団との緊急連絡管設置			
	9	給水開始 60周年			
28	2	仏並加圧ポンプ場築造工事竣工	28	3	池上資材センター用地と市長部局が所管している 旧南池田第一保育園用地の一部を相互移管 池上資材センター用地移管面積 1,243.41㎡ 旧南池田第一保育園用地移管面積 2,047.30㎡ 池上資材センター現有面積 3,770.50㎡
	8	仏並配水場築造工事竣工			
	11	仏並配水場運用開始（仏並加圧ポンプ稼働）			
29	4	株式会社和泉市公共サービス公社解散			
	5	阪南水道協議会（幹事会）会長就任	29	4	大阪広域水道企業団が水道事業を開始 （四條畷市、太子町、千早赤阪村の水道事業を承継）
			10		「経営戦略」策定・公表 台風21号による土砂災害で岸和田市へ給水車派遣
30	4	九鬼簡易水道を廃止し水道事業へ統合 九鬼加圧ポンプ所運用開始	12		阪南水道協議会 指定工事事業者研修会 浪切ホール開催
	//	大阪広域水道企業団水道料金改定 （用水供給料金1㎡当たり3円引き下げ）	30	3	「水道施設等整備計画」策定・公表
				4	特殊企業手当の運用見直し
				6	大阪北部地震発生 高槻市へ給水車派遣
	11	上下水道フェア終了（池上曽根史跡公園）		9	台風21号による停電により一部マンション等で仮設 給水スタンドを設営し給水活動を実施
31	3	春木川配水池廃止			
	4	阪南水道協議会（幹事会）会長の任期終了 （泉佐野市へ引継ぎ）	31	2	大阪広域水道企業団技術研究発表会にて「簡易水道の上 水道への切替について」を発表
				4	新元号「令和」に決定
			//		大阪広域水道企業団が泉南市、阪南市、豊能町、忠岡町、 田尻町、岬町の水道事業を承継
令和		主 な 事 項	令和		附 記
年	月		年	月	
元	9	水道法改正（指定給水装置工事事業者更新制導入）に伴う給水条例一部改正	元	6	泉北水道企業団の解散に向けた取り組みを実施する旨を 議員全員協議会へ報告
	9	健康のため水を飲もう in 和泉シティプラザ開催 （水道水のPR・備蓄水の啓発等）			

令和		主 な 事 項	令和		附 記
年	月		年	月	
2	3	和泉市上下水道部応急給水活動計画を策定	3	4	大阪広域水道企業団が藤井寺市・大阪狭山市・熊取町・河内町の水道事業を承継
	//	元三井受水場解体			
	4	大阪広域水道企業団との統合に向けた検討を開始			
3	6	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う市民生活等の支援として水道基本料金を6か月分減額			
	3	泉北水道企業団解散			
//	国分配水場廃止				
4	5	はつが野配水場～仏並配水場2ルート化完了			
	1	大阪広域水道企業団と、「水道事業の統合に向けての検討、協議に関する覚書」を締結			
5	3	黒鳥配水池解体			
	3	令和5年第1回定例会における本会議で統合に関する議案が否決			

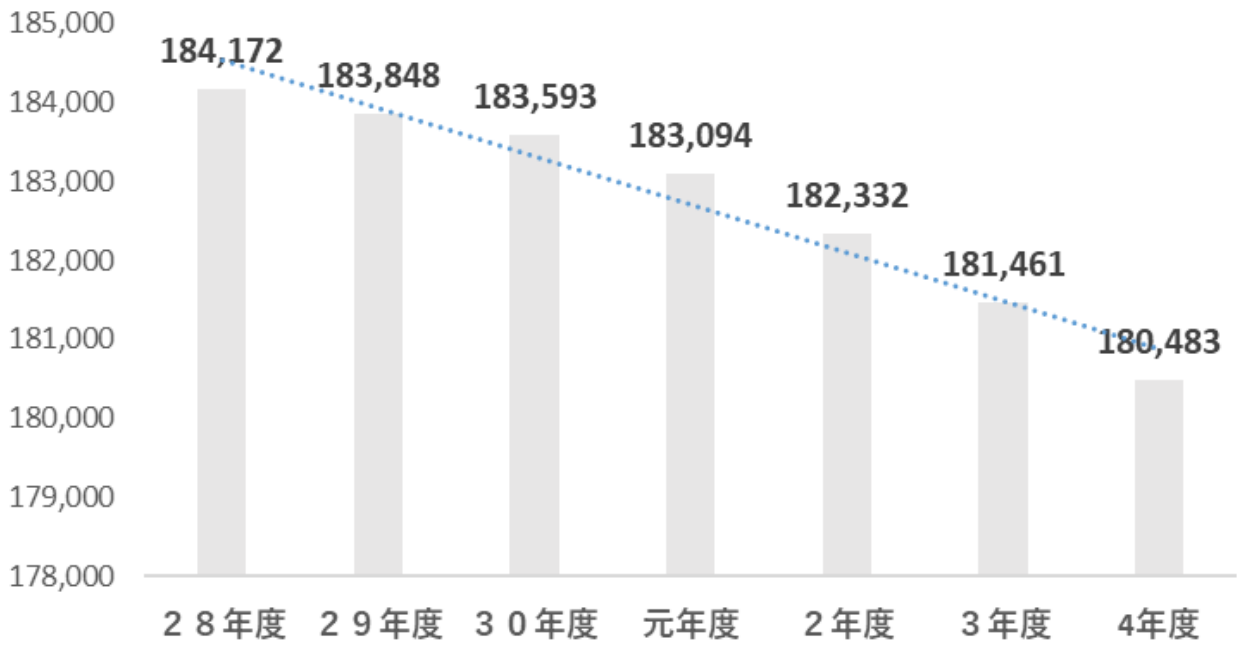
(4) 業務量の推移

項目 \ 年度	4年度	対前年 伸率%	3年度	対前年 伸率%	2年度	対前年 伸率%
① 行政区域内人口（人）	183,214	△0.5	184,185	△0.3	184,813	△0.5
② 世帯数（世帯）	81,570	0.8	80,900	0.5	80,526	0.8
③ 給水区域内人口（人）	180,488	△0.5	181,466	△0.5	182,337	△0.4
④ 普及率（％）	99.9	0.0	99.9	0.0	99.9	0.0
⑤ 給水人口（人）	180,483	△0.5	181,461	△0.5	182,332	△0.4
⑥ 給水戸数（戸）	80,231	0.8	79,573	0.5	79,202	0.9
⑦ 年間配水量（ m^3 /年）	19,255,897 (100.0%)	△1.2	19,492,621 (100.0%)	△2.1	19,906,945 (100.0%)	2.1
(1)大阪広域水道企業団水（ m^3 /年）	16,037,601 (83.3%)	△0.3	16,085,449 (82.5%)	4.4	15,400,737 (77.4%)	8.7
(2)泉北水道（ m^3 /年）					1,469,170 (7.4%)	△18.8
(3)自己水（ m^3 /年）	3,218,296 (16.7%)	△5.5	3,407,172 (17.5%)	12.2	3,037,038 (15.2%)	△13.5
⑧ 1日最大配水量（ m^3 /日）	57,310	△0.2	57,400	△1.2	58,113	1.8
⑨ 1日平均配水量（ m^3 /日）	52,756	△1.2	53,404	△2.1	54,540	2.4
⑩ 負荷率（％）	92.1	△1.1	93.0	△0.9	93.9	0.6
⑪ 1人1日最大配水量（ ℓ /日）	318	0.6	316	△0.9	319	2.2
⑫ 1人1日平均配水量（ ℓ /日）	292	△0.7	294	△1.7	299	2.7
⑬ 年間有収水量（ m^3 /年）	18,133,348	△1.2	18,353,204	△0.7	18,485,614	1.5
⑭ 有収率（％）	94.2	0.0	94.2	1.4	92.9	△0.5
⑮ 給水原価（円）	142円75銭	5.0	135円98銭	0.2	135円74銭	0.8
⑯ 供給単価（円）	144円73銭	0.4	144円18銭	10.0	131円4銭	△10.2
⑰ 公称施設能力（ m^3 /日）	77,400	0.0	77,400	0.0	77,400	0.0
⑱ 導・送・配水管延長（m）	586,011	0.7	581,894	0.2	580,676	0.7
⑲ 職員数（人）	31人	△2人	33人	△1人	34人	3人

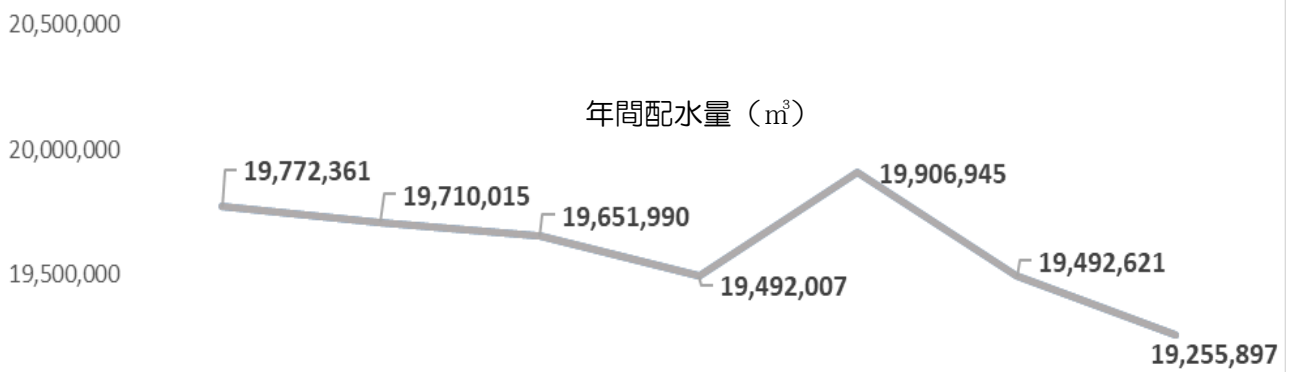
元年度	対前年 伸率%	30年度	対前年 伸率%	29年度	対前年 伸率%	28年度	対前年 伸率%
185,790	△0.1	185,890	0.0	185,936	△0.2	186,370	△0.1
79,885	1.3	78,823	1.3	77,809	0.9	77,122	1.0
183,104	△0.3	183,604	△0.1	183,859	△0.2	184,183	△1.3
99.9	0.0	99.9	0.0	99.9	0.0	99.9	0.5
183,094	△0.3	183,593	△0.1	183,848	△0.2	184,172	△0.7
78,467	1.1	77,613	1.2	76,702	0.9	76,030	0.4
19,492,007 (100.0%)	△0.8	19,651,990 (100.0%)	△0.3	1,9710,015 (100.0%)	△0.3	19,772,361 (100.0%)	△0.2
14,171,998 (72.7%)	△3.1	14,619,562 (74.4%)	1.4	14,414,840 (73.1%)	1.0	14,277,728 (72.2%)	0.4
1,809,450 (9.3%)	10.2	1,641,860 (8.4%)	△6.4	1,753,840 (8.9%)	△7.0	1,886,590 (9.5%)	0.9
3,510,559 (18.0%)	3.5	3,390,568 (17.2%)	△4.3	3,541,335 (18.0%)	△1.8	3,608,043 (18.3%)	△2.9
57,062	△2.9	58,738	0.6	58,395	△4.0	60,845	1.0
53,257	△1.1	53,841	△0.3	54,000	△0.3	54,171	0.1
93.3	1.8	91.7	△0.9	92.5	3.9	89.0	△0.9
312	△2.5	320	0.6	318	△3.6	330	1.5
291	△0.7	293	△0.3	294	0.0	294	0.7
18,205,290	△0.5	18,296,994	△0.7	18,419,618	0.1	18,397,354	0.3
93.4	0.3	93.1	△0.4	93.5	0.5	93.0	0.4
134円68銭	0.3	134円34銭	△0.8	135円36銭	3.7	130円57銭	△1.4
145円91銭	△0.4	146円45銭	△0.2	146円73銭	△0.1	146円90銭	0.3
77,400	0.0	77,400	0.0	77,400	0.0	77,400	0.0
576,506	0.6	573,350	0.7	569,339	1.1	563,026	0.9
31人	△3人	34人	1人	33人	1人	32人	△1人

職員数については再任用短時間勤務職員及び会計年度任用職員は含まない。

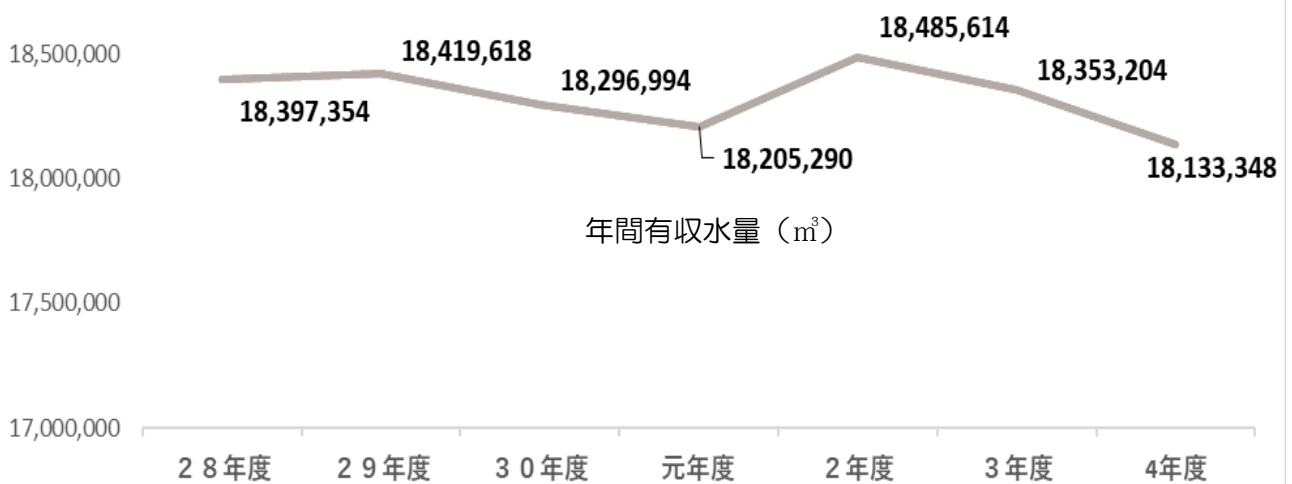
給水人口



年間配水量 (m³)



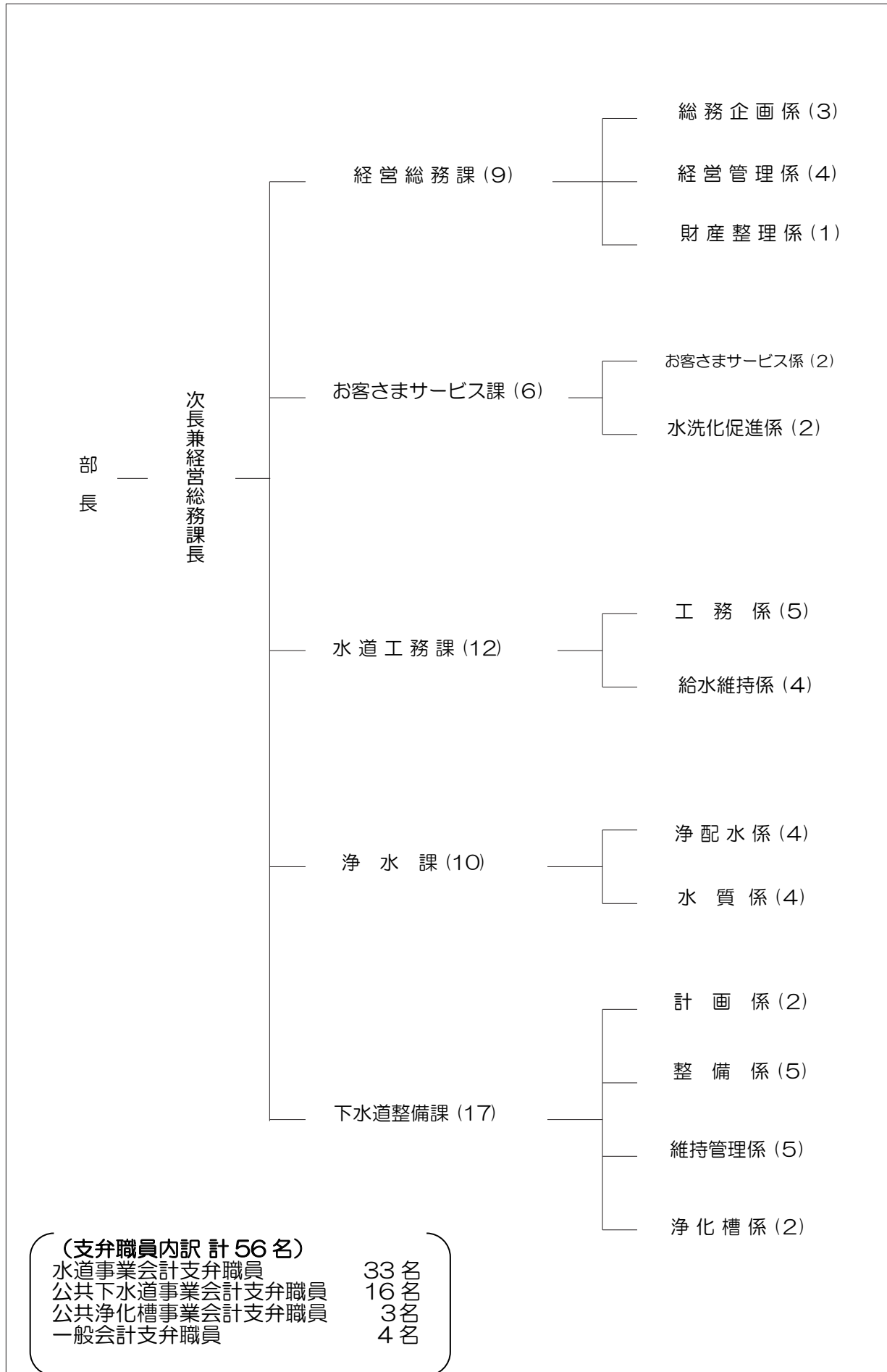
年間有収水量 (m³)



2. 機 構

- (1) 機 構 図
- (2) 職員配置表
- (3) 在職年数別構成表
- (4) 年齢別・職制構成表
- (5) 事務分掌
- (6) 課・係別職員数（各年度当初）
- (7) 水道事業研修の実施状況3年度・4年度（抜粋）
- (8) 災害応急対策概要
- (9) 車両配置状況
- (10) 無線局運営状況
- (11) 電算運営状況

(1) 機構図 (R5.4.1) 上下水道部 (56名) 《再任用フルタイム・再任用短時間を含む》



(2) 職員配置表 (水道事業会計支弁職員)

R5. 4. 1現在

課・係別	部長級		次長	課長級		補佐級		係長級		係員	計
	部長・監	理事		課長	参事	補佐	主幹	係長	主査		
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
経営総務課											
総務企画係								1		2	3
経営管理係								1		3	4
お客さまサービス課				1		1					2
お客さまサービス係								1		1	2
水道工務課				1	1	1					3
工務係								1		3	4
給水維持係										4	4
浄水課				1		1					2
浄配水係								1		3	4
水質係								1		3	4
合計	1			3	1	3		6		19	33

(3) 在職年数別構成表 (水道事業会計支弁職員)

R5. 4. 1 現在

在職年数	大卒	短卒	高卒	その他	計
5年未満	2人				2人
5年以上 10年未満	3		1		4
10年以上 15年未満	4		1		5
15年以上 20年未満	2		1		3
20年以上 25年未満	1		1		2
25年以上	10		7		17
合計	22		11		33名 平均勤続年数 21.5年

会計年度任用職員は含まない

(4) 年齢別・職制構成表 (水道事業会計支弁職員)

R5. 4. 1 現在

年令	部長級		次長	課長級		補佐級		係長級		係員	計
	部長・監	理事		課長	総括参事	補佐	主幹	係長	主査		
25才未満	人	人	人	人	人	人	人	人	人	1人	1人
25才以上 30才未満										2	2
30才以上 35才未満										3	3
35才以上 40才未満										4	4
40才以上 45才未満						1		2		1	4
45才以上 50才未満						1		2		4	7
50才以上 55才未満				1	1	1					3
55才以上 60才未満	1			2				2		1	6
60才以上										3	3
合計	1			3	1	3		6		19	33名 平均年齢 46.2才

会計年度任用職員は含まない

(5) 事務分掌

経営総務課

総務企画係

- ① 職員の任命、諸給与、分限、賞罰及び身分取扱いに関する事。
- ② 条例及び議案の原案作成並びに規程の制定改廃に関する事。
- ③ 公印の管理に関する事。
- ④ 文書の收受及び発送に関する事。
- ⑤ 職員の福利厚生、人材育成及び研修に関する事。
- ⑥ 企画及び事務改善に関する事。
- ⑦ 広報に関する事。
- ⑧ 公用車の管理に関する事。
- ⑨ 個人情報 の適正管理及び調整に関する事。
- ⑩ 電算関連業務の調整に関する事。
- ⑪ 大阪府及び大阪広域水道企業団との総合的な調整に関する事。
- ⑫ 部内の連絡調整に関する事。
- ⑬ 他の係の所掌に属しない事。

経営管理係

- ① 例月出納検査、決算審査及び決算に関する事。
- ② 業務状況の報告に関する事。
- ③ 資金計画及び評価並びに減価償却に関する事。
- ④ 予算の原案及び附属書類の作成に関する事。
- ⑤ 収入及び支出に関する事。
- ⑥ 消費税の申告事務に関する事。
- ⑦ 財産の取得、管理及び処分に関する事。
- ⑧ 企業債に関する事。
- ⑨ 工事請負その他入札執行及び契約締結に関する事。
- ⑩ 物品資材の購入及び不用品の売却に関する事。
- ⑪ 材料の受払いに関する事。

財産整理係

- ① 泉北水道企業団の解散に伴う承継事務に関する事。

お客さまサービス課

お客さまサービス係

- ① 水道料金、下水道使用料及びその他納付金の調定並びに徴収に関する事。
- ② 水道料金、下水道使用料及びその他納付金の軽減又は免除並びに滞納整理並びに停水処分に 関する事。
- ③ 水道及び公共下水道の使用又は中止に関する事。
- ④ 水道料金又は下水道使用料の精算に関する事。
- ⑤ 使用水量の計量及び認定に関する事。
- ⑥ 市の水道メーターの維持管理及び検査に関する事。
- ⑦ 料金システムの開発改良に関する事。
- ⑧ 他の係の所掌に属しない事。

水道工務課

工 務 係

- ① 拡張事業及び改良工事の設計施行に関すること。
- ② 受託工事の設計施行に関すること。
- ③ 水道の整備に係る計画立案に関すること。
- ④ 企業債及び国庫補助金申請に関すること。
- ⑤ 道路掘削、その他申請に関すること。
- ⑥ 水道事業の技術調査に関すること。

給水維持係

- ① 給水装置工事の設計審査、施行管理及び工事検査に関すること。
- ② 加入金、手数料その他の納付金に関すること。
- ③ 水道使用許可の承認に関すること。
- ④ 給配水施設及び消火栓の維持管理に関すること。
- ⑤ 漏水防止計画の策定及び調査に関すること。
- ⑥ 指定給水装置工事事業者の指定及び業者指導に関すること。
- ⑦ 開発等の協議に関すること。
- ⑧ 他の係の所掌に属しないこと。

浄 水 課

浄 配 水 係

- ① 取水及び浄水に関すること。
- ② 浄配水場その他施設の維持管理に関すること。
- ③ 浄配水場その他施設の補修改良工事に関すること。
- ④ 水運用に関すること。
- ⑤ 他の係の所掌に属しないこと。

水 質 係

- ① 水質管理に関すること。
- ② 水質検査計画に関すること。

(6) 課・係別職員数 (各年度 4.1 現在)

課・係別	14	15	16	17	18
管理者	1	1	1	1	
部長	1	1	1	1	1
理事		1	1	1	
次長	総(1)	工(2) 浄	1 浄(1)	総(3) 営(1) 浄	2 営(1) 浄
総務課	課1 参1 主(3)	課1 参1 主(3)	課1 参(2) 主(1)	課1 主(3)	課1
係	主3	主3	参3	参3	3
係	主3	主3	参3	参3	3
電算運用	主3	主3	主3	参3	2
計	11	11	10	10	9
営業課	課1 参(1)	課1 参(1)	課1 参(1)	課1 参(1)	課1 参(1)
係	参7	参7	7	6	補6
計量係	3	3	参3	参3	参3
給水係					
計	11	11	11	10	10

課・係別	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5
部長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
理事				1	1												
次長	3	2	2	経(1) 営(1)		1	1	1					工(1) 浄	1	2	1	
経課長・補佐他	課1	課1 参(1)	課1 参(1)	課1 参(1)	参1 主1	参(1)			課1 総参1	課1	課1	課1	課1	課1	課1	(課1)	
総務企画係	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
経営管理係	2	2	2	2	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	4	4	4
システム運用係	1	1	1	1													
計	8	8	8	8	8	7	6	7	8	7	7	7	7	7	8	8	7
課長・補佐他	補(1)	課1 補(1)	課1 補(1)	課1 補(1) 主(1)	課1 参(1) 主(1)	課1 参(1)	課1 補(1)	課1 補(1) 主(1)	課1 補(1)	課1 補(1)	課1 補(1)	課1 補(1)	課1 補(1)	課1 補(1)	課1 総参1	課1 補(1)	課1 補(1)
お客さま担当係	補4	補4	補4														
検針係	2	2	2														
お客さまサービス係				3	3	4	3	主3	2	補3	補3	補3	2	2	2	2	2
水酸化促進係									1		1						
計	7	8	6	6	6	6	5	5	5	4	5	5	4	4	4	4	4

(7) 研修の実施状況 令和3年度・4年度（抜粋）

主な研修の実施状況					
開催日	名称	開催	詳細	出席者	参加人数
① R3.5.25 ② R3.6.3~6.4 ③ R3.5.25 ④ R5.1.18	① 地方公営企業会計の基本 ② 初心者向けの複式簿記入門講座 ③ 地方公営企業会計基準に基づき令和4年度予算準備の進め方 ④ 地方公務員のための労働基準法と労務管理の実務	① ~ ④ オンライン	① 新任担当者向けの複式簿記の基本的な解説 ② 新任担当者向けの地方公営企業会計の全体像と基本の解説 ③ 地方公営企業会計制度の概要や予算・決算制度の概要と作成実務 ④ 労働基準法と労務管理の実務について解説	経営総務課	6名
① R3.7.14~7.15 ② R3.11.4~11.5 ③ R5.3.13	① 有機溶剤作業主任者技能講習 ② 特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習 ③ 新「化学物質規制」セミナー	工ル・おおさか	業務を行うにあたって必要な作業主任者の資格取得等	浄水課	3名
① R3.10.22 ② R3.11.1~11.2 ③ R4.6.6~6.8 ④ R4.8.9~8.10 ⑤ R4.9.2	① 漏水調査（修繕）・管路保全研修 ② 漏水調査（修繕）・管路保全研修 ③ 給水装置研修 ④ 配水管工事設計研修 ⑤ 給水装置研修 ⑥ 配水管工事施工管理研修	大阪市水道局 体験型研修センター	① 漏水調査や管路保全に関する基礎知識の習得 ② 給水装置の基準・給水装置工事研修、模擬設計研修 ③ 配水管路の設計全体の流れや手順、管路に関する技術的な基礎知識の習得 ④ 給水装置の基準・給水装置工事研修、模擬設計研修 ⑤ 配水管工事の施工管理にあたり必要な技術の習得	水道工務課	6名
① R3.11.9~11.12 ② R4.8.9 ③ R4.12.7~12.9	① 浄水場等設備技術実務研修会 ② 「水道施設耐震工法指針・解説2022」改定説明会 ③ 配管設計講習会	① 大阪市水道局体験型研修センター ② 日本水道協会大阪会館 ③ 日本水道協会大阪会館	① 浄水場の訓練用設備を利用した実習・運転操作の体験 ② 「水道施設耐震工法指針・解説2022」改定について詳細を解説し水道施設の耐震化につなげる ③ 配水管設計に関する基礎知識や、製図・積算等実務能力の習得	水道工務課	3名

(8) 災害応急対策概要

相互応援協定

協 定 名	締 結 年 月 日	協 定 機 関 名
大阪広域水道震災対策相互応援協定	平成23年4月1日	大阪府、大阪府域の市町村（大阪市を除く。）の水道事業者及び大阪広域水道企業団
【堺市】水道事業に係る災害時相互応援に関する協定	平成30年5月18日	堺市
【泉大津市・和泉市・高石市】水道事業に係る災害時相互応援に関する協定	令和2年11月25日	泉大津市、和泉市、高石市
大規模災害時救援協定	平成19年7月31日	和泉市水道管工事業協同組合
	平成20年3月3日	(株)光明製作所
	平成30年4月1日	第一環境(株)関西支店

応急給水・復旧工事主要資機材一覧表

R5.10.1 現在

種類	容量	数量	種類	台数
給水車	2 m ³	1	投光器	10
給水タンク	1 m ³	3	管切断工具	3
	0.5 m ³	3	鉄管切断機	1
揚水ポンプ付給水タンク	2 m ³	1	電気ドリル	1
組立式簡易貯水槽	1 m ³	51	水中ポンプ	9
緊急時用浄水装置	—	8	エンジンポンプ	3
仮設給水スタンド	—	55	可搬式発電機	7
給水ポリタンク	20ℓ	53	制水弁開栓棒	38
	10ℓ	62	漏水探知機	3
給水ポリ袋	10ℓ	1,100	埋設管探知機	2
	6ℓ	6,400	金属探知機	1
アルミ缶備蓄水(490ml)		21,000	音聴棒	15
			残塩測定器	7

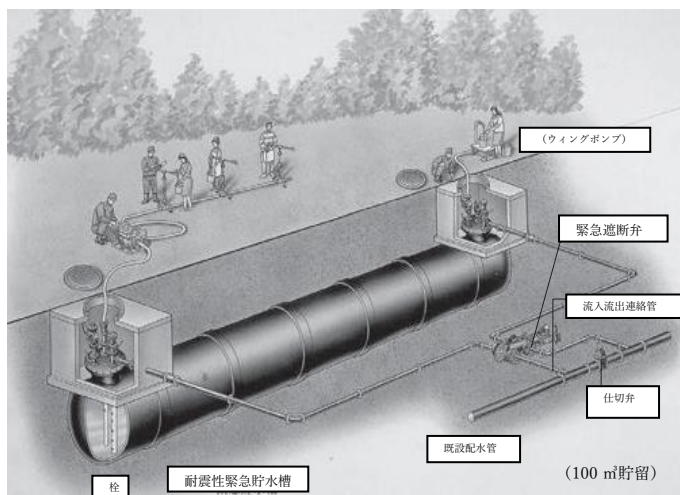
耐震性緊急貯水槽（飲料用）

設置場所	a.郷荘中学校（平成15年度） b.青葉はつが野小学校（平成17年度） c.富秋中学校（平成18年度） d.和泉中学校（平成19年度） e.信太中学校（平成20年度） f.黒鳥小学校（平成26年度）
材質	ダグタイプル鉄管（LUF形）
型式	分散型
呼び径	Φ2,600mm
長さ	19.30m
貯水容量	100 m ³
付帯設備	（郷荘中学校・富秋中学校・和泉中学校）貯水槽用緊急遮断弁Φ200（水圧感知式）（青葉はつが野小学校・信太中学校・黒鳥小学校）貯水槽用緊急遮断弁Φ150（水圧感知式）
取水方法	手動ポンプ

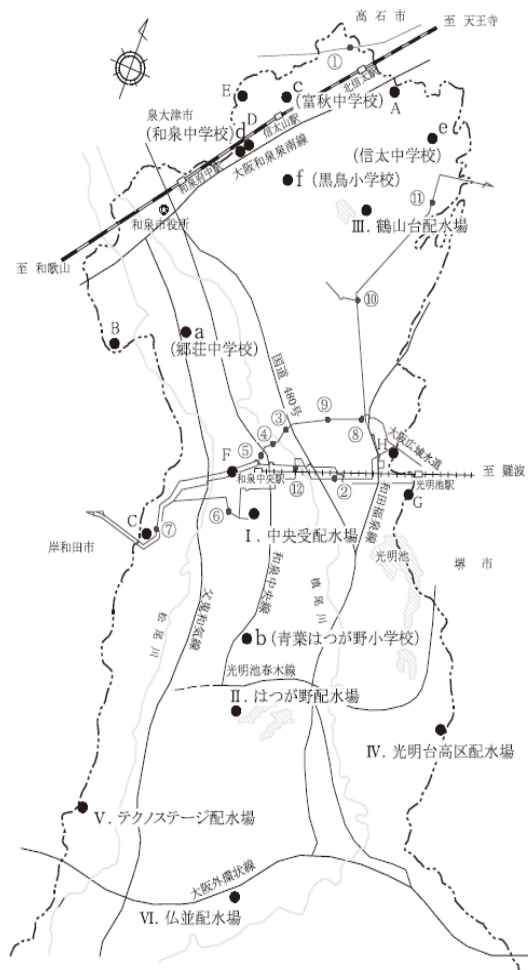


大阪広域水道あんしん給水栓設置箇所

記号	所在地
①	和泉市葛の葉町
②	和泉市池田下町
③	和泉市池田下町
④	和泉市いびき野一丁目
⑤	和泉市いびき野二丁目
⑥	和泉市唐国町二丁目
⑦	和泉市唐国町四丁目
⑧	和泉市伏屋町二丁目
⑨	和泉市池田下町
⑩	和泉市尾井町
⑪	和泉市上代町
⑫	和泉市いびき野三丁目



災害応急対策機器設置箇所図



緊急遮断弁設置箇所

記号	施設名	非常時最大貯水量
I	中央受配水場	7,300 m ³
II	はつが野配水場	9,500 m ³
III	鶴山台配水場	2,000 m ³
IV	光明台高区配水場	1,450 m ³
V	テクノステージ配水池	3,000 m ³
VI	仏並配水場	1,000 m ³
	合計	24,250 m ³

緊急連絡管設置箇所及び協定締結市

記号	所在地	口径	協定	締結日
A	和泉市上町	φ200	高石市	H13.12.25
B	和泉市小田町	φ150	岸和田市	H15.10.14
C	和泉市唐国町四丁目	φ150	岸和田市	H15.10.27
D	泉大津市東豊中町三丁目	φ150	泉大津市	H17.8.11
E	和泉市池上町	φ300	泉大津市	H17.8.11
F	和泉市唐国町	φ150	大阪広域水道企業団	H27.1.20
G	和泉市室堂町	φ150	堺市	R02.3.31
H	和泉市伏屋町三丁目	φ200	堺市	R02.3.31

(9) 車両配置状況

R5. 10. 1 現在

車種別 課・係別		普通乗用	特殊貨物	小型乗用	小型貨物	軽自動車		計	
						乗用	貨物		
							トラック		バ ン
経営総務課		1		2		1		4	
お客さまサービス課	お客さまサービス係					1	1	2	
水道工務課	工務係					1 _{MK 1}	2 _{MK 2}	7 _{MK 6}	
	給水維持係		1			2 _{MK 1}	2 _{MK 2}		
浄水課	浄配水係					1 _{MK 1}	3 _{MK 1}	6 _{MK 2}	
	水質係						1		
計		1	1	2		2	4 _{MK 3} 9 _{MK 5}	19 _{MK 8}	

※ MK (無線・広報車 [SDカード])

(10) 無線局運営状況

年月日	事項	周波数	出力		局数	呼び出し名称	
S47.11.7	開局	59.84MHz	基地局	10W	1	いずみすいどう	
			移動局	10W	車載 7	いずみすいどう1~7	
S48.2.10	増設	〃	移動局	10W	〃 1	〃 8	
S49.7.9	〃	〃	〃	〃	〃 3	〃 9~11	
S53.5.23	〃	〃	〃	〃	〃 2	〃 12・13	
S56.8.12	〃	〃	〃	〃	〃 2	〃 14・15	
S59.11.30	〃	〃	〃	〃	可搬式 1	〃 16	
H元.2.14	〃	〃	〃	〃	車載 1	〃 17	
H 6.9.27	周波数移行	364.5125MHz トーン信号67MHz)	—	—	—	—	
H 8.12.20	増設	364.5125MHz	移動局	5W	携帯式 2	いずみすいどう18・19	
H21.9.1	—	364.5125MHz トーン信号67MHz)	基地局	10W	1	いずみすいどう	
			移動局	10W15 5W2	車載 14	いずみすいどう1~17	
					携帯式 2 可搬式 1		
H23.9.1	—	364.5125MHz トーン信号67MHz)	基地局	10W	1	いずみすいどう	
			移動局	10W14 5W2	車載 13	いずみすいどう2~4	
					携帯式 2 可搬式 1	〃 6~10 〃 12~19	
H25.3.29 ~現行	移行	262.2375MHz	移動局	2W8	15	半固定型 1 車携帯型 14	ぼうさいいずみ 700 〃

(II) 電算運営状況

① 水道事業 OA 化の経緯

昭和 40 年	6 月	東芝トスバック 1100D 型導入 ※ 担当職員 2 名	【水道料金計算】
昭和 44 年	2 月	㈱岩井計算センターに委託	【水道料金調定処理】
昭和 48 年	4 月	㈱南大阪電子計算センターに委託	【水道料金調定処理】
昭和 56 年	4 月	部単独でオフィスコンピュータ (NEC システム 100-80 II) の導入並びに部内の OA 化開始 【水道料金調定・収納消込処理】	
昭和 60 年	4 月	日本語ワードプロセッサ (NEC 文豪 13N) 導入 1 台	
昭和 61 年	4 月	電算担当部門を総務課に設置 (担当職員 3 名) 上位機種移行 (NEC システム 150-88VS) と共に、日本語上下水道オンラインシステム稼働、並びに水道トータルシステム計画を確立	
昭和 62 年	4 月	企業会計システム	
昭和 63 年	3 月	指名願管理システム	
平成 元年	1 月	パーソナルコンピュータ (NEC PC9801) 導入	【水質データ管理】
	4 月	日本語ワードプロセッサ (NEC 文豪 5M) 導入 (本庁 1・2 階) // ファクシミリ (NTT FAX350T) 導入 (本庁・和田) // 管工事設計積算システム稼働	
平成 2 年	4 月	総務課に電算運用係設置 // 日本語ワードプロセッサ (NEC 文豪 5M) 導入 (和田) // 資材入庫管理システム稼働	
平成 3 年	4 月	上位機種移行 (NEC システム 3100 / A90) 11 月 ハンディ・ターミナル (キャノンモデル HT - 900) による検針システム稼働	
平成 5 年	4 月	固定資産減価償却管理システム並びに企業債管理システム稼働	
平成 6 年	4 月	ファクシミリ (NTT FAX J - 300) に移行 (本庁・和田) 12 月 管工事設計 CAD 及び積算システム構築に着手	
平成 7 年	4 月	パーソナルコンピュータ (NEC PC - 9821XS) に移行 // 日本語ワードプロセッサ (NEC 文豪 5M II) に移行 (本庁 1・2 階・和田 計 4 台)	【水質データ管理】
平成 8 年	3 月	部庁舎内 LAN 構築 (構内通信情報網) の確立	
	4 月	上位機種移行 (NEC システム 7200 / 90) // 企業会計予算編成システム稼働 6 月 ハンディ・ターミナル「キャノン HT - 970」に移行 9 月 管工事設計 CAD 積算システム稼働 12 月 ファイリングシステム構築により、給水台帳の取り込み開始 (和泉市公共サービス公社へ委託)	
平成 9 年	4 月	ファイリング用機器 (NEC・Express5800/160R.PRO) 導入と Windows NT によるクライアント・サーバー方式によるシステム稼働	
平成 11 年	4 月	中央監視制御システム稼働 (市内各配水池等の集中監視制御) // 防災システム稼働	
平成 12 年	10 月	マッピングシステム構築に着手 11 月 給水申請システム構築に着手	
平成 13 年	4 月	部庁舎内総合ネットワークの確立 // 上位機種移行 (NEC Express5800/680Ai) // ハンディ・ターミナル「キャノン HT - 280」に移行 // 管工事設計 CAD 積算新システム (AQUA -Σ for Win) に移行 10 月 浄水課ネットワークシステム稼働 12 月 給水工事申請管理システム稼働	
平成 15 年	4 月	コンビニ収納開始 // 口座振替データ伝送システム稼働	
平成 17 年	4 月	水道部マッピングシステム稼働	
平成 18 年	4 月	上位機種移行 (NEC・Express5800/680xi) ハンディ・ターミナル「キャノン KT - 1」に移行 電子計算機運営処理業務の委託 (常駐 1 名)	
平成 20 年	8 月	水道事業会計システム構築に着手	
平成 21 年	4 月	水道事業会計システム稼働	
平成 23 年	4 月	係の統合に伴う電子計算機運営処理業務の全面委託 (常駐 2 名)	
平成 23 年	7 月	水道事業電算システムにおけるバックアップシステム拡充 (中央受配水場に設置)	
平成 24 年	10 月	上下水道料金システム構築に着手	
平成 25 年	9 月	上下水道管路管理システム構築に着手	
平成 26 年	4 月	上下水道管路管理システム稼働 // ハンディ・ターミナル「キャノン KT - 2」に移行 10 月 上下水道料金システム稼働	
平成 30 年	5 月	スマートデバイス (TOUGH PAD) 等に移行	

3. 財 務

- (1) 決算の推移
- (2) 損益計算書
- (3) 資本的収支(税抜)
- (4) 貸借対照表
- (5) 費用構成表
- (6) 経営分析表
- (7) 業務分析表

3. 財務

(1) 決算の推移

経営状況

区分		年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
収益的収支	総 収 益		3,305,079	3,313,565	3,273,758	3,410,027	3,502,122
	営 業 収 益		2,759,663	2,753,072	2,512,254	2,760,685	2,844,454
	うち	給 水 収 益	2,624,356	2,646,079	2,422,422	2,656,291	2,679,573
		一般会計等繰入金	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
	営 業 外 収 益		513,946	560,493	759,152	648,240	656,241
	うち	一般会計等繰入金	3,954	4,050	4,559	3,983	3,480
		長期前受金戻入	407,611	457,063	513,543	529,784	534,025
	総 費 用		3,029,170	2,980,018	3,041,603	3,009,343	3,077,319
	営 業 費 用		2,980,513	2,922,913	2,965,969	2,941,269	3,003,959
	うち	職 員 給 与 費	234,722	224,826	242,821	233,501	242,778
		受 水 費	1,200,604	1,207,242	1,188,285	1,174,534	1,194,864
		減 価 償 却 費	877,457	935,144	987,742	1,003,292	1,001,673
	営 業 外 費 用		47,199	55,520	71,429	65,094	71,441
	うち	支 払 利 息	42,618	49,814	56,788	63,549	70,137
一 時 借 入 金 利 息		0	0	0	0	0	
特別損益	経 常 損 益 (A)		245,897	335,132	234,008	402,562	425,295
	特 別 利 益		31,470	0	2,352	1,102	1,427
	うち	一般会計等繰入金	0	0	0	0	0
	特 別 損 失		1,458	1,585	4,205	2,980	1,919
	差 引 (B)		30,012	△ 1,585	△ 1,853	△ 1,878	△ 492
純 損 益 (A) + (B)		275,909	333,547	232,155	400,684	424,803	
利 益 剰 余 金		2,431,122	2,448,008	2,210,607	2,458,690	2,058,006	
資本的収支	資 本 的 収 入		60,607	36,886	372,627	371,585	311,000
	うち	企 業 債	0	0	0	0	0
		一般会計等繰入金	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
	資 本 的 支 出		994,090	866,662	1,014,129	978,035	895,502
	うち	建 設 改 良 費	726,895	606,662	761,103	731,771	654,022
		職 員 給 与 費	36,406	33,848	30,615	29,920	30,089
		企 業 債 償 還 金	267,195	260,000	253,026	246,264	241,480
差 引		△ 933,483	△ 829,776	△ 641,502	△ 606,450	△ 584,502	
不 良 債 務		0	0	0	0	0	
営業収益に対する割合	単年度欠損金比率		—	—	—	—	—
	累積欠損金比率		—	—	—	—	—
	不良債務比率		—	—	—	—	—
総 収 益 対 総 費 用 比 率		109.1	111.2	107.6	113.3	113.8	
一般会計から繰入金総額		21,954	22,050	22,559	21,983	21,480	
年度末企業債現在高		1,718,465	1,985,661	2,245,661	2,498,686	2,744,951	
年度末一時借入金現在高		0	0	0	0	0	

※資本的収支については、消費税相当額を含む。

(単位：千円)

平成29年度	平成28年度	対前年度比(%)						
		4	3	2	元	30	29	28
3,517,088	3,475,990	99.74	101.22	96.00	97.00	100.00	101.00	98.00
2,847,414	2,816,136	100.24	109.59	91.00	97.00	100.00	101.00	99.00
2,702,732	2,702,531	99.18	109.23	91.00	99.00	99.00	100.00	101.00
7,000	7,000	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
667,800	659,854	91.70	73.83	117.00	99.00	98.00	101.00	97.00
3,250	3,568	97.63	88.84	114.00	114.00	107.00	91.00	106.00
535,142	540,378	89.18	89.00	97.00	99.00	100.00	99.00	99.00
3,097,279	2,989,518	101.65	97.98	101.00	98.00	99.00	104.00	97.00
3,016,815	2,895,314	101.97	98.55	101.00	98.00	100.00	104.00	97.00
257,526	236,854	104.40	92.59	104.00	96.00	94.00	109.00	93.00
1,231,884	1,228,408	99.45	101.60	101.00	98.00	97.00	100.00	100.00
1,006,507	949,722	93.83	94.67	98.00	100.00	100.00	106.00	102.00
77,984	89,790	85.01	77.73	110.00	91.00	92.00	87.00	90.00
76,604	82,882	85.55	87.72	89.00	91.00	92.00	92.00	90.00
0	0	—	—	—	—	—	—	—
420,415	490,886	73.37	143.21	58.00	95.00	101.00	86.00	107.00
1,874	0	—	0.00	213.00	77.00	76.00	—	—
0	0	—	—	—	—	—	—	—
2,480	4,414	91.99	37.69	141.00	155.00	77.00	56.00	37.00
△ 606	△ 4,414	—	—	—	—	—	—	—
419,809	486,472	—	—	—	—	—	—	—
1,633,202	1,213,394	—	—	—	—	—	—	—
361,000	316,380	164.31	9.899	100.00	119.00	86.00	114.00	192.00
0	0	—	—	—	—	—	—	—
11,000	11,000	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
860,651	1,576,685	114.70	85.46	104.00	109.00	104.00	55.00	115.00
621,865	1,345,468	119.82	79.91	104.00	112.00	105.00	46.00	128.00
27,370	31,500	107.56	110.56	102.00	99.00	110.00	87.00	50.00
238,786	231,217	102.77	102.76	103.00	102.00	101.00	103.00	72.00
△ 499,651	△ 1,260,305	—	—	—	—	—	—	—
0	0	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
113.6	116.3	—	—	—	—	—	—	—
21,250	21,568	0.9956	97.74	103.00	102.00	101.00	99.00	101.00
2,986,431	3,225,216	0.8654	88.42	90.00	91.00	92.00	93.00	93.00
0	0	—	—	—	—	—	—	—

(2)損益計算書

科目	令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
事業収益	3,305,079	100.0	3,313,565	100.0	3,273,758	100.0	3,410,027	100.0
営業収益	2,759,663	83.5	2,753,072	83.1	2,512,254	76.7	2,760,685	81.0
給水収益	2,624,356	79.4	2,646,079	79.9	2,422,422	74.0	2,656,291	77.9
受託工事収益	25,815	0.8	19,741	0.6	6,475	0.2	13,483	0.4
その他営業利益	109,492	3.3	87,252	2.6	83,357	2.5	90,911	2.7
営業外収益	513,946	15.6	560,493	16.9	759,152	23.2	648,240	19.0
受取利息及び配当金	0	—	0	—	1,825	0.1	4,287	0.1
加入金	84,160	2.5	82,390	2.5	86,440	2.6	94,970	2.8
雑収益	18,221	0.6	16,990	0.5	15,910	0.5	15,216	0.5
他会計補助金	3,954	0.1	4,050	0.1	141,434	4.3	3,983	0.1
長期前受金戻入	407,611	12.3	457,063	13.8	513,543	15.7	529,784	15.5
特別利益	31,470	1.0	0	—	2,352	0.1	1,102	0.0
過年度損益修正益	11	0.0	0	—	2,352	0.1	1,102	0.0
固定資産売却益	31,165	0.9	0	—	0	—	0	—
その他特別利益	294	0.0	0	—	0	—	0	—
事業費用	3,029,169	100.0	2,980,018	100.0	3,041,603	100.0	3,009,343	100.0
営業費用	2,980,513	98.4	2,922,913	98.0	2,965,969	97.5	2,941,269	97.7
原水及び浄水費	1,591,267	52.5	1,491,817	50.0	1,508,853	49.6	1,482,444	49.3
配水及び給水費	174,340	5.8	178,780	6.0	166,373	5.5	134,789	4.5
受託工事費	31,589	1.0	25,627	0.9	14,538	0.5	24,751	0.8
業務費	155,257	5.1	151,160	5.0	149,093	4.9	150,641	5.0
総係費	144,521	4.8	136,283	4.6	132,252	4.3	133,138	4.4
減価償却費	877,457	29.0	935,144	31.4	987,742	32.5	1,003,292	33.3
資産消耗費	6,082	0.2	4,102	0.1	7,118	0.2	12,214	0.4
その他営業費用	0	—	0	—	0	—	0	—
営業外費用	47,199	1.6	55,520	1.9	71,429	2.4	65,094	2.2
支払利息	42,618	1.4	49,814	1.7	56,788	1.9	63,549	2.1
雑支出	4,581	0.2	5,706	0.2	14,641	0.5	1,545	0.1
他会計補助金	0	—	0	—	0	—	0	—
特別損失	1,457	0.0	1,585	0.1	4,205	0.1	2,980	0.1
過年度損益修正損	1,457	0.0	1,585	0.1	4,205	0.1	2,980	0.1
その他特別損失	0	—	0	—	0	—	0	—
当年度純損益	275,909	—	333,547	—	232,155	—	400,684	—

平成30年度		平成29年度		平成28年度		対前年度比(%)						
金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	4	3	2	元	30	29	28
3,502,122	100.0	3,517,088	100.0	3,475,990	100.0	99.74	101.22	96.00	97.37	99.57	101.18	98.26
2,844,454	81.2	2,847,414	81.0	2,816,136	81.0	100.24	109.59	91.00	97.06	99.90	101.11	98.65
2,679,573	76.5	2,702,732	76.8	2,702,531	77.7	99.18	109.23	91.20	99.13	99.14	100.01	100.65
87,796	2.5	68,896	2.0	33,338	1.0	130.77	304.88	48.02	15.36	127.43	206.66	44.55
77,085	2.2	75,786	2.2	80,267	2.3	125.49	104.67	91.69	117.94	101.71	94.42	84.73
656,241	18.8	667,800	18.9	659,854	19.0	91.70	73.83	117.11	98.78	98.27	101.20	96.68
4,691	0.2	7,050	0.2	8,422	0.2	—	0.00	42.57	91.36	66.54	83.71	71.87
97,730	2.8	106,470	3.0	90,510	2.6	102.15	95.31	91.02	97.18	91.79	117.63	87.00
16,315	0.5	15,888	0.4	16,976	0.5	107.25	106.79	104.56	93.26	102.69	93.59	83.65
3,480	0.1	3,250	0.1	3,568	0.1	97.63	286.40	—	114.45	107.08	91.09	106.32
534,025	15.2	535,142	15.2	540,378	15.6	89.18	89.00	96.63	99.21	99.79	99.03	99.49
1,427	0.0	1,874	0.1	0	—	—	0.00	213.43	77.22	76.15	—	0.00
53	0.0	1,874	0.1	0	—	—	0.00	213.43	—	283.00	—	0.00
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
1,374	0.0	0	—	0	—	—	—	—	0.00	—	—	—
3,077,319	100.0	3,097,279	100.0	2,989,518	100.0	101.65	97.98	101.07	97.79	99.36	103.60	96.75
3,003,959	97.6	3,016,815	97.4	2,895,314	96.9	101.97	98.55	100.84	97.91	99.57	104.20	97.22
1,501,504	48.8	1,527,037	49.3	1,496,511	50.1	106.67	98.87	101.78	98.73	98.33	102.04	99.88
139,954	4.5	140,256	4.5	139,047	4.6	97.52	107.46	123.43	96.31	99.78	100.87	96.31
83,347	2.7	66,333	2.1	42,494	1.4	123.26	176.28	58.74	29.70	125.65	156.10	40.25
147,156	4.8	147,408	4.8	142,326	4.8	102.71	101.39	98.97	102.37	99.83	103.57	97.43
117,794	3.8	121,143	3.9	118,269	4.0	106.04	103.05	99.33	113.03	97.24	102.43	83.55
1,001,673	32.6	1,006,507	32.5	949,722	31.8	93.83	94.67	98.45	100.16	99.52	105.98	101.64
12,531	0.4	8,131	0.3	6,945	0.2	148.27	57.63	58.28	97.47	154.11	117.08	89.36
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
71,441	2.3	77,984	2.5	89,790	3.0	85.01	77.73	109.73	91.12	91.61	86.85	89.89
70,137	2.3	76,604	2.5	82,881	2.8	85.55	87.72	89.36	90.61	91.56	92.43	89.60
1,304	0.0	1,380	0.0	6,909	0.2	80.28	38.97	947.64	118.48	94.49	19.97	93.48
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
1,919	0.1	2,480	0.1	4,414	0.1	91.92	37.69	141.11	155.29	77.38	56.18	37.03
1,919	0.1	2,480	0.1	4,414	0.1	91.92	37.69	141.11	155.29	77.38	56.18	292.12
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	0.00
424,803	—	419,809	—	486,472	—	82.72	143.67	57.94	94.32	101.19	86.30	108.69

(3)資本的収支（税抜）

科目	年度	令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
資本的収入		60,607	100.0	36,886	100.0	372,627	100.0	371,585	100.0
1.企業債		0	—	0	—	0	—	0	—
2.工事負担金		39,976	66	25,886	70.2	61,627	16.5	60,585	16.3
3.他会計負担金		11,000	18.1	11,000	29.8	11,000	3.0	11,000	3.0
4.その他負担金		0	—	0	—	0	—	0	—
5.固定資産売却代金		9,631	15.9	0	—	0	—	0	—
6.国庫補助金		0	—	0	—	0	—	0	—
7.他会計補助金		0	—	0	—	0	—	0	—
8.一般会計貸付金返還金		0	—	0	—	300,000	80.5	300,000	80.7
9.出資金返還金		0	—	0	—	0	—	0	—
資本的支出		932,450	100.0	815,657	100.0	949,143	100.0	919,280	100.0
1.建設改良費		665,254	71.3	555,657	68.1	696,117	73.3	673,016	73.2
(1)改良工事費		631,851	67.7	529,845	65.0	573,022	60.3	609,310	66.3
(2)拡張事業費		0	—	0	—	0	—	0	—
(3)中央丘陵水道施設建設事業費		0	—	0	—	0	—	0	—
(4)営業設備費		33,403	3.6	25,812	3.1	123,095	13.0	63,706	6.9
2.企業債償還金		267,196	28.7	260,000	31.9	253,026	26.7	246,264	26.8
3.補助金返還金		0	—	0	—	0	—	0	—
4.出資金		0	—	0	—	0	—	0	—
5.長期貸付金		0	—	0	—	0	—	0	—
差引不足額		871,843	—	778,771	—	576,516	—	547,695	—

平成30年度		平成29年度		平成28年度		対前年度比(%)						
金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	4	3	2	元	30	29	28
311,000	100.0	361,000	100.0	316,044	100.0	164.30	98.99	100.28	119.48	86.15	114.22	192.30
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
0	—	0	—	5,044	1.6	154.43	42.00	101.72	—	—	0.00	150.88
11,000	3.5	11,000	3.0	11,000	3.5	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
300,000	96.5	300,000	83.1	300,000	94.9	—	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	200.00
0	—	50,000	13.9	0	—	—	—	—	—	0.00	—	—
850,945	100.0	818,123	100.0	1,476,219	100.0	114.32	85.94	103.25	108.03	104.01	55.42	113.96
609,465	71.6	579,337	70.8	1,245,002	84.3	119.72	79.82	103.43	110.43	105.20	46.53	127.73
567,859	66.7	483,662	59.1	1,209,197	81.9	119.25	92.47	94.04	107.30	117.41	40.00	127.88
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
41,606	4.9	95,675	11.7	35,805	2.4	129.41	20.97	193.22	153.12	43.49	267.21	122.70
241,480	28.4	238,786	29.2	231,217	15.7	102.77	102.76	102.75	101.98	101.13	103.27	72.12
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
539,945	—	457,123	—	1,160,175	—	111.95	135.08	105.26	101.44	118.12	39.40	102.58

(4) 貸借対照表

①借方

科目	令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
資 産	24,965,564	100.0	25,145,665	100.0	25,576,459	100.0	25,924,830	100.0
固定資産	22,254,609	89.1	22,313,846	88.7	22,693,543	88.7	23,202,464	89.5
有形固定資産	22,254,609	89.1	22,313,846	88.7	22,693,543	88.7	22,902,464	88.3
土地	1,142,317	4.6	1,151,948	4.6	1,151,948	4.5	1,151,948	4.4
建物	1,116,700	4.5	1,150,879	4.6	1,188,545	4.6	1,213,279	4.7
構築物	18,227,588	73.0	18,138,290	72.1	18,225,825	71.2	18,379,692	70.9
機械及び装置	1,495,190	6.0	1,597,225	6.3	1,779,139	7.0	1,859,723	7.2
量水器	92,006	0.4	94,537	0.4	99,699	0.4	101,838	0.4
車両及び運搬具	1,361	0.0	1,361	0.0	1,502	0.0	2,190	0.0
工具器具及び備品	156,063	0.6	160,876	0.6	169,626	0.7	172,458	0.6
建設仮勘定	23,384	0.1	18,730	0.1	77,259	0.3	21,336	0.1
投資	0	—	0	—	0	—	300,000	1.2
出資金	0	—	0	—	0	—	0	—
長期貸付金	0	—	0	—	0	—	300,000	1.2
流動資産	2,710,955	10.9	2,831,819	11.3	2,882,916	11.3	2,722,366	10.5
現金預金	2,241,212	9.0	2,345,968	9.3	2,433,939	9.5	2,289,975	8.8
未収金	420,574	1.7	384,965	1.5	388,280	1.5	396,074	1.5
保管有価証券	0	—	0	—	0	—	0	—
貯蔵品	44,598	0.2	36,807	0.2	36,267	0.2	36,018	0.2
その他流動資産	4,571	0.0	64,079	0.3	24,430	0.1	299	0.0
仮 払 金	0	—	0	—	0	—	0	—

平成30年度		平成29年度		平成28年度		対前年度比(%)						
金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	4	3	2	元	30	29	28
26,249,771	100.0	26,446,292	100.0	26,667,508	100.0	99.28	98.32	98.66	98.76	99.26	99.17	99.36
23,798,627	90.7	24,466,770	92.5	25,089,638	94.1	99.73	98.33	97.81	97.49	97.27	97.52	100.24
23,198,627	88.4	23,566,770	89.1	23,839,638	89.4	99.73	98.33	99.09	98.72	98.44	98.86	101.53
1,151,948	4.4	1,151,948	4.3	1,151,948	4.3	99.16	100.00	100.00	96.76	100.00	100.00	100.00
1,253,851	4.8	1,294,566	4.9	1,335,382	5.0	97.03	96.83	97.96	96.76	96.85	96.94	105.28
18,442,738	70.2	18,578,503	70.2	18,613,284	69.8	100.49	99.52	99.16	99.66	99.27	99.81	105.74
2,087,055	8.0	2,268,084	8.6	2,509,947	9.4	93.61	89.73	95.67	89.11	92.02	90.36	129.10
101,305	0.4	98,905	0.4	98,086	0.4	97.32	94.82	97.90	100.53	102.43	100.83	104.68
3,459	0.0	5,200	0.0	7,559	0.0	100.00	90.61	68.58	63.31	66.52	68.79	72.84
144,786	0.5	147,914	0.6	91,780	0.4	97.01	94.84	98.36	119.11	97.89	161.16	86.24
13,485	0.1	21,650	0.1	31,652	0.1	124.85	24.24	362.11	158.22	62.29	68.40	2.43
600,000	2.3	900,000	3.4	1,250,000	4.7	—	—	0.00	50.00	66.67	72.00	80.65
0	0	0	—	50,000	0.2	—	—	—	—	—	0.00	100.00
600,000	2.3	900,000	3.4	1,200,000	4.5	—	—	0.00	50.00	66.67	75.00	80.00
2,451,144	9.3	1,979,522	7.5	1,577,870	5.9	95.73	98.23	105.90	111.07	123.83	125.46	87.22
2,040,812	7.8	1,548,908	5.9	1,175,073	4.4	95.53	86.39	106.29	112.21	131.76	131.81	86.09
376,638	1.4	387,269	1.5	369,726	1.4	109.25	99.15	98.03	105.16	97.25	104.74	89.41
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
33,668	0.1	34,679	0.1	33,045	0.1	121.17	101.49	100.69	106.98	97.08	104.94	108.34
26	0.0	8,666	0.0	26	0.0	7.13	262.30	817.05	1150.00	0.300	—	—
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—

②貸方

科目	令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
負債・資本	24,965,563	100.0	25,145,665	100.0	25,576,459	100.0	25,924,830	100.0
負債	12,050,082	48.3	12,506,092	49.7	13,270,433	51.9	13,850,960	53.4
固定負債	1,685,448	6.8	1,933,397	7.7	2,217,369	8.7	2,463,048	9.5
建設改良等の財源に充てるための企業債	1,462,158	5.9	1,718,465	6.8	1,985,661	7.8	2,245,661	8.7
退職給付引当金	223,290	0.9	214,932	0.9	231,708	0.9	217,387	0.8
流動負債	668,286	2.7	692,062	2.7	760,479	3.0	743,535	2.9
建設改良の財源に充てるための企業債	256,307	1.0	267,196	1.0	260,000	1.0	253,026	1.0
未払金	345,318	1.4	348,781	1.4	427,048	1.7	417,292	1.6
前受金	32,131	0.1	42,450	0.2	39,302	0.2	38,596	0.1
預り金	13,375	0.1	11,809	0.0	12,311	0.0	13,112	0.1
引当金	21,155	0.1	21,826	0.1	21,818	0.1	21,509	0.1
預り担保有価証券	0	—	0	—	0	—	0	—
繰延収益	9,696,348	38.8	9,880,633	39.3	10,292,585	40.2	10,644,377	41.0
資本	12,915,481	51.7	12,639,573	50.3	12,306,026	48.1	12,073,870	46.6
資本金	10,484,359	42.0	10,191,565	40.5	10,095,419	39.5	9,615,180	37.1
自己資本金	10,484,359	42.0	10,191,565	40.5	10,095,419	39.5	9,615,180	37.1
借入資本金	0	—	0	—	0	—	0	—
剰余金	2,431,122	9.7	2,448,008	9.8	2,210,607	8.6	2,458,690	9.5
資本剰余金	0	—	0	—	0	—	0	—
利益剰余金	2,431,122	9.7	2,448,008	9.8	2,210,607	8.6	2,458,690	9.5
減債積立金	2,804	0.0	0	—	156,854	0.6	0	—
建設改良積立金	1,249,221	5.0	1,332,060	5.3	1,300,000	5.1	0	—
当年度末処分利益剰余金	1,179,097	4.7	1,115,948	4.5	753,753	2.9	2,458,690	9.5

平成30年度		平成29年度		平成28年度		対前年度比(%)						
金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	4	3	2	元	30	29	28
26,249,772	100.0	26,446,292	100.0	26,667,508	100.0	99.28	98.32	98.66	98.76	99.26	99.17	99.36
14,576,586	55.5	15,197,910	57.4	15,838,934	59.4	96.35	94.24	95.81	95.02	95.91	95.95	96.02
2,724,488	10.4	2,964,709	11.2	3,203,580	12.0	87.18	87.19	90.03	90.40	91.90	92.54	94.26
2,498,687	9.5	2,744,951	10.4	2,986,431	11.2	85.09	86.54	88.42	89.87	91.03	91.91	93.38
225,801	0.9	219,758	0.8	217,149	0.8	103.89	92.76	106.59	96.27	102.75	101.20	108.21
799,800	3.0	700,635	2.6	747,263	2.8	96.56	91.00	102.28	92.97	114.15	93.76	96.97
246,264	0.9	241,480	0.9	238,786	0.9	95.92	102.77	102.76	102.75	101.98	101.13	92.42
481,530	1.8	380,882	1.4	426,979	1.6	99.01	81.67	102.34	86.66	126.42	89.20	97.46
36,750	0.1	46,550	0.2	52,267	0.2	75.69	108.01	101.83	105.02	78.95	89.06	130.64
13,469	0.1	11,221	0.0	11,116	0.0	113.26	95.92	93.89	97.35	120.03	100.94	79.26
21,787	0.1	20,502	0.1	18,115	0.1	96.93	100.04	101.44	98.72	106.27	113.18	89.99
0	0	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
11,052,298	42.1	11,532,566	43.6	11,888,091	44.6	98.13	96.00	96.70	96.31	95.84	97.01	96.44
11,673,186	44.5	11,248,382	42.6	10,828,574	40.6	102.18	102.71	101.92	103.43	103.78	103.88	104.70
9,615,180	36.6	9,615,180	36.4	9,615,180	36.0	102.87	100.95	104.99	100.00	100.00	100.00	100.00
9,615,180	36.6	9,615,180	36.4	9,615,180	36.0	102.87	100.95	104.99	100.00	100.00	100.00	100.00
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
2,058,006	7.9	1,633,202	6.2	1,213,394	4.6	99.31	110.74	89.91	119.47	126.01	134.60	166.92
0	—	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—
2,058,006	7.9	1,633,202	6.2	1,213,394	4.6	99.31	110.74	89.91	119.47	126.01	134.60	166.92
15,000	0.1	15,000	0.1	15,000	0.1	—	0.00	—	0.00	100.00	100.00	100.00
0	—	0	—	0	—	93.78	102.47	—	—	—	—	—
2,043,006	7.8	1,618,202	6.1	1,198,394	4.5	105.66	148.05	30.66	120.35	126.25	135.03	168.33

(5) 費用構成表

年 度		令和4年度			令和3年度		
有 収 水 量 (m ³)		18,133,348			18,353,204		
項 目		金額 (千円)	割合 (%)	原 価 (円)	金額 (千円)	割合 (%)	原 価 (円)
職 員 給 与 費	1. 給 料	107,293	4.1	5.92	105,700	4.2	5.76
	2. 手 当	71,118	2.7	3.92	77,514	3.1	4.22
	3. 報 酬	4,025	0.2	0.22	4,272	0.2	0.23
	4.法定福利費	36,718	1.4	2.02	37,935	1.5	2.07
	5.退職給与金	38,078	1.5	2.10	22,741	0.9	1.24
	計	257,232	9.9	14.18	248,162	9.9	13.52
6. 受 水 費		1,200,604	46.4	66.21	1,207,242	48.4	65.78
7. 動 力 費		87,903	3.4	4.85	69,374	2.8	3.78
8. 薬 品 費		10,117	0.4	0.56	10,040	0.4	0.55
9. 修 繕 費		17,909	0.7	0.99	18,223	0.7	0.99
10. 材 料 費		2,680	0.1	0.15	1,612	0.1	0.09
11. 委 託 料		322,780	12.5	17.80	257,325	10.3	14.02
12.請負工事費		97,621	3.8	5.38	89,301	3.6	4.87
13.減価償却費		877,457	33.9	48.39	935,144	37.5	50.95
14.支 払 利 息		42,618	1.6	2.35	49,814	2.0	2.71
15. そ の 他		79,202	3.1	4.37	66,569	2.6	3.62
16.長期前受金戻入		△ 407,611	△ 15.7	△ 22.48	△ 457,063	△ 18.3	△ 24.90
給 水 原 価 計		2,588,512	100.0	142.75	2,495,743	100.0	135.98
総 費 用 合 計		3,029,170			2,980,018		
供 給 単 価		2,624,356		144.73	2,646,079		144.18

令和2年度			令和元年度			平成30年度		
18,485,614			18,205,290			18,296,994		
金額(千円)	割合(%)	原価(円)	金額(千円)	割合(%)	原価(円)	金額(千円)	割合(%)	原価(円)
114,554	4.5	6.20	112,979	4.6	6.21	117,704	4.8	6.43
77,365	3.1	4.19	71,859	2.9	3.95	74,486	3.0	4.07
0	—	—	0	—	—	0	—	—
40,064	1.6	2.17	39,404	1.6	2.16	40,944	1.7	2.24
14,830	0.6	0.80	26,677	1.1	1.46	9,644	0.4	0.53
246,813	9.8	13.36	250,919	10.2	13.78	242,778	9.9	13.27
1,188,285	47.4	64.28	1,174,534	47.9	64.52	1,194,864	48.6	65.30
64,326	2.6	3.48	68,013	2.8	3.74	73,056	2.9	3.99
8,728	0.3	0.47	8,998	0.4	0.49	8,544	0.3	0.47
16,663	0.7	0.90	13,276	0.5	0.73	18,785	0.8	1.03
1,718	0.1	0.09	1,148	0.0	0.06	963	0.0	0.05
291,847	11.6	15.79	270,014	11.0	14.83	256,581	10.4	14.02
80,854	3.2	4.37	55,080	2.2	3.03	53,148	2.2	2.91
987,742	39.4	53.43	1,003,292	40.9	55.11	1,001,673	40.8	54.75
56,788	2.3	3.07	63,549	2.6	3.49	70,137	2.9	3.83
79,096	3.1	4.28	72,789	3.1	4.00	71,524	2.9	3.91
△ 513,543	△ 20.5	△ 27.78	△ 529,784	△ 21.6	△ 29.10	△ 534,025	△ 21.7	△ 29.19
2,509,317	100.0	135.74	2,451,828	100.0	134.68	2,458,028	100	134.34
3,041,603			3,009,343			3,077,319		
2,422,422		131.40	2,656,291		145.91	2,679,573		146.45

平成29年度			平成28年度		
18,419,618			18,397,354		
金額(千円)	割合(%)	原価(円)	金額(千円)	割合(%)	原価(円)
120,557	4.8	6.54	115,170	4.8	6.26
77,726	3.1	4.22	68,511	2.9	3.72
0	—	—	0	—	—
41,178	1.7	2.24	36,703	1.5	1.99
18,065	0.7	0.98	16,470	0.7	0.90
257,526	10.3	13.98	236,854	9.9	12.87
1,231,884	49.4	66.88	1,228,408	51.1	66.77
70,632	2.8	3.83	68,055	2.8	3.70
8,678	0.3	0.47	8,206	0.3	0.45
14,862	0.6	0.81	19,184	0.8	1.04
2,125	0.1	0.12	2,088	0.1	0.11
245,750	9.9	13.34	234,148	9.8	12.73
49,580	2.0	2.69	45,041	1.9	2.45
1,006,507	40.4	54.64	949,722	39.5	51.62
76,604	3.1	4.16	82,881	3.5	4.50
64,318	2.6	3.49	68,023	2.8	3.70
△ 535,142	△ 21.5	△ 29.05	△ 540,378	△ 22.5	△ 29.37
2,493,324	100.0	135.36	2,402,232	100.0	130.57
3,097,279			2,989,518		
2,702,732		146.73	2,702,531		146.90

(6) 経営分析表

(単位：%)

項目	4年度	3年度	2年度	元年度	30年度	29年度	28年度
固定資産構成比率	89.1	88.7	88.7	89.5	90.7	92.5	94.1
固定負債構成比率	6.8	7.7	8.7	9.5	10.4	11.2	12.0
自己資本構成比率	90.6	89.6	88.4	87.6	86.6	86.1	85.2
固定比率	98.4	99.1	100.4	102.1	104.7	107.4	110.4
固定資産対長期資本比率	91.6	91.2	91.4	92.1	93.5	95.0	96.8
流動比率	405.7	409.2	379.1	366.1	306.5	282.5	211.2
流動資産回転率(回)	1.0	1.0	0.9	1.1	1.2	1.6	1.6
経常収益対経常費用比率	108.1	111.3	107.7	113.4	113.8	113.6	116.4
営業収益対営業費用比率	92.6	94.3	84.9	94.2	94.4	94.2	97.5
職員給与対料金収入比率	11.2	9.4	10.2	9.4	9.1	9.5	8.8

算式	説明
$\frac{\text{固定資産}}{\text{資産合計}} \times 100$	純資産（固定資産・流動資産）における固定資産の割合を示す。100に近いほど資本は、固定化の傾向にある。指数は高いほど良い。
$\frac{\text{固定負債+借入資本金}}{\text{負債・資本合計}} \times 100$	総資本（負債、資本合計）における固定負債の割合を示す。
$\frac{\text{自己資本金+剰余金+繰延収益}}{\text{負債・資本合計}} \times 100$	固定負債構成比率が小であり、自己資本構成比率が大であるほど経営の安全性は大きいと言える。
$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本金+剰余金+繰延収益}} \times 100$	固定資産は、自己資本と固定負債から調達されるべきである。100以下を理想とし、超えれば固定資産に過大投資と言える。
$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金+剰余金+固定負債+繰延収益}} \times 100$	固定資産は、自己資本と固定負債から調達されるべきである。100以下を理想とし、超えれば固定資産に過大投資と言える。
$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	短期債務に対応すべき流動資産が十分にあるかを示す指数は200以上が理想である。
$\frac{\text{営業収益-受託工事収益}}{(\text{期首流動資産}+\text{期末流動資産}) \times 1/2}$	流動資産に対する営業収益の割合で、指数は高いほど良い。
$\frac{\text{経常収益（営業収益+営業外収益）}}{\text{経常費用（営業費用+営業外費用）}} \times 100$	経常費用に対する経常収益の割合で、指数は高いほど良い。
$\frac{\text{営業収益-受託工事収益}}{\text{営業費用-受託工事費用}} \times 100$	営業費用に対する営業収益の割合で、指数は高いほど良い。
$\frac{\text{職員給与費}}{\text{料金収入}} \times 100$	料金収入に対する職員給与費の割合で、指数は低いほど良い。

(7) 業務分析表

項目	4年度	3年度	2年度	元年度	30年度	29年度	28年度
普及率 (%)	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9
1日平均配水量 (m ³)	52,756	53,404	54,540	53,257	53,841	54,000	54,171
1人1日最大配水量 (ℓ)	318	316	319	312	320	318	330
1人1日平均配水量 (ℓ)	292	294	299	291	293	294	294
有収率 (%)	94.2	94.2	92.9	93.4	93.1	93.5	93.0
負荷率 (%)	92.1	93.0	93.9	93.3	91.7	92.5	89.0
施設利用率 (%)	68.2	69.0	70.5	68.8	69.6	69.8	70.0
最大稼働率 (%)	74.0	74.2	75.1	73.7	75.9	75.4	78.6
配水管使用効率 (m ³ /m)	32.9	33.5	34.3	33.8	34.3	34.6	35.1
固定資産使用効率 (m ³ /万円)	8.7	8.7	8.8	8.5	8.5	8.4	8.3
職員1人当り給水人口 (人)	5,640	5,671	5,525	6,781	6,331	6,566	6,821
職員1人当り給水量 (m ³)	566,667	573,538	560,170	674,270	630,931	657,844	681,383
職員1人当り営業収益 (千円)	86,239	86,034	76,129	102,248	98,085	101,693	104,301
累積欠損金比率 (%)	—	—	—	—	—	—	—
給水原価 (円・銭)	142.75	135.98	135.74	134.68	134.34	135.36	130.57
供給単価 (円・銭)	144.73	144.18	131.04	145.91	146.45	146.73	146.90

算式	説明
$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{給水区域内人口}} \times 100$	
$\frac{\text{年間総配水量}}{365\text{日}}$	
$\frac{\text{1日最大配水量}}{\text{現在給水人口}} \times 1,000$	
$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{現在給水人口}} \times 1,000$	
$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	労働生産性を示す指標。指数は高いほど良い。
$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{1日最大配水量}} \times 100$	最大配水量に対する平均配水量の割合で、需要時と非需要時の差を示す。指数は100に近づくのが理想である。
$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{1日配水能力}} \times 100$	配水能力に対する平均配水量の割合で、水道施設が効率的に運営されているか判断する指数。指数が高ければ効率的に運営されていることになる。
$\frac{\text{1日最大配水量}}{\text{1日配水能力}} \times 100$	配水能力に対する平均配水量の割合で、将来の水需要に対応すべき先行投資の適正を示す指標。指数が高ければ効率的に運営されていることになる。
$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{導・送・配水管延長}}$	導・送・配水管延長に対する総配水量の割合で、指数が高いほど良い。
$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{有形固定資産}}$	有形固定資産に対する総配水量の割合で、投下資産にどれだけ効率的に配水されたかを示す指標。指数が高いほど良い。
$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	
$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	労働生産性を示す指数。指数は高いほど良い。
$\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	労働生産性を示す指数。指数は高いほど良い。
$\frac{\text{累積欠損金}}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}} \times 100$	
$\frac{\text{経常費用}-\text{長期前受金戻入}-\text{受託工事費等}}{\text{年間総有収水量}}$	1m ³ 当たりの生産原価。
$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$	1m ³ 当たりの販売価格。

4. 業 務

- (1) 取水状況
- (2) 配水量
- (3) 水量分析
- (4) 修理
- (5) 漏水防止
- (6) 年度別メーター取替状況
- (7) 加入金
- (8) 手数料

4. 業務

(1) 取水状況

①年度別取水量及び受水費

区分 年度	取水量 (m ³)						
	自己水				受水		
	表流水		光明池分水	計	浄水		計
	父鬼	九鬼	和田		大阪広域水道 企業団水	旧泉北水道 企業団水	
28	274,925	22,100	3,311,018	3,608,043	14,277,728	1,886,590	16,164,318
29	161,504	16,420	3,363,411	3,541,335	14,414,840	1,753,840	16,168,680
30	167,817	—※1	3,222,751	3,390,568	14,619,562	1,641,860	16,261,422
元	133,909	—	3,376,650	3,510,559	14,171,998	1,809,450	15,981,448
2	133,378	—	2,903,660	3,037,038	15,400,737	1,469,170	16,869,907
3	134,545	—	3,272,627	3,407,172	16,085,449	—※2	16,085,449
4	158,481	—	3,059,815	3,218,296	16,037,601	—	16,037,601

※1.平成30年4月 九鬼簡易水道を廃止

※2.令和3年3月 泉北水道企業団解散

(税込み)

合計	受水費 (円)				合計
	原水	浄水		合計	
	光明池分水	大阪広域水道 企業団水	旧泉北水道 企業団水		
19,772,361	53,638,488	1,156,495,968	116,545,980	1,326,680,436	
19,710,015	54,487,254	1,167,602,040	108,345,213	1,330,434,507	
19,651,990	52,208,562	1,136,817,137	101,427,539	1,290,453,238	
19,492,007	55,201,517	1,112,234,099	112,816,812	1,280,252,428	
19,906,945	47,910,386	1,166,762,497	92,440,172	1,307,113,055	
19,492,621	53,998,343	1,273,967,554	—※2	1,327,965,897	
19,255,897	50,486,945	1,270,177,995	—	1,320,664,940	

(2) 配水量

①年度別状況

年度	受水					
	大阪広域水道 企業団水	伸率	旧泉北水道 企業団水	伸率	受 水 計	伸率
	m ³	%	m ³	%	m ³	%
28	14,277,728	0.4	1,886,590	0.9	16,164,318	0.4
29	14,414,840	1.0	1,753,840	△ 7.0	16,168,680	0.0
30	14,619,562	1.4	1,641,860	△ 6.4	16,261,422	0.6
元	14,171,998	△ 3.1	1,809,450	10.2	15,981,448	△ 1.7
2	15,400,737	8.7	1,469,170	△ 18.8	16,869,907	5.6
3	16,085,449	4.4	0	-	16,085,449	△ 4.7
4	16,037,601	△ 0.3	0	-	16,037,601	△ 0.3

自己水		配水量		有収水量	
自己水	伸率	合計	伸率	合計	伸率
m ³	%	m ³	%	m ³	%
3,608,043	△ 2.9	19,772,361	△ 0.2	18,397,354	0.3
3,541,335	△ 1.8	19,710,015	△ 0.3	18,419,618	0.1
3,390,568	△ 4.3	19,651,990	△ 0.3	18,296,994	△ 0.7
3,510,559	3.5	19,492,007	△ 0.8	18,205,290	△ 0.5
3,037,038	△ 13.5	19,906,945	2.1	18,485,614	1.5
3,407,172	12.2	19,492,621	△ 2.1	18,353,204	△ 0.7
3,218,296	△ 5.5	19,255,897	△ 1.2	18,133,348	△ 1.2

②年度別1日最大配水量

区分 年度	1日最大配水量		受水			
			大阪広域水道 企業団水(m ³)	構成比(%)	旧泉北水道企業団水 (m ³)	構成比(%)
28	60,845	7月5日	43,507	71.5	6,030	9.9
29	58,395	12月31日	45,173	77.4	2,100	3.6
30	58,738	12月30日	44,707	76.1	3,320	5.7
元	57,062	12月31日	41,919	73.5	4,600	8.0
2	58,113	12月31日	45,587	78.4	3,310	5.7
3	57,400	6月11日	48,880	85.2	—	0
4	57,310	6月29日	47,152	82.3	—	0

③年度別1日平均配水量

区分 年度	1日平均配水量 (m ³)	対前年度比	受水			
			大阪広域水道 企業団水(m ³)	構成比(%)	旧泉北水道企業団水 (m ³)	構成比(%)
28	54,171	1.00	39,117	72.3	5,169	9.5
29	54,000	1.00	39,493	73.1	4,805	8.9
30	53,841	1.00	40,054	74.4	4,498	8.4
元	53,257	0.99	38,721	72.7	4,944	9.3
2	54,540	1.02	42,194	77.4	4,025	7.3
3	53,404	0.98	44,070	82.5	0	0
4	52,756	0.99	43,939	83.3	0	0

④市外給水・市外受水

		令和4年		令和3年	
		戸数	水量(m ³)	戸数	水量(m ³)
市外給水	泉大津市	172	63,016	171	62,931
	高石市	90	27,474	92	27,478
	堺市	14	1,221	14	1,485
	岸和田市	26	5,473	28	5,867
	忠岡町	4	833	4	827
市外受水	泉大津市	722	149,503	720	151,428
	高石市	188	44,672	186	45,566
	堺市	727	390,853	722	379,648
	岸和田市	5	4,048	5	4,161

※「市外受水」の「堺市」について、令和2年度から戸数→市設置メーター数に変更

		自己水		1人1日	
受水計 (m³)	構成比 (%)	自己水計 (m³)	構成比 (%)	最大配水量 (ℓ)	対前年度比 (%)
49,537	81.4	11,308	18.6	330	100.00
47,273	81.0	11,122	19.0	318	95.97
48,027	81.8	10,711	18.2	320	100.59
46,519	81.5	10,543	18.5	312	97.15
48,897	84.1	9,216	15.9	319	101.84
48,880	85.2	8,520	14.8	316	98.77
47,152	82.3	10,158	17.7	318	99.84

		自己水		1人1日	
受水計 (m³)	構成比 (%)	自己水計 (m³)	構成比 (%)	平均配水量 (ℓ)	対前年度比 (%)
44,286	81.8	9,885	18.2	294	100.00
44,298	82.0	9,702	18.0	294	99.70
44,552	82.8	9,289	17.3	293	99.71
43,665	82.0	9,592	18.0	291	98.92
46,219	84.7	8,321	15.3	299	102.41
44,070	82.5	9,334	17.5	294	97.92
43,939	83.3	8,817	16.7	292	98.79

令和2年		令和元年		平成30年	
戸数	水量 (m³)	戸数	水量 (m³)	戸数	水量 (m³)
173	63,559	173	63,524	172	62,350
91	28,062	86	27,196	88	27,976
16	1,386	15	1,046	14	817
27	5,110	23	2,901	13	2,694
4	751	4	673	4	673
725	156,174	724	152,288	703	156,028
187	45,916	186	44,360	185	43,384
714	371,091	798	376,132	602	356,830
5	3,276	5	2,492	4	2,057

(3)水量分析

①配水量内訳

区分		年度		4		3		2		元		30		
		水量(m)	構成比(%)	水量(m)	構成比(%)	水量(m)	構成比(%)	水量(m)	構成比(%)	水量(m)	構成比(%)			
有効水量	有収水量	18,133,348	94.2	18,353,204	94.2	18,485,614	92.9	18,205,290	93.4	18,296,994	93.1			
	無収水量	管洗管排水量	85,705	0.4	89,293	0.5	101,619	0.5	130,041	0.7	135,044	0.7		
		部事業用水	29,019	0.2	29,160	0.1	28,589	0.1	28,106	0.1	27,626	0.1		
		メーター不感水量	362,648	1.9	367,040	1.9	369,689	1.9	364,047	1.9	365,780	1.9		
		消火用水	343	0.0	433	0.0	1,157	0.0	404	0.0	297	0.0		
		その他	5,977	0.0	6,013	0.0	5,720	0.0	5,569	0.0	5,814	0.0		
		小計	483,692	2.5	491,939	2.5	506,774	2.5	528,167	2.7	534,561	2.7		
	計	18,617,040	96.7	18,845,143	96.7	18,992,388	95.4	18,733,457	96.1	18,831,555	95.8			
	調定減額水量	22,176	0.1	19,378	0.1	24,126	0.1	13,058	0.1	34,887	0.2			
	その他(不明水)	616,681	3.2	628,100	3.2	890,431	4.5	745,492	3.8	785,548	4.0			
	計	638,857	3.3	647,478	3.3	914,557	4.6	758,550	3.9	820,435	4.2			
総配水量		19,255,897	100.0	19,492,621	100.0	19,906,945	100.0	19,492,007	100.0	19,651,990	100.0			

②有収水量内訳(用途別)

区分		年度		4		3		2		元		30	
		水量(m)	構成比(%)	水量(m)	構成比(%)	水量(m)	構成比(%)	水量(m)	構成比(%)	水量(m)	構成比(%)		
一般用		13,032,330	71.9	13,228,516	72.1	13,349,816	72.2	12,935,888	71.0	12,918,651	70.6		
口径別		2,039,224	11.2	1,972,531	10.7	1,930,892	10.4	2,126,673	11.7	2,186,860	11.9		
湯屋用		29,646	0.2	30,071	0.2	30,163	0.2	31,164	0.2	32,571	0.2		
福祉施設用		185,851	1.0	189,918	1.0	189,307	1.0	185,029	1.0	185,421	1.0		
連用		2,813,815	15.5	2,908,187	15.9	2,966,439	16.1	2,896,099	15.9	2,943,433	16.1		
臨時用		32,482	0.2	23,981	0.1	18,997	0.1	30,437	0.2	30,058	0.2		
九鬼簡易水道		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
計		18,133,348	100.0	18,353,204	100.0	18,485,614	100.0	18,205,290	100.0	18,296,994	100.0		

29		28		对前年度比 (%)						
水量(m ³)	构成比(%)	水量(m ³)	构成比(%)	4	3	2	元	30	29	28
18,419,618	93.5	18,397,354	93.0	98.80	99.28	101.54	99.50	99.33	100.12	100.00
126,319	0.6	76,859	0.4	95.98	87.87	78.14	96.30	106.91	164.35	876.00
5,327	0.0	5,419	0.0	99.52	102.00	101.72	101.74	518.60	98.30	56.00
368,364	1.9	367,920	1.9	98.80	99.28	101.54	99.53	99.30	100.12	100.00
366	0.0	627	0.0	79.21	37.42	286.39	136.03	81.15	58.37	152.00
5,786	0.0	5,786	0.1	99.40	105.12	102.71	95.79	100.48	100.00	99.00
506,162	2.5	456,611	2.4	98.32	97.0700	95.95	98.80	105.61	110.85	118.00
18,925,780	96.0	18,853,965	95.4	98.72	99.22	101.38	99.48	99.50	100.38	100.00
17,396	0.1	24,023	0.1	114.44	80.32	184.76	37.43	200.55	72.41	101.00
766,839	3.9	894,373	4.5	98.18	70.54	119.44	94.90	102.44	85.74	84.00
784,235	4.0	918,396	4.6	98.67	70.80	120.57	92.46	104.62	85.39	85.00
19,710,015	100.0	19,772,361	100.0	98.79	97.92	102.13	99.19	99.71	99.68	99.00

29		28		对前年度比 (%)						
水量(m ³)	构成比(%)	水量(m ³)	构成比(%)	4	3	2	元	30	29	28
12,965,776	70.4	12,936,665	70.3	98.5200	99.09	103.20	100.13	99.64	100.23	100.00
2,164,083	11.7	2,152,799	11.7	103.38	102.16	90.79	97.25	101.05	100.52	59.00
28,742	0.2	31,188	0.2	98.59	99.69	96.79	95.68	113.32	92.16	100.00
182,987	1.0	185,557	1.0	97.86	100.32	102.31	99.79	101.33	98.61	100.00
3,007,205	16.3	3,014,190	16.4	96.75	98.04	102.43	98.39	97.88	99.77	98.00
48,557	0.3	54,746	0.3	135.45	126.24	62.41	101.26	61.90	88.70	158.00
22,268	0.1	22,209	0.1	-	-	-	-	-	100.27	98.00
18,419,618	100.0	18,397,354	100.0	98.80	99.28	101.54	99.50	99.33	100.12	100.00

(4)修理

①年度別修理件数

年度	区分	配水管	給水管等	合計
	30	道路上	9	74
宅地内		0	227	227
元	道路上	6	42	48
	宅地内	—	199	199
2	道路上	13	39	52
	宅地内	—	239	239
3	道路上	26	36	62
	宅地内	—	229	229
4	道路上	17	34	51
	宅地内	—	231	231

(5)漏水防止

①漏水調査による漏水発見件数

年度	区分	配水管	給水管等	漏水発見件数
30		0	15	15
元		1	7	8
2		1	18	19
3		0	26	26
4		0	37	37

(6)年度別メーター取替状況

口径 年度	13mm	20mm	25mm	40mm	50mm	75mm	100mm	150mm	合計
24	3,234	4,675	217	60	22	11	1	1	8,221
25	2,052	4,018	189	65	9	11	7	2	6,353
26	2,249	5,428	186	81	21	18	6	1	7,990
27	1,789	4,511	110	70	19	11	1	2	6,513
28	2,721	5,985	169	81	19	1	1	0	8,977
29	2,489	4,961	142	98	22	12	2	2	7,728
30	2,430	5,818	198	66	23	11	8	3	8,557
元	1,582	6,501	183	42	9	9	5	2	8,333
2	2,863	5,222	152	53	16	3	4	0	8,313
3	2,000	4,976	164	41	14	12	3	0	7,210
4	1,898	4,442	168	53	10	7	11	1	6,590

(7)加入金

年度別状況（ ）内は口径変更分

種別 年度	新規加入										
	13mm	20mm	25mm	40mm	50mm	75mm	100mm	150mm	13mm	20mm	
28	5	(30) 679	(7) 7	(1) 4	(1) 1	(1) 1		(1) 1		2	
29	1	(7) 738	(6) 15	(2) 4	3	(3) 1				3	
30	1	(2) 714	(6) 11	(6) 3	1						
元		(6) 647	(12) 18	(4) 2	1	(1) 1					
2		(4) 649	(6) 9	(2) 6	2						
3		(8) 597	(6) 12	(3) 3	(3) 2						
4	1	(5) 620	(8) 9	(4) 5	(1) 2						

口径別加入金表

口径	13mm	20mm	25mm	40mm	50mm	75mm	100mm	150mm	200mm	250mm
金額	5万円	12万円	21万円	58万円	101万円	239万円	369万円	1,490万円	3,121万円	6,189万円

※平成9年4月から上記金額に3%加算

※平成10年4月から上記金額に5%加算

※平成26年4月から上記金額に8%加算

※令和元年10月から上記金額に10%加算

(単位：万円)

取消						合計件数	調定額
25mm	40mm	50mm	75mm	100mm	150mm		
						734	9,775
						777	11,498
						748	10,554
						697	10,329
						678	9,508
						634	9,063
						655	9,257

(8)手数料

①年度別調定状況（ ）内は指定更新分

年度	項目	設計審査手数料	工事検査手数料	道路占用及び掘削 申請手数料	指定等手数料 (指定更新含む)	合計
	28	件数(件)	1,371	1,370	19	13
金額(円)		1,853,000	3,224,000	300,000	130,000	5,507,000
29	件数(件)	1,525	1,524	31	11	3,091
	金額(円)	1,945,000	3,444,000	480,000	110,000	5,979,000
30	件数(件)	1,440	1,439	24	9	2,912
	金額(円)	1,918,000	3,334,000	360,000	90,000	5,702,000
元	件数(件)	1,432	1,431	15	19	2,897
	金額(円)	1,984,500	3,397,000	225,000	190,000	5,796,500
2	件数(件)	1,398	1,397	30	⁶³ (46)	2,888
	金額(円)	1,936,000	3,290,000	450,000	630,000	6,306,000
3	件数(件)	1,375	1,374	21	⁶⁶ (48)	2,836
	金額(円)	1,752,000	3,093,000	315,000	660,000	5,820,000
4	件数(件)	1,317	1,317	18	⁴⁵ (29)	2,697
	金額(円)	1,724,500	3,023,000	270,000	450,000	5,467,500

※令和2年度から指定更新手数料(10,000円を徴収)

②手数料表

種別	手数料		
設計審査手数料	口径20ミリメートル以下	1 件につき	1,000円
	口径40ミリメートル以下	1 件につき	2,500円
	口径75ミリメートル以下	1 件につき	5,000円
	口径100ミリメートル	1 件につき	10,000円
	口径150ミリメートル以上	1 件につき	20,000円
工事検査手数料	口径20ミリメートル以下	1 件につき	2,000円
	口径40ミリメートル以下	1 件につき	3,000円
	口径75ミリメートル以下	1 件につき	6,000円
	口径100ミリメートル	1 件につき	12,000円
	口径150ミリメートル以上	1 件につき	24,000円
道路占用及び掘削申請 手数料	国道	1 件につき	20,000円
	府道	1 件につき	15,000円
	府営住宅管理道路	1 件につき	15,000円
	河川敷	1 件につき	府道に準ずる。
指定手数料		1 件につき	10,000円
証明手数料		1 件につき	300円

備考 設計審査手数料及び工事検査手数料について、工事を行う給水装置又は給水管の最大管口径に応じた額とする。

5. 施設の概要

- (1) 浄・配水場（池）一覧表
- (2) 施設系統図
- (3) 浄水施設
- (4) 配水施設
- (5) 施設図及び主要配管図
- (6) 導・送・配水管布設延長
- (7) 消火栓設置状況
- (8) 耐震管延長

5. 施設の概要

(1) 浄・配水場（池）一覧表

（令和6年1月現在）

浄水施設名（2）	事業名	給水開始年月日	所在地	処理能力 ^{m³} /日
和田浄水場	第2・3・4回拡張事業	昭和37年10月	和田町1番地	10,000 ^{m³} /日
父鬼浄水場	第3回拡張事業	昭和36年12月	父鬼町448番地の1	2,000 ^{m³} /日

配水施設名（17）	事業名	給水開始年月日	所在地	施設容量 ^{m³}
山荘配水場 // 高架タンク	//	昭和39年3月	山荘町二丁目4番25号	3,200 105
鶴山台配水場 // 高架タンク	第3回拡張事業	昭和46年9月	鶴山台四丁目20番8号	6,000 250
光明台低区配水場	//	昭和53年4月	光明台三丁目31番	1,600
光明台高区配水場 // 配水塔	//	昭和53年4月	光明台二丁目53番1号	2,900 270
南面利配水池	//	昭和53年2月	福瀬町1178番地の36	180
善正加压ポンプ所	//	昭和53年2月	善正町18番地の4	51
中央受配水場	第4回拡張事業	平成7年4月 (2号池 平成13年3月)	いぶき野五丁目4番11号	14,600
みずき台配水塔	改良工事	平成13年3月	みずき台二丁目32番3号	500
はつが野配水場 // 配水塔	第4回拡張事業	平成11年5月 (2号池、配水塔 平成26年2月)	はつが野六丁目28番1号	19,000 200
テクノステージ 加压ポンプ場	改良工事	平成11年7月	テクノステージ一丁目6番1号	256
テクノステージ 配水池	//	平成11年7月	テクノステージ二丁目5番8号	5,000
父鬼配水池	//	平成20年7月	父鬼町1093番地の2	200
坪井加压ポンプ所	//	平成20年10月	仏並町1104番地の4	-
小川ポンプ所	//	平成23年6月	仏並町1556番地の10	10
仏並配水場 // 高区配水池	//	平成28年11月	仏並町451番地の3	2,000 300
仏並加压ポンプ場	//	平成28年11月	仏並町129番地の5	420
九鬼加压ポンプ所	//	平成30年4月	九鬼町362番地先	-

休止施設名（4）	事業名	給水開始年月日	所在地	施設容量 ^{m³}
岡配水池	北田中簡易水道	昭和33年7月	小野田町546番地の2	163
若樫配水池	第1回拡張事業	昭和38年11月	若樫町94番地	550
坪井配水池	//	昭和54年3月	大野町1516番地	1,000
福瀬加压ポンプ所 (令和6年3月解体完了予定)	//	昭和53年5月	福瀬町1468番地の1	6

その他（9）	所在地	面積
九鬼町水源池用地	九鬼町762番地の2	16 ^{m²}
三林町管路用地	三林町843番地外（山林）	614.52 ^{m²}
三林加压ポンプ場用地	三林町688番地、685番地の3	77 ^{m²}
国分配水地用地	国分町807番地、1877番地	49 ^{m²} 、33 ^{m²}
内田加压ポンプ場用地	春木町63番地	53 ^{m²}
黒鳥配水池用地	山荘町一丁目1295番1他11筆	2,934 ^{m²}
福瀬高置タンク用地	福瀬町1469番地の46	41 ^{m²}
池上資材センター	池上町一丁目293番1号	3770.50 ^{m²}
水道資機材倉庫（令和6年度稼働予定）	浦田町437番地の3	2047.30 ^{m²}

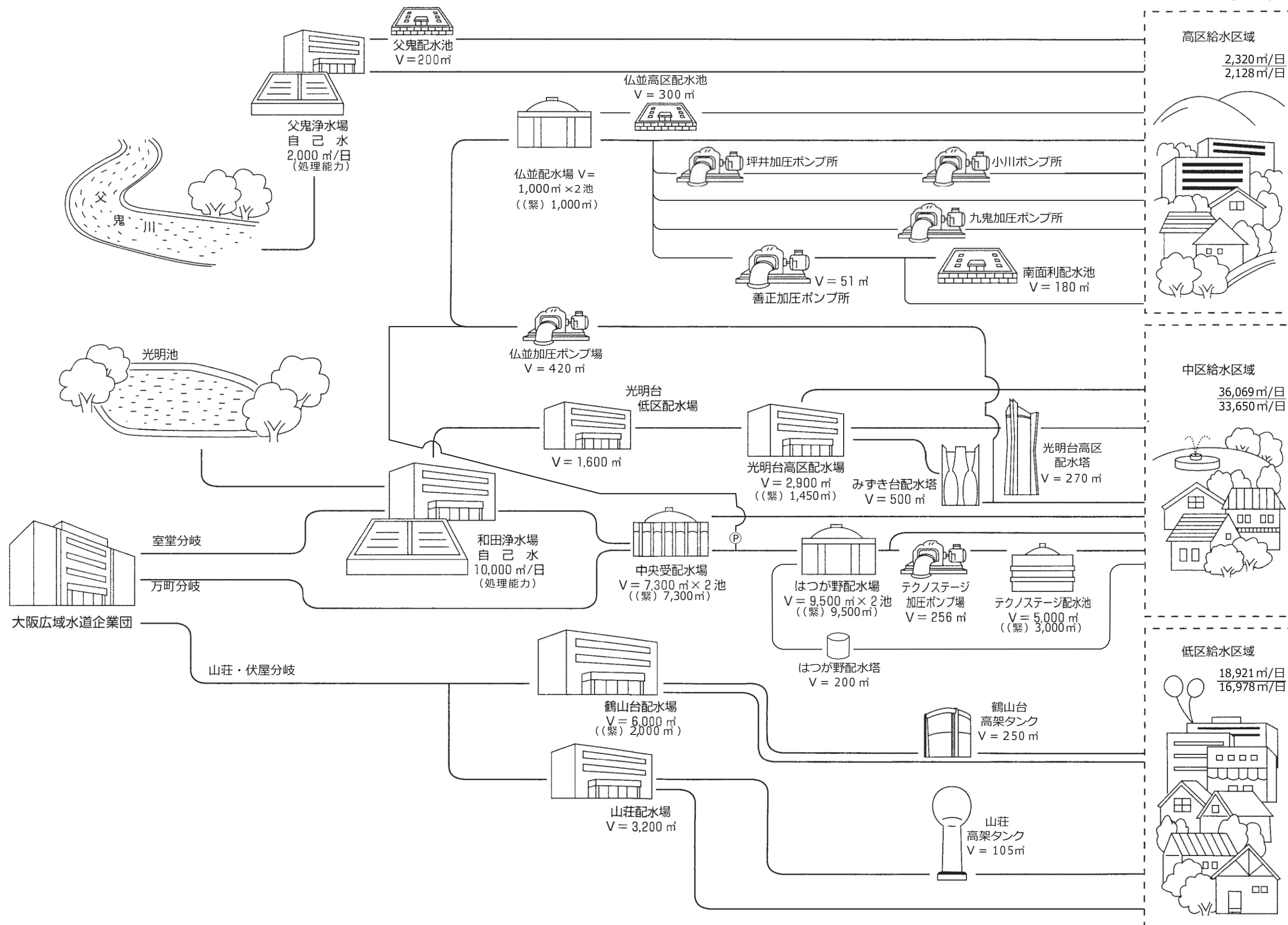
(2) 施設系統図

(緊) = 緊急遮断弁設置施設

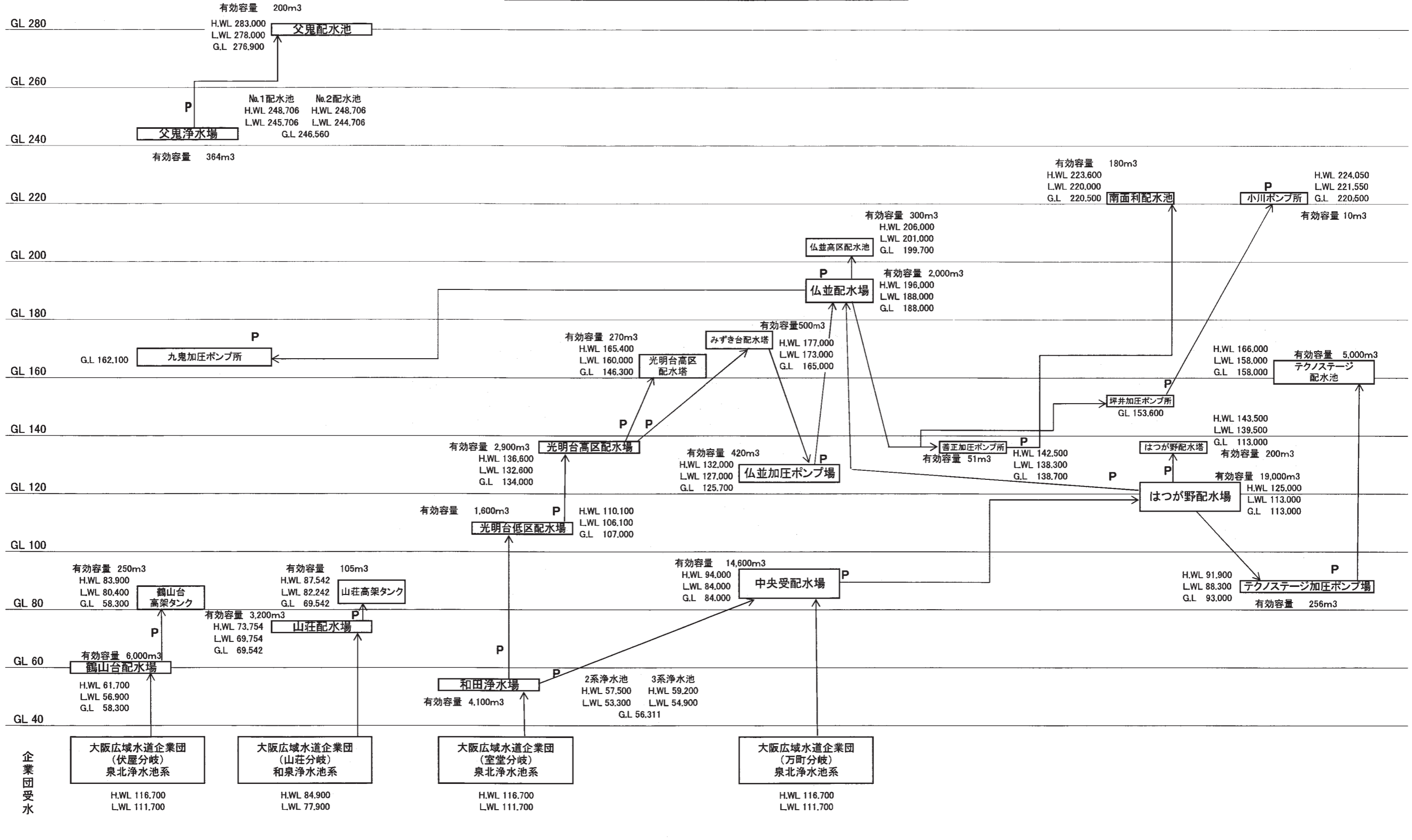
R4 年度実績(6/29)

年間 1 日最大(6/29)
年間 1 日平均

(合計)
57,310 m³/日
52,756 m³/日



和泉市の浄配水施設



(3) 浄水施設

和田浄水場

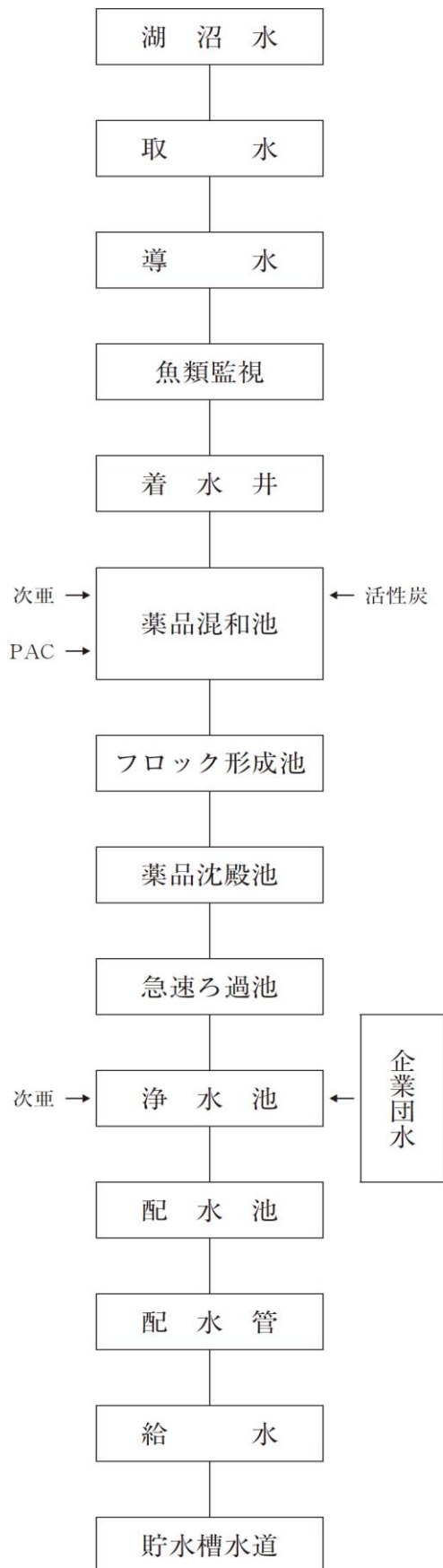
所在地	和泉市和田町 1 番地
敷地面積	8,494.24 m ² (2,569.51 坪) 市有地 7,334.24 m ² 借地 1,160.00 m ² GL 56.311
概要	取水・浄水・受水・送水
取水	光明池導水管：φ 400 382 m 取水井：有効容量 40 m ³ 沈砂池：有効容量 358 m ³
浄水	1 系 沈殿池：処理能力 3,000 m ³ /日 有効容量 375 m ³ (薬品沈殿池) 2 系 沈殿池：処理能力 7,000 m ³ /日 有効容量 900 m ³ (傾斜板沈殿池) 1 系 ろ過池：ろ速 135m/日 ろ過面積 11.07 m ² × 2 池 予備 1 2 系 ろ過池：ろ速 135m/日 ろ過面積 25.92 m ² × 2 池 予備 1 2 系 浄水池：有効容量 1 池 5 槽 = 1,600 m ³ (RC 構造) (中央配水場送り) H.W.L 57.500 L.W.L 53.300 3 系 浄水池：有効容量 1 池 5 槽 = 2,500 m ³ (RC 構造) (光明台低区配水場送り) H.W.L 59.200 L.W.L 54.900 次亜塩素貯蔵槽：PE 製 8 m ³ P A C 貯蔵槽：FRP 製 6 m ³ 硫酸バンド貯蔵槽：FRP 製 6 m ³ 連絡ポンプ：11kW 2.8 m ³ /min 10m (株)荏原製作所 125BMS - 611 2 台 No.1 ~ No.3 送水ポンプ：75kW 4.17 m ³ /min 67m (光明台低区) (株)荏原製作所 200 × 150CHNM No.5 ~ No.7 送水ポンプ：37kW 2.8 m ³ /min 51.5m (中央受配水場) (株)荏原製作所 150 × 125CHNM
受水	大阪広域水道企業団 (室堂分岐) から受水
予備電源	自家発電機：ヤンマー製ディーゼル 350KVA 6HAL2 - D 無停電装置 (CVCF)：蓄電池容量 8100Ah
沿革	昭和 37 年 10 月 給水開始 (池田広域簡易水道) 昭和 38 年 12 月 池田広域簡易水道を上水道に統合 (和田浄水場) 昭和 42 年 5 月 拡張工事竣工 (第 2 括) 昭和 48 年 12 月 拡張工事竣工 (第 3 括) 昭和 57 年 8 月 水質試験室完成

父鬼浄水場

所在地	和泉市父鬼町 448 番地の 1		
敷地面積	1,431.32 m ² (433.73 坪)	GL	246.560
概要	取水・浄水・送水・配水		
取水	父鬼川の表流水を取水		
浄水	<p>取水ポンプ：22kW 2.5 m³/min 31.5m <small>(株)荏原製作所 100DL622</small> 2 台</p> <p>ろ過ポンプ：7.5kW 1 m³/min 28m <small>(株)荏原製作所 80BMS 67.5</small> 2 台</p> <p>沈殿池：処理能力 2,000 m³/日 有効容量 395 m³ ろ過機：ろ速 80m/日 ろ過面積 12.5 m²×2基=25 m² ろ過ポンプ井：有効容量 30 m³</p> <p>次亜塩素貯蔵槽：PE (ポリエチレン) 製 2 m³ PAC 貯蔵槽：FRP 製 3 m³ 苛性ソーダ貯蔵槽：PE (ポリエチレン) 製 3 m³</p>		
送水	父鬼配水池送水ポンプ：3.7kW 0.15 m ³ /min 44m 2 台 <small>(株)荏原製作所 40BMSP 363.7A</small>		
配水	No.1 配水池：有効容量 1池1槽=114 m ³ RC 構造 H.W.L 248.706 L.W.L 245.706 No.2 配水池：有効容量 1池2槽=250 m ³ RC 構造 H.W.L 248.706 L.W.L 244.706		
予備電源	自家発電機：東芝製 キュービクル式 108PS NPF4 - 85QR ヤンマー製エンジン 無停電装置 (UPS 電源)：魚水槽用		
施設	管理棟 1 棟 父鬼配水池送水ポンプ室 1 棟 薬注室 1 棟 取水塔 1 棟		
沿革	昭和 36 年 12 月 給水開始 昭和 51 年 10 月 拡張工事竣工 (浄配水施設・電気計装) 平成 5 年 拡張工事竣工 (テレメーター・計装・自家発電機) 平成 28 年 11 月～ 仏並配水場稼働に伴い浄水量約 500 m ³ /日に変更 (配水区域を縮小)		

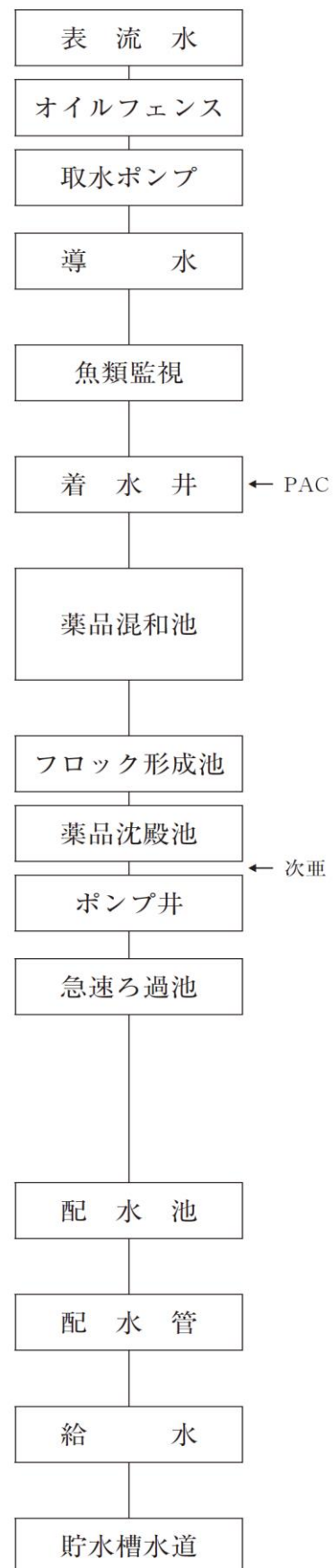
浄水場フローチャート

和田浄水場



次亜…次亜塩素酸ナトリウム
PAC…ポリ塩化アルミニウム

父鬼浄水場



活 性 炭…粉末活性炭
企業団水…大阪広域水道企業団水（浄水）

◎和田浄水場排水量（洗浄・水処理）

年度 調定月	4		3		2	
	排水量 (m ³)	使用料金 (円)	排水量 (m ³)	使用料金 (円)	排水量 (m ³)	使用料金 (円)
4・5	3,087	773,293	4,074	1,048,666	4,914	1,283,026
6・7	2,331	562,369	3,843	984,217	5,208	1,314,832
8・9	3,528	896,332	2,583	632,677	3,339	843,601
10・11	2,898	720,562	2,877	714,703	1,680	385,220
12・1	2,793	691,267	3,906	1,001,794	3,780	966,640
2・3	2,730	673,690	3,339	843,601	5,040	1,318,180
計	17,367	4,317,513	20,622	5,225,658	23,961	6,111,499

(税抜き)

元		30		29		28	
排水量 (m ³)	使用料金 (円)	排水量 (m ³)	使用料金 (円)	排水量 (m ³)	使用料金 (円)	排水量 (m ³)	使用料金 (円)
3,486	884,614	5,082	1,251,515	3,150	697,860	3,612	811,512
4,053	1,042,807	5,502	1,447,078	4,011	909,666	3,675	827,010
4,410	1,142,410	5,964	1,575,976	3,990	904,500	3,591	806,346
3,738	954,922	5,376	1,411,924	2,877	630,702	3,024	666,863
4,851	1,265,449	4,263	1,101,397	4,662	1,069,812	3,423	765,017
5,082	1,329,898	2,814	697,126	4,767	1,095,642	2,772	604,871
25,620	6,620,100	29,001	7,485,016	23,457	5,308,182	20,097	4,481,619

(4) 配水施設

山荘配水場

所在地	和泉市山荘町二丁目4番25号		
敷地面積	1,636.31 m ² (495.85 坪)	GL	69.542
概要	受水・送水・配水		
受水	大阪広域水道企業団（山荘分岐）から受水		
送水	高架タンク送水ポンプ： 15kW 2.4 m ³ /min 24m （株）荏原製作所 100BMS615A 2台		
配水	配水池：有効容量 1池3槽＝ 3,200 m ³ RC 構造 H.W.L 73.754 L.W.L 69.754 高架タンク：有効容量 105 m ³ メタル構造 H.W.L 87.542 L.W.L 82.242		
施設	ポンプ室・電気室		1棟
沿革	昭和 39 年 3 月 給水開始 昭和 63 年 12 月 整備工事竣工（計装・テレメーター）		



山荘配水場

鶴山台配水場

所在地	和泉市鶴山台四丁目 20番8号		
敷地面積	2,996.00 m ² (907.88 坪)	GL 58.300	
概要	受水・送水・配水		
受水	大阪広域水道企業団 (伏屋分岐) から受水		
送水	高架タンク送水ポンプ: 37kW 5.30 m ³ /min 30m (株)荏原製作所 200 × 150CGM 2台		
配水	<p>配水池: 有効容量 1池3槽 = 6,000 m³ RC 構造 H.W.L 61.700 L.W.L 56.900</p> <p>高架タンク: 有効容量 250 m³ メタル構造 H.W.L 83.900 L.W.L 80.400</p> <p>緊急遮断弁: 弁形式 横軸バタフライ弁 口径 400 mm (株)クボタ</p>		
施設	ポンプ室・電気室	1棟	
	薬注室・水質計装室	1棟	
沿革	昭和 46 年 9 月 給水開始 昭和 62 年 1 月 整備工事竣工 (計装・テレメーター) 平成 30 年 3 月 受電設備更新 (低圧化)		



鶴山台配水場

光明台低区配水場

所在地	和泉市光明台三丁目 31 番		
敷地面積	2,381.67 m ² (721.72 坪)	GL	107.000
概要	受水・送水		
受水	和田浄水場から受水		
送水	光明台高区配水場送水ポンプ： 90kW 7.20 m ³ /min 45m (株)荏原製作所 250BSYG2		2 台
配水	配水池： 有効容量 1池3槽 = 1,600 m ³ RC 構造 H.W.L 110.100 L.W.L 106.100		
予備電源	自家発電機： ヤンマー製ディーゼル 200KVA 185PS 6KDL-T		
施設	電気室・自家発電機室		1 棟
	ポンプ室		1 棟
沿革	昭和 53 年 4 月	給水開始	
	平成 13 年 12 月	受配電設備更新	
	平成 30 年 4 月	送水ポンプ更新 (1 台)	
	令和 元年 3 月	送水ポンプ更新 (1 台)	



光明台低区配水場

光明台高区配水場

所在地	和泉市光明台二丁目 53 番 1 号		
敷地面積	4,287.16 m ² (1,299.14 坪)	GL	134.000
概要	受水・送水・配水		
受水	光明台低区配水場から受水		
送水	光明台高区配水塔送水ポンプ： 37kW 2.7 m ³ /min 40m (株)荏原製作所 150BMSH 2 台 みずき台配水塔送水ポンプ： 45kW 2.74 m ³ /min 52m (株)荏原製作所 150BMSH 2 台		
配水	配水池：有効容量 1池3槽＝ 2,900 m ³ RC 構造 H.W.L 136.600 L.W.L 132.600 緊急遮断弁：緊急遮断バタフライ弁 (株)クリモト 型式 電磁ブレーキ式 呼び径 400 mm		
予備電源	自家発電機： ヤンマー製ディーゼル 250KVA 304PS YAP250G		
施設	電気室		1 棟
	発電機室		1 棟
	ポンプ室		1 棟
沿革	昭和 53 年 4 月	給水開始	
	平成 10 年 3 月	改良工事竣工 (ポンプ・電気・機械・テレメーター)	
	令和 元年 3 月	改良工事竣工 (計装・テレメーター)	



光明台高区配水場

光明台高区配水塔

所在地	和泉市光明台二丁目 53番2号	
敷地面積	3,667.37 m ² (1,111.32 坪)	GL 146.300
概要	受水・配水	
受水	光明台高区配水場から受水	
配水	配水塔：有効容量 1池1槽＝270 m ³ PC構造 H.W.L 165.400 L.W.L 160.000	
沿革	昭和 53 年 4 月 給水開始	



光明台高区配水塔

南面利配水池

所在地	和泉市福瀬町 1178 番地の 36
敷地面積	429.15 m ² (130.01 坪) GL 220.500
概要	受水・配水
受水	善正加圧ポンプ所から受水
配水	配水池：有効容量 1池2槽＝ 180 m ³ RC 構造 H.W.L 223.600 L.W.L 220.000
沿革	昭和 53 年 2 月 給水開始



南面利配水池

善正加圧ポンプ所

所在地	和泉市善正町 18 番地の 4		
敷地面積	136.00 m ² (41.21 坪)	GL	138.700
概要	受水・加圧		
受水	仏並配水場から受水 受水池：有効容量 1池1槽＝ 51 m ³ RC 構造 H.W.L 142.500 L.W.L 138.300		
送水・加圧	配水池送水・加圧ポンプ： 15kW 0.4 m ³ /min 95m (株)荏原製作所 65BMS III 615		2 台
予備電源	自家発電機	ヤンマー製ディーゼル 60KVA 4TN100TL - GM	
施設	ポンプ室・電気室		1 棟
沿革	昭和 53 年 2 月	給水開始	
	平成 20 年 3 月	自家発電機設置	



善正加圧ポンプ所

中央受配水場

所在地	和泉市いぶき野五丁目 4 番 11 号		
敷地面積	9,719.50 m ² (2,945.30 坪)	GL	84.000
概要	受水・送水・配水		
受水	大阪広域水道企業団（万町分岐）及び和田浄水場から受水		
送水	はつが野配水場送水ポンプ： 90kW 7.26 m ³ /min 51m (株)荏原製作所 300 × 150CJNM 2 台 75kW 6.10 m ³ /min 51m (株)荏原製作所 250 × 150CJNM 3 台		
配水	配水池：有効容量 2 池=14,600 m ³ PC 構造 H.W.L 94.000 L.W.L 84.000 緊急遮断弁：緊急遮断バタフライ弁 (株)クリモト 型式 電磁ブレーキ式 呼び径 600 mm		
予備電源	自家発電機：川崎重工製ガスタービン PU500SB - ER 500KVA 630PS 無停電装置 (CVCF)：蓄電池容量 16200Ah テレメータ電源 CRT 監視電源 ITV 電源 計装電源 OA 機器電源 侵入監視電源		
施設	管理棟		1 棟
	階段棟		1 棟
沿革	平成 7 年 4 月	給水開始	
	平成 11 年 3 月	改良工事竣工 (監視設備・ポンプ・電気)	
	平成 13 年 3 月	2 号配水池岐工	



中央受配水場

みずき台配水塔

所在地	和泉市みずき台二丁目 32 番 3 号	
敷地面積	1,900.50 m ² (574.90 坪)	GL 165.000
概要	受水・配水	
受水	光明台高区配水場から受水	
配水	配水池：有効容量 1 池 1 槽 = 500 m ³ PC 構造 H.W.L 177.000 L.W.L 173.000	
予備電源	無停電装置(CVCF)：蓄電池容量 8100Ah	
施設	電気室	1 棟
沿革	平成 13 年 3 月 給水開始	



みずき台配水塔

はつが野配水場

所在地	和泉市はつが野六丁目 28 番 1 号	
敷地面積	7,599.46 m ² (2,298.84 坪)	GL 113.000
概要	受水・送水・配水	
受水	中央受配水場から受水	
送水	配水塔送水ポンプ：15kW 1.2 m ³ /min 34m (株)荏原製作所 125 × 80CJNM 3台 仏並配水場送水ポンプ：30kW 1,293 m ³ /min 87m テラル(株) 150BST - 100MSU8 - 630 - 5 3台	
配水	配水池：有効容量 2池=19,000 m ³ PC 構造 H.W.L 125.000 L.W.L 113.000 配水塔：有効容量 1池1槽=200 m ³ PC 構造 H.W.L 143.500 L.W.L 139.500 緊急遮断弁：弁形式 横軸バタフライ弁 口径 600 mm (株)クボタ	
予備電源	自家発電機：ヤンマー製ディーゼル 100KVA AP115C 太陽光発電設備 30kW 相当 モジュール 215.0W × 144 枚	
施設	管理棟	1 棟
沿革	平成 11 年 5 月 給水開始 平成 26 年 2 月 2 号配水池・配水塔竣工 (太陽光発電設備含む) 平成 28 年 7 月 配水塔運用開始 令和 2 年 3 月 改良工事竣工 (仏並配水場送水ポンプ)	



はつが野配水場

テクノステージ加圧ポンプ場

所在地	和泉市テクノステージ丁目 6番1号	
敷地面積	1,600.09 m ² (484.03 坪)	GL 93.000
概要	受水・送水	
受水	はつが野配水場から受水 受水池：有効容量 1池2槽= 256 m ³ RC 構造 H.W.L 91.900 L.W.L 88.300	
送水	配水池送水ポンプ： 90kW 3.5 m ³ /min 90m (株)荏原製作所 200 × 100CJNM 3台	
薬注設備	次亜塩素素注入ポンプ： 60 cc/min 3台 オーヤラックス NSP - 3A - 1L 次亜塩素素貯蔵槽： FRP - V 製 1 m ³ 2槽	
予備電源	自家発電機： ヤンマー製ディーゼル 375KVA 480PS YAP400G	
施設	管理棟	1棟
沿革	平成 11 年 7 月 給水開始	



テクノステージ加圧ポンプ場

テクノステージ配水池

所在地	和泉市テクノステージ二丁目 5番8号	
敷地面積	3,187.39 m ² (964.19 坪)	GL 158.000
概要	受水・配水	
受水	テクノステージ加圧ポンプ場から受水	
配水	配水 池：有効容量 1池2槽（内槽 2,000 + 外槽 3,000 m ³ ） = 5,000 m ³ 鋼製2重槽 H.W.L 166.000 L.W.L 158.000 緊急遮断弁：緊急遮断バタフライ弁 (株)クリモト 型式 電磁ブレーキ式 呼び径 400 mm	
予備電源	無停電装置(UPS電源)：テレメーター用	
施設	管理棟	1 棟
沿革	平成 11 年 7 月 給水開始	



テクノステージ配水池

父鬼配水池

所在地	和泉市父鬼町 1093 番地の 2	
敷地面積	212.23 m ² (64.31 坪)	GL 276.900
概要	受水・配水	
受水	父鬼浄水場から受水	
配水	配水池：有効容量 1池2槽＝ 200 m ³ ステンレス構造 H.W.L 283.000 L.W.L 278.000	
沿革	平成 20 年 8 月 給水開始	



父鬼配水池

坪井加圧ポンプ所

所在地	和泉市仏並町 1104 番地の 4		
敷地面積	89.65 m ² (27.17 坪)	GL	153.600
概要	加圧		
加圧	加圧ポンプ: 5.5kW 0.172 m ³ /min 64m (株)荏原製作所 4OMS665.5		2 台
沿革	平成 20 年 10 月 送水開始		



坪井加圧ポンプ所

小川ポンプ所

所在地	和泉市仏並町 1556 番地の 10		
敷地面積	181.93 m ² (55.03 坪)	借地 181.93 m ²	GL 220.500
概要	受水・加圧		
受水	受水タンク：有効容量 1池2槽= 10 m ³ ステンレス構造 H.W.L 224.050 L.W.L 221.550		
送水	配水ポンプ：5.5kW 0.063 m ³ /min 69m (株)荏原製作所 40BNEMD5.5B × 3台		
薬注設備	次亜塩素素注入装置：オーヤラックス DSP - 1S - 1 2台 22.8 cc/min 次亜塩素素貯蔵槽：オーヤラックス YT - 50 50L		
施設	ポンプ室 電気室 薬注室	1棟	
沿革	平成 23 年 6 月 給水開始		



小川ポンプ所

仏並配水場

所在地	和泉市仏並町 451 番地の3		
敷地面積	5,138.72 m ² (1,554.46 坪)	GL	188.000
概要	受水・送水・配水		
受水	仏並加圧ポンプ場及びはつが野配水場から受水		
送水	高区配水池送水ポンプ：7.5kW 0.88 m ³ /min 23m (株)荏原製作所 80 × 65FSW4J67.5B 2台		
配水	配水池：有効容量 2池= 2,000 m ³ PC 構造 GL 188.000 H.W.L 196.000 L.W.L 188.000 高区配水池：有効容量 1池= 300 m ³ ステンレス構造 GL 199.700 H.W.L 206.000 L.W.L 201.000 緊急遮断弁：トリガーバルブ 前澤工業株式会社 型式 MTB-A15-G-A 呼び径 300 mm		
予備電源	自家発電機：ヤンマー製ディーゼル 75KVA AP95C		
施設	電気室 発電機室 ポンプ室		1 棟
	薬注室		1 棟
沿革	平成 28 年 11 月 給水開始		



仏並配水場

仏並加圧ポンプ場

所在地	和泉市仏並町 129 番地の 5		
敷地面積	566.63㎡ (171.40 坪)	GL	125.700
概要	受水・送水		
受水	みずき台配水塔から受水 受水池：有効容量 1池2槽＝ 420 m ³ ステンレス構造 H.W.L 132.000 L.W.L 127.000		
送水	仏並配水池送水ポンプ： 37kW 1.67 m ³ /min 74m (株)荏原製作所 125MS3637B		2 台
予備電源	自家発電機： ヤンマー製ディーゼル 75KVA AP95C		
施設	電気室 発電機室 ポンプ室	1 棟	
沿革	平成 28 年 11 月 給水開始		



仏並加圧ポンプ場

九鬼加圧ポンプ所

所在地	和泉市九鬼町 362 番地先 (GL 162.100)
概要	加圧
加圧	配水ポンプ: 3.7kW 0.3 m ³ /min 30m テラル株式会社 80BST6-63.7-4 2台
施設	ポンプ室(地下)
沿革	平成 30 年 4 月 給水開始



九鬼加圧ポンプ所

岡 配 水 池

所 在 地	和泉市小野田町 546 番地の 2
敷 地 面 積	119m ² (36.06 坪) GL 168.577
概 要	受水・配水
配 水	配 水 池： 有効容量 163 m ³ RC 構造 H.W.L 168.090 L.W.L 164.590
沿 革	昭和 33 年 7 月 給水開始 昭和 63 年 7 月 休 止

若 樫 配 水 池

所 在 地	和泉市若樫町 94 番地
敷 地 面 積	505.78m ² (153.27 坪) GL 211.310
概 要	受水・配水
施 設	配 水 池： 有効容量 1 池 2 槽 = 550 m ³ RC 構造 H.W.L 213.131 L.W.L 210.131
沿 革	昭和 38 年 11 月 給水開始 平成 9 年 3 月 改良工事竣工 (計装・テレメーター) 平成 28 年 12 月 休 止

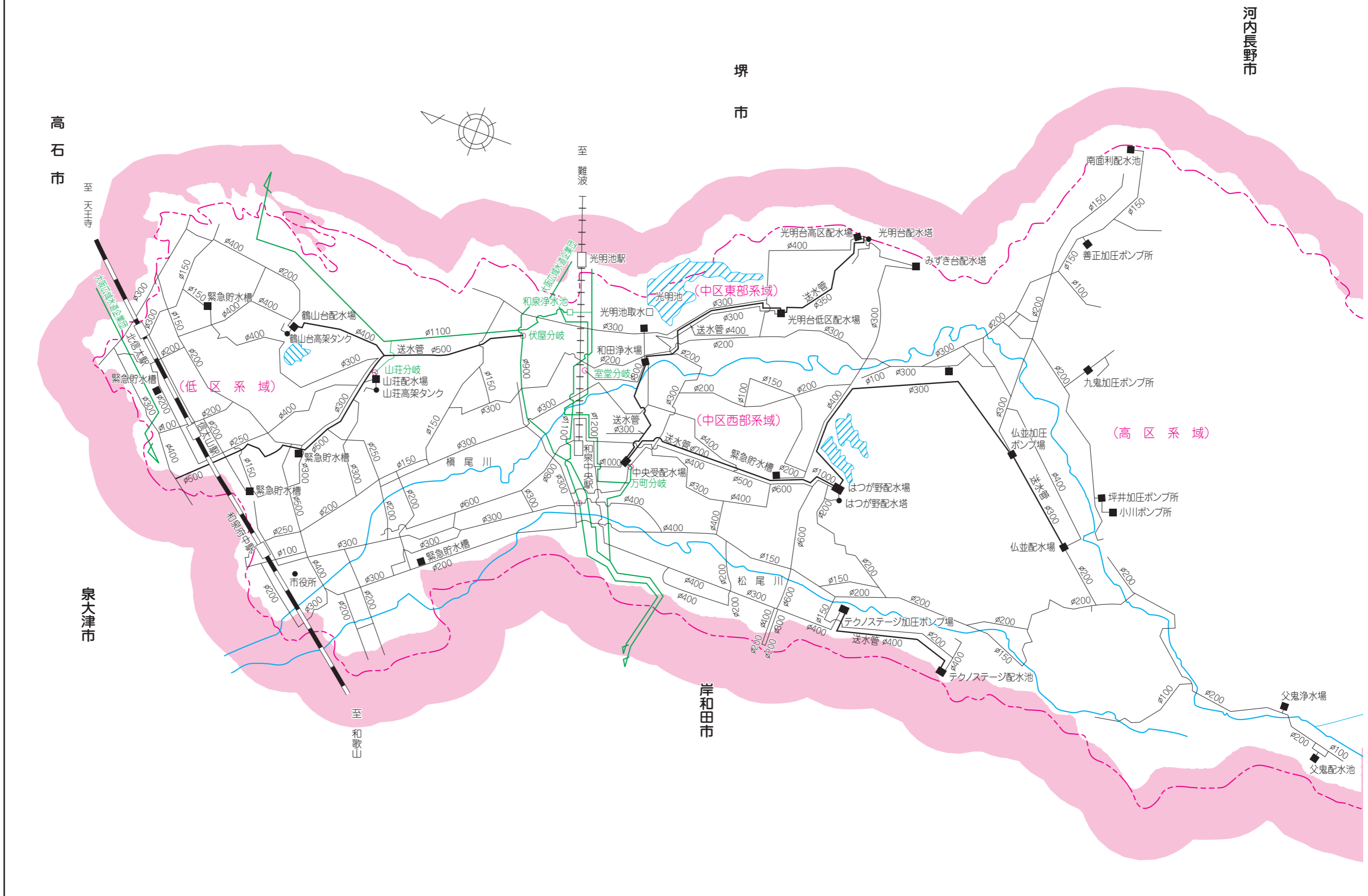
坪井配水池

所在地	和泉市大野町 1516番地
敷地面積	647.00 m ² (196.06 坪) GL 187.000
概要	受水・配水
配水	配水池：有効容量 1池1槽＝ 1,000 m ³ RC構造 H.W.L 196.800 L.W.L 186.800
沿革	昭和 54 年 3 月 給水開始 平成 28 年 11 月 休 止

福瀬加圧ポンプ所（令和6年3月解体完了予定）

所在地	和泉市福瀬町 1468番地の1
敷地面積	4.86 m ² (1.47 坪) 借地 4.86 m ² GL 151.200
概要	加圧
加圧	配水ポンプ： 5.5kW 0.05 m ³ /min 55.5m (株)荏原製作所 エバラフレッシャー 1300B I 1基(2台)
施設	ポンプ室・電気室 1棟
沿革	昭和 53 年 5 月 給水開始 平成 17 年 2 月 配水ポンプ整備 令和 2 年 8 月 休 止

(5) 施設図及び主要配管図



(6) 導・送・配水管布設延長

①管種別延長

(単位：m)

管種別	区分	令和3年度延長数	令和4年度中発生		令和4年度末	
			新設	撤去	延長数	構成比：%
鑄鉄管	導水管				0	0.00%
	送水管				0	0.00%
	配水管	14,501		406	14,095	2.41%
	計	14,501	0	406	14,095	2.41%
ダクタイル 鑄鉄管	導水管	403			403	0.07%
	送水管	23,815	402	378	23,839	4.07%
	配水管	495,611	776	1,216	495,171	84.50%
	計	519,829	1,178	1,594	519,413	88.64%
鋼管	導水管				0	0.00%
	送水管	31			31	0.01%
	配水管	1,078			1,078	0.18%
	計	1,109		0	1,109	0.19%
石綿管	導水管				0	0.00%
	送水管				0	0.00%
	配水管	111			111	0.02%
	計	111	0	0	111	0.02%
ビ硬 ニ質 ル塩 管化	導水管				0	0.00%
	送水管				0	0.00%
	配水管	6,499	2	27	6,474	1.10%
	計	6,499	2	27	6,474	1.10%
ポリ水 （P工道 E子配 管） （管） レ水 ン用 管	導水管				0	0.00%
	送水管				0	0.00%
	配水管	38,429	4,569	10	42,988	7.34%
	計	38,429	4,569	10	42,988	7.34%
ポリ水 （一工道 種2子 層） 管レ ン 用 管	導水管				0	0.00%
	送水管				0	0.00%
	配水管	1,160			1,160	0.20%
	計	1,160	0	0	1,160	0.20%
ステン レス 管	導水管				0	0.00%
	送水管	268			268	0.05%
	配水管	393			393	0.07%
	計	661	0	0	661	0.11%
計	導水管	403	0	0	403	0.07%
	送水管	24,114	402	378	24,138	4.12%
	配水管	557,782	5,347	1,659	561,470	95.81%
	計	582,299	5,749	2,037	586,011	100.00%

②口径別延長

管種	管径	令和4年度 未延長数	年 度 別 移 動			
			令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
導水管	φ300mm未満	21				
	φ300mmからφ500mm未満	382				
	φ500mmからφ1000mm未満					
	φ1000mmからφ1500mm未満					
	小 計	403	0	0	0	0
送水管	φ300mm未満	2,782				
	φ300mmからφ500mm未満	16,388	24	84	543	330
	φ500mmからφ1000mm未満	4,968				
	φ1000mmからφ1500mm未満					
	小 計	24,138	24	84	543	330
配水管	φ50mm以下	4,661	(27)	86		
	φ75mm以下	78,890	1,887	16	756	1,257
	φ100mm以下	92,261	(237)	52	241	(298)
	φ125mm以下	520				
	φ150mm以下	191,861	1,700	839	2,283	1,161
	φ200mm以下	88,715	125	(128)	760	679
	φ250mm以下	4,032				
	φ300mm以下	50,717	240	270		21
	φ350mm以下	27				
	φ400mm以下	36,654				
	φ450mm以下					
	φ500mm以下	5,113				
	φ550mm以下					
	φ600mm以下	4,482				
	φ700mm以下	23				
	φ800mm以下	2,758				
	φ900mm以下					
	φ1000mm以下	756				
	小 計	561,470	3,688	1,135	4,040	2,820
布設増合計	3,712	3,712	1,219	4,583	3,150	
総延長合計	586,011	586,011	582,299	581,080	576,497	

() は撤去延長を示す



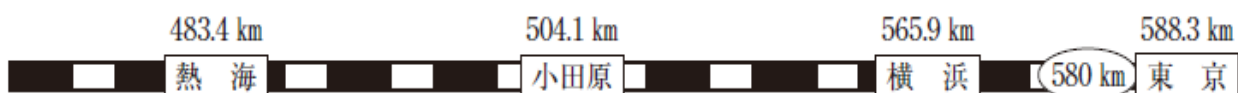
状 況	平成29年度 延長数
平成30年度	21
	382
	0
	0
0	403
	2,782
1,186	14,221
	4,968
	0
1,186	21,971
	4,602
1,257	73,717
(469)	92,972
	520
1,569	184,309
521	86,758
(105)	4,137
59	50,127
	27
	36,654
	0
	5,113
	0
	4,482
	23
	2,758
	0
	756
2,832	546,955
4,018	
573,347	569,329

(7) 消火栓設置状況

種別		消火栓		
令和4年度消火栓台数			(新設)	(撤去)
年度別設置状況	4年度	10	76	66
	3年度	5	34	29
	2年度	19	30	11
	元年度	11	34	23
	30年度	12	26	14
	29年度	17	29	12
	28年度	13	23	10
令和4年度末消火栓台数		3,714		

(8) 耐震管延長（令和4年度末）

①総管路（導水管・送水管・配水本管・配水支管）	
管路総延長	586,011m
耐震適合管延長	257,871m
耐震管延長	142,440m
耐震適合率	44.00%
耐震管率	24.31%
更新率	0.45%
②基幹管路（導水管・送水管・配水本管）	
管路総延長	37,675m
耐震適合管延長	34,948m
耐震管延長	28,863m
耐震適合率	92.76%
耐震管率	75.59%



6. 電力・薬品

- (1) 年度別使用状況
- (2) 薬品使用量
- (3) 施設別電力使用量及び使用料金

6. 電力・薬品

(1) 年度別使用状況

区分 年度	電力使用量		動力費		薬品費	
	使用量kWh	対前年度比	金額 (円)	対前年度比	金額 (円)	対前年度比
28	3,958,295	0.98	68,055,040	0.91	8,205,626	1.04
29	3,906,517	0.99	70,632,174	1.04	8,677,950	1.06
30	4,029,296	1.03	73,055,472	1.03	8,544,316	0.98
元	3,976,116	0.99	68,012,477	0.93	8,997,602	1.05
2	3,968,275	1.00	64,326,202	0.95	9,304,042	1.03
3	3,917,400	0.99	76,310,754	1.19	10,040,320	1.08
4	3,831,279	0.98	96,692,821	1.27	10,117,531	1.01

(2) 薬品使用料

項目 年度	ポリ塩化アルミニウム		苛性ソーダ			
	和田浄水場	父鬼浄水場	和田浄水場	父鬼浄水場	鶴山台配水場	山荘配水場
28	134,700	4,570	—	—	—	—
29	132,780	3,020	—	—	—	—
30	133,660	3,220	—	—	—	—
元	134,820	3,230	—	—	—	—
2	131,230	3,050	—	—	—	—
3	151,070	3,209	—	—	—	—
4	142,590	3,666	—	—	—	—

給水量1m ³ あたり		電力使用量1kwあたり料金(円・銭)
動力費(円・銭)	薬品費(円・銭)	
3.44	0.42	17.19
3.83	0.47	18.08
3.99	0.47	18.13
3.73	0.49	17.11
3.48	0.50	16.21
4.16	0.55	19.48
5.33	0.56	25.24

(kg)

中央受配水場	次亜塩素				活性炭(粉)	硫酸バンド
	和田浄水場	父鬼浄水場	九鬼簡水	その他施設	和田浄水場	和田浄水場
—	70,000	3,650	305	2,180	0	0
—	81,052	1,340	—※	760	0	11,980
—	70,350	3,450	—	1,610	2,560	0
—	72,670	3,670	—	1,680	1,140	0
—	67,870	3,980	—	510	180	0
—	68,960	4,058	—	1,040	0	0
—	71,770	4,855	—	1,870	0	0

※平成30年1月九鬼簡易水道 取水停止

(3) 施設別電力使用量及び使用料金

施設名		令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
和田浄水場	kWh	1,348,219	1,349,677	1,370,181	1,457,459	1,416,622	1,396,857	1,355,372
	料金(円)	32,549,648	23,979,426	22,462,088	24,848,560	25,764,571	25,305,425	23,673,853
中央受配水場	kWh	1,084,687	1,090,966	1,016,580	959,704	1,060,631	966,323	975,301
	料金(円)	25,852,181	19,251,769	16,700,686	16,859,512	19,716,334	17,737,341	17,021,951
光明台高区配水場	kWh	208,391	225,418	277,180	269,960	267,158	263,357	252,206
	料金(円)	5,928,505	4,889,187	5,385,829	5,476,945	5,822,890	5,699,274	5,264,863
光明台低区配水場	kWh	442,993	471,381	534,300	529,983	527,185	537,787	531,943
	料金(円)	11,233,891	8,856,800	9,149,427	9,520,713	10,120,730	10,219,247	9,563,051
父鬼浄水場	kWh	123,262	145,283	152,071	113,656	121,182	110,474	192,829
	料金(円)	2,901,715	3,134,993	3,050,615	2,595,190	2,722,298	2,539,290	3,711,701
鶴山台配水場	kWh	32,118	35,161	36,995	36,554	49,068	57,646	61,856
	料金(円)	1,199,589	1,208,163	1,197,232	1,221,163	1,312,014	1,589,921	1,809,184
テクノステージ加圧ポンプ場	kWh	175,163	178,042	182,561	199,188	186,570	177,412	181,881
	料金(円)	5,566,507	4,627,566	3,865,481	3,816,960	3,924,767	3,811,067	3,646,203
はつが野配水場	kWh	157,086	137,655	33,446	39,688	34,068	30,328	26,784
	料金(円)	4,547,101	3,258,832	841,383	984,843	936,675	861,917	724,829
テクノステージ配水池	kWh	1,542	1,570	1,569	1,506	1,458	1,364	1,454
	料金(円)	121,627	120,441	188,494	117,483	112,989	112,604	110,987
山荘配水場	kWh	38,552	37,707	37,917	38,184	38,060	38,270	38,157
	料金(円)	1,202,113	1,147,664	1,111,087	1,166,071	1,160,320	1,171,165	1,114,416
国分配水場	kWh	—	—	—	—	—	63	146,291
	料金(円)	2,640	2,558	2,422	2,500	2,418	3,727	2,707,292
善正加圧ポンプ所	kWh	37,503	36,195	31,371	31,603	46,953	58,210	64,653
	料金(円)	892,075	833,430	711,763	747,128	1,003,956	1,189,854	1,221,440
福瀬加圧ポンプ所	kWh	0	0	52	104	85	74	19,901
	料金(円)	0	76,863	114,074	164,234	158,032	162,503	471,415
小川ポンプ所	kWh	14,174	15,191	15,921	18,875	16,452	19,091	18,648
	料金(円)	442,677	444,617	437,804	500,162	454,752	503,471	478,918
坪井加圧ポンプ所	kWh	5,984	6,165	7,201	10,801	6,006	6,838	5,865
	料金(円)	283,956	280,332	290,480	352,414	26,621	283,426	259,694
みずき台配水塔	kWh	884	766	844	1,395	1,146	1,116	1,908
	料金(円)	53,234	49,546	50,301	62,669	55,837	55,687	71,986
南面利配水池	kWh	1,430	2,159	2,162	2,956	76	75	77
	料金(円)	37,132	55,789	53,026	80,626	4,457	4,436	4,213
父鬼配水池	kWh	921	925	924	925	918	901	826
	料金(円)	23,358	22,490	21,220	22,070	21,643	20,760	18,042
池上資材センター	kWh	2,216	2,031	2,512	4,534	4,336	4,216	4,495
	料金(円)	154,401	141,803	155,764	236,963	250,447	261,585	262,933
仏並加圧ポンプ場	kWh	130,218	154,388	240,009	234,612	226,792	216,457	69,765
	料金(円)	2,894,837	3,142,801	4,324,301	4,477,995	4,356,332	2,170,455	1,139,068
仏並配水場	kWh	18,918	19,622	17,832	18,080	17,403	17,216	4,415
	料金(円)	553,956	539,868	486,296	509,948	491,163	199,286	140,932
九鬼加圧ポンプ所	kWh	7,018	7,098	6,647	6,349	6,942	1,693	—
	料金(円)	251,678	245,816	228,858	230,087	236,086	62,398	—
その他施設	kWh	—	—	—	—	185	749	3,668
	料金(円)	—	—	—	—	4,380	17,691	82,255
電力使用量合計		3,831,279	3,917,400	3,968,275	3,976,116	4,029,296	3,906,517	3,958,295
電力使用料金(税込み)		96,692,821	76,310,754	70,758,631	73,994,236	78,899,702	76,282,530	73,499,226
税額		8,790,088	6,937,162	6,432,429	5,981,759	5,844,230	5,650,356	5,444,186
税抜		87,902,733	69,373,592	64,326,202	68,012,477	73,055,472	70,632,174	68,055,040

7. 水 質

- (1) 水質基準
- (2) 主な水質検査用機器
- (3) 水質試験別検査機器・項目

7. 水 質

(1) 水 質 基 準 (令和 2 年 4 月 1 日施行)

① 水質基準項目 (51 項目)

	検 査 項 目	基 準 値	区 分
1	一 般 細 菌	1 mlの検水で形成される集落数が 100 以下であること	病原生物
2	大 腸 菌	検出されないこと	
3	カドミウム及びその化合物	0.003 mg /ℓ 以下	重金属
4	水 銀 及 び そ の 化 合 物	0.0005 mg /ℓ 以下	
5	セレン及びその化合物	0.01 mg /ℓ 以下	
6	鉛 及 び そ の 化 合 物	0.01 mg /ℓ 以下	
7	ヒ素及びその化合物	0.01 mg /ℓ 以下	
8	六 価 ク ロ ム 化 合 物	0.02 mg /ℓ 以下	
9	亜 硝 酸 態 窒 素	0.04 mg /ℓ 以下	無機物質
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01 mg /ℓ 以下	
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10 mg /ℓ 以下	
12	フッ素及びその化合物	0.8 mg /ℓ 以下	
13	ホウ素及びその化合物	1.0 mg /ℓ 以下	
14	四 塩 化 炭 素	0.002 mg /ℓ 以下	一般有機 化学物質
15	1,4 - ジ オ キ サ ン	0.05 mg /ℓ 以下	
16	シス-1,2-ジクロロエチレン 及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg /ℓ 以下	
17	ジ ク ロ ロ メ タ ン	0.02 mg /ℓ 以下	
18	テトラクロロエチレン	0.01 mg /ℓ 以下	
19	トリクロロエチレン	0.01 mg /ℓ 以下	
20	ベ ン ゼ ン	0.01 mg /ℓ 以下	
21	塩 素 酸	0.6 mg /ℓ 以下	消 毒 副生成物
22	ク ロ ロ 酢 酸	0.02 mg /ℓ 以下	
23	ク ロ ロ ホ ル ム	0.06 mg /ℓ 以下	
24	ジ ク ロ ロ 酢 酸	0.03 mg /ℓ 以下	
25	ジブromoクロロメタン	0.1 mg /ℓ 以下	
26	臭 素 酸	0.01 mg /ℓ 以下	
27	総 ト リ ハ ロ メ タ ン	0.1 mg /ℓ 以下	
28	ト リ ク ロ ロ 酢 酸	0.03 mg /ℓ 以下	
29	ブromoジクロロメタン	0.03 mg /ℓ 以下	
30	ブ ロ モ ホ ル ム	0.09 mg /ℓ 以下	
31	ホルムアルデヒド	0.08 mg /ℓ 以下	
32	亜鉛及びその化合物	1.0 mg /ℓ 以下	着色
33	アルミニウム及びその化合物	0.2 mg /ℓ 以下	
34	鉄 及 び そ の 化 合 物	0.3 mg /ℓ 以下	
35	銅 及 び そ の 化 合 物	1.0 mg /ℓ 以下	
36	ナトリウム及びその化合物	200 mg /ℓ 以下	味
37	マンガン及びその化合物	0.05 mg /ℓ 以下	着色
38	塩 化 物 イ オ ン	200 mg /ℓ 以下	味
39	カルシウム, マグネシウム等(硬度)	300 mg /ℓ 以下	

40	蒸 発 残 留 物	500 mg /ℓ 以下	味
41	陰 イ オ ン 界 面 活 性 剤	0.2 mg /ℓ 以下	発泡
42	ジ エ オ ス ミ ン	0.00001 mg /ℓ 以下	かび臭
43	2-メチルイソボルネオール	0.00001 mg /ℓ 以下	
44	非 イ オ ン 界 面 活 性 剤	0.02 mg /ℓ 以下	発泡
45	フ エ ノ ー ル 類	0.005 mg /ℓ 以下	臭気
46	有機物 (全有機炭素 (TOC) の量)	3 mg /ℓ 以下	味
47	p H 値	5.8 以上 8.6 以下	基礎的 性 状
48	味	異常でないこと	
49	臭 気	異常でないこと	
50	色 度	5 度以下	
51	濁 度	2 度以下	

② 水質管理目標設定項目 (27 項目)

	検 査 項 目	目 標 値	区 分
1	アンチモン及びその化合物	0.02 mg /ℓ 以下	重金属・ 無機物質
2	ウラン及びその化合物	0.002 mg /ℓ 以下 (暫定)	
3	ニッケル及びその化合物	0.02 mg /ℓ 以下	
4	1,2-ジクロロエタン	0.004 mg /ℓ 以下	一般有機 化学物質
5	トルエン	0.4 mg /ℓ 以下	
6	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.08 mg /ℓ 以下	
7	亜 塩 素 酸	0.6 mg /ℓ 以下	消 毒 副生成物
8	二 酸 化 塩 素	0.6 mg /ℓ 以下	
9	ジクロロアセトニトリル	0.01 mg /ℓ 以下 (暫定)	
10	抱 水 ク ロ ラ ー ル	0.02 mg /ℓ 以下 (暫定)	
11	農 薬 類	検出値と目標値の比の和として、1 以下	農薬
12	残 留 塩 素	1 mg /ℓ 以下	臭気
13	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	10 mg /ℓ 以上 100 mg /ℓ 以下	味
14	マンガン及びその化合物	0.01 mg /ℓ 以下	着色
15	遊 離 炭 酸	20 mg /ℓ 以下	味
16	1,1,1-トリクロロエタン	0.3 mg /ℓ 以下	臭気
17	メチル-t-ブチルエーテル	0.02 mg /ℓ 以下	一般有機化学物質
18	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	3 mg /ℓ 以下	味
19	臭 気 強 度 (T O N)	3 以下	臭気
20	蒸 発 残 留 物	30 mg /ℓ 以上 200 mg /ℓ 以下	味
21	濁 度	1 度以下	基礎的性状
22	p H 値	7.5 程度	腐食
23	腐食性(ランゲリア指数)	マイナス1程度以上とし、極力0に近づける	
24	従 属 栄 養 細 菌	2,000 個集落 / ml以下 (暫定)	水道施設の健全性の指標
25	1,1-ジクロロエチレン	0.1 mg /ℓ 以下	一般有機化学物質
26	アルミニウム及びその化合物	0.1 mg /ℓ 以下	着色
27	ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) 及びペルフルオロオクタン酸 (PFOA)	0.00005 mg /ℓ 以下	一般有機化学物質

(2) 主な水質検査用機器

機 器 名	形 式	備 考
高周波誘導結合プラズマ質量分析装置	島 津 ICPMS - 2030	平成 30 年度 導入
還元気化水銀測定装置	日本インスツルメンツ RA - 4500	平成 26 年度 導入
P H メ ー タ ー	サーモフィッシャー ORION 3 STAR	平成 24 年度 導入
P H メ ー タ ー	オ リ オ ン 230A +	平成 19 年度 導入
塩 素 要 求 量 計	セ ン ト ラ ル 科 学 CD - 2000 型	平成 26 年度 導入
S S ろ 過 装 置	宮 本 理 研 SM - 1A 型	
電 子 天 秤	メトラー・トレド ML204T	令和元年度 導入
電 子 天 秤	// MS3002T	令和 4 年度 導入
D O メ ー タ ー	H A C H HQ40d型	平成 22 年度 導入
超音波洗浄器 (ピペット)	ヤマト科学 AW - 31 型	
超 音 波 洗 浄 器	アズワン ASU - 20M	平成 29 年度 導入
導 電 率 計 (卓 上)	堀 場 DS - 12	平成 10 年度 導入
濁 色 度 計	日 本 電 色 Water AnalyzerWA6000	平成 25 年度 導入
濁 色 度 計	// Water AnalyzerWA6000	平成 20 年度 導入
イオンクロマトグラフ	D I O N E X ICS - 1600	平成 22 年度 導入
分 光 光 度 計	島 津 UV - 2600 型	平成 23 年度 導入
超 純 水 製 造 装 置	日 本 ミ リ ポ ア MILLI - Q IQ7003	令和元年度 導入
定 温 乾 燥 機	東 洋 製 作 所 FC - 410 型	
固 相 抽 出 装 置	日本ウォーターズ SEP-PAK-コントローラ-SPC-10	平成 23 年度 導入
ホ ッ ト プ レ ー ト	アズワン CHP - 250AN	平成 27 年度 導入
業 務 用 冷 蔵 庫 (2 台)	サ ン ヨ ー MPR - 411F	平成 14 年度 導入
高 圧 滅 菌 器	ヤマト科学 ST501	令和 2 年度 導入
定 温 乾 燥 機	// DX - 68 型	
ふ 卵 器	E S P E C . C O R P BN - 120	平成 17 年度 導入
マ ッ プ ル 炉	ヤマト科学 FM - 35 型	
インキュベーター (1台)	三 洋 電 機	平成 15 年度 導入
顕 微 鏡	ニ コ ン TS100 - F 型	平成 25 年度 導入
採 水 器	宮 本 理 研	平成 14 年度 導入
ジ ャ ー テ ス タ ー	// JMD - 6S 型	
全有機炭素 (TOC) 計	島 津 TOC - L	令和 3 年度 導入
ポ ー タ ブ ル 濁 色 計	日 本 電 色 WAI	平成 24 年度 導入

(3) 水質試験別検査機器・項目

試験名称	主要機器	分析項目	
理化学 試験	<ul style="list-style-type: none"> ◦濁・色度計 ◦電子天秤 ◦乾燥機 ◦超音波洗浄器 ◦PHメーター 	<ul style="list-style-type: none"> ◦有機物 ◦PH値 ◦臭気 ◦味 ◦色度 ◦濁度 ◦蒸発残留物 	<ul style="list-style-type: none"> ◦残留塩素 ◦遊離炭酸 ◦ランゲリア指数 ◦アンモニア態窒素 ◦酸度 ◦アルカリ度
	<ul style="list-style-type: none"> ◦SSろ過装置 ◦DOメーター ◦分光光度計 ◦導電率計 ◦塩素要求量計 ◦高圧滅菌器 	<ul style="list-style-type: none"> ◦総窒素 ◦総リン ◦リン酸イオン ◦電気伝導率 	<ul style="list-style-type: none"> ◦塩素要求量 ◦溶存酸素 ◦BOD ◦浮遊物質
	<ul style="list-style-type: none"> ◦イオンクロマトグラフ ◦超純水装置 	<ul style="list-style-type: none"> ◦硝酸及び亜硝酸態窒素 ◦フッ素 ◦塩素イオン ◦シアン 	<ul style="list-style-type: none"> ◦ナトリウム ◦カルシウム、マグネシウム等（硬度） ◦臭素酸
	<ul style="list-style-type: none"> ◦高周波誘導結合プラズマ質量分析装置 	<ul style="list-style-type: none"> ◦カドミウム ◦セレン ◦鉛 ◦ヒ素 ◦六価クロム ◦亜鉛 	<ul style="list-style-type: none"> ◦鉄 ◦銅 ◦マンガン ◦アルミニウム
	<ul style="list-style-type: none"> ◦還元気化水銀測定装置 ◦全有機炭素（TOC）計 	<ul style="list-style-type: none"> ◦水銀 ◦有機物（全有機炭素の量） 	
微生物 試験	<ul style="list-style-type: none"> ◦高圧滅菌器 ◦心卵器 ◦顕微鏡 	<ul style="list-style-type: none"> ◦一般細菌 ◦大腸菌 ◦動・植物性プランクトン 	<ul style="list-style-type: none"> ◦嫌気性芽胞菌 ◦従属栄養細菌

8. 料 金

- (1) 調定及び収納
- (2) 調定状況
- (3) 収納状況
- (4) 納入方法
- (5) 不納欠損金額
- (6) 福祉減免制度実施状況

8. 料金

(1) 調定及び収納

年度別状況（各項目の数値については当該年度末決算時の数値。ただし、消火栓等の使用は除く。）

区分		調定額		収入額	
		金額（円）	対前年比（％）	金額（円）	対前年比（％）
28年度	現年度	2,704,310,053	100.7	2,420,499,226	100.8
	過年度	290,663,705	106.7	280,821,207	107.8
	合計	2,994,973,758	101.2	2,701,320,433	101.5
29年度	現年度	2,705,168,236	100.0	2,420,364,624	99.9
	過年度	291,533,716	100.3	283,205,254	100.8
	合計	2,996,701,952	100.0	2,703,569,878	100.0
30年度	現年度	2,682,546,692	99.1	2,414,451,016	99.7
	過年度	292,195,368	100.2	280,596,013	99.0
	合計	294,742,060	99.2	2,695,047,029	99.6
元年度	現年度	2,657,918,017	99.1	2,381,732,652	98.6
	過年度	277,294,891	94.9	271,907,192	96.9
	合計	2,935,212,908	98.7	2,653,639,844	98.5
2年度	現年度	2,425,078,505	91.2	2,162,207,143	90.8
	過年度	279,716,360	100.9	273,473,728	100.6
	合計	2,704,794,865	92.1	2,435,680,871	91.8
3年度	現年度	2,647,595,747	109.2	2,381,375,471	110.1
	過年度	268,562,516	96.0	263,592,910	96.4
	合計	2,916,158,263	107.8	2,644,968,381	108.6
4年度	現年度	2,626,107,407	99.2	2,356,544,136	99.0
	過年度	270,462,600	100.7	265,937,398	100.9
	合計	2,896,570,007	99.3	2,622,481,534	99.1

(税抜き)

令和5年3月31日現在

未収額		収入率
金額 (円)	対前年比 (%)	
283,810,827	99.6	89.5
9,842,498	82.0	96.6
293,653,325	98.9	90.2
284,803,612	100.3	89.5
8,328,462	84.6	97.1
293,132,074	99.8	90.2
268,095,676	94.1	90.0
11,599,355	139.2	96.0
279,695,031	95.4	90.6
276,185,365	103.0	89.6
5,387,699	46.4	98.1
281,573,064	100.7	90.4
262,871,362	95.2	89.2
6,242,632	115.9	97.8
269,113,994	95.6	90.1
266,220,276	101.3	89.9
4,969,606	79.6	98.1
271,189,882	100.8	90.7
269,563,271	101.3	89.7
4,525,202	91.1	98.3
274,088,473	101.1	90.5

(2) 調定状況

年度別・用途別

用途別	令和4年（円）	構成比（%）	令和3年（円）	構成比（%）	令和2年（円）	構成比（%）	令和元年（円）	構成比（%）	平成30年（円）
一般用	1,691,142,697	64.3	1,722,446,073	65.0	1,567,734,476	64.5	1,681,263,084	63.2	1,680,386,406
口径別	579,952,070	22.0	560,418,072	21.1	534,417,769	22.0	608,232,300	22.9	632,588,882
湯屋用	3,250,320	0.1	3,301,320	0.1	3,288,360	0.2	3,432,480	0.1	3,601,320
福祉施設用	19,978,136	0.8	20,430,092	0.8	20,179,176	0.8	20,145,870	0.8	20,267,448
連用	318,495,983	12.1	330,558,568	12.5	293,314,922	12.1	329,288,055	12.4	336,539,481
臨時用	18,001,300	0.7	13,737,050	0.5	10,458,200	0.4	16,559,250	0.6	12,750,350
九鬼簡易水道									295,928
合計	2,630,820,506	100.0	2,650,891,175	100.0	2,429,392,903	100.0	2,659,251,039	100.0	2,686,429,815

(税抜き)

構成比 (%)	平成29年(円)	構成比 (%)	平成28年(円)	構成比 (%)	対前年度比(%)						
					4	3	2	元	30	29	28
62.6	1,691,859,361	62.5	1,688,712,636	62.3	98.18	109.87	93.25	100.05	99.32	100.19	100.00
23.5	620,060,410	22.9	620,954,731	22.9	103.49	104.87	87.86	96.15	102.02	99.86	101.00
0.1	3,141,840	0.1	3,435,360	0.1	98.46	100.39	95.80	95.31	114.62	91.46	100.00
0.8	20,055,996	0.7	20,450,372	0.8	97.79	101.24	100.17	99.40	101.05	98.07	99.00
12.5	645,076,321	12.8	345,696,509	12.8	96.35	112.70	89.08	97.85	52.17	186.60	99.00
0.5	25,536,950	0.9	28,221,050	1.0	131.04	131.35	63.16	129.87	49.93	90.49	159.00
0	1,793,252	0.1	1,785,528	0.1	-	-	-	0.00	16.50	100.00	99.00
100.0	2,707,524,130	100.0	2,709,256,186	100.0	99.24	109.12	91.36	98.99	99.22	100.00	100.00

(3) 収納状況

年度別・用途別

用途別	令和4年(円)	構成比(%)	令和3年(円)	構成比(%)	令和2年(円)	構成比(%)	令和元年	構成比(%)	平成30年
一般用	1,514,832,501	64.3	1,547,325,242	65.0	1,395,314,310	61.4	1,505,807,133	63.2	1,510,263,255
口径別	519,489,128	22.0	503,440,452	21.1	544,757,418	24.0	544,757,418	22.9	568,554,925
湯屋用	2,911,458	0.1	2,965,675	0.1	3,074,268	0.1	3,074,268	0.1	3,235,364
福祉施設用	17,895,314	0.8	18,352,968	0.8	18,043,455	0.8	18,043,455	0.8	18,204,961
連用	285,291,163	12.1	296,950,728	12.5	294,923,684	13.0	294,923,684	12.4	302,458,279
臨時用	16,124,572	0.7	12,340,406	0.5	15,126,694	0.7	15,126,694	0.6	11,444,498
九鬼簡易水道									289,734
合計	2,356,544,136	100.0	2,381,375,471	100.0	2,271,239,829	100.0	2,381,732,652	100.0	2,414,451,016

(税抜き)

構成比 (%)	平成29年	構成比 (%)	平成28年	構成比 (%)	対前年度比(%)						
					4	3	2	元	30	29	28
62.6	1,517,205,565	62.7	1,508,721,373	62.3	97.90	110.89	92.66	99.70	99.54	100.56	100.00
23.5	549,398,566	22.7	554,778,423	22.9	103.19	92.42	100.00	95.81	103.49	99.03	101.00
0.1	3,098,067	0.1	3,074,034	0.1	98.17	96.47	100.00	95.02	104.43	100.78	100.00
0.8	18,491,586	0.8	18,274,769	0.8	97.51	101.72	100.00	99.11	95.45	101.19	99.00
12.5	314,574,790	13.0	308,855,701	12.8	96.07	100.69	100.00	97.51	96.15	101.85	98.00
0.5	15,974,407	0.6	25,197,397	1.0	130.66	81.58	100.00	132.17	71.64	63.40	159.00
0.0	1,621,643	0.1	1,597,529	0.1	-	-	-	-	17.87	101.51	99.00
100.0	2,420,364,624	100.0	2,420,499,226	100.0	98.96	104.85	95.36	98.64	99.76	99.99	100.00

(4) 納入方法

年度別納付取扱状況

年度	区分	口座振替		振込納入	
		件	%	件	%
28		47,447	77.1	13,439 (10,940)	21.9 (17.8)
29		47,959	77.0	13,593 (11,022)	21.9 (17.8)
30		18,347	77.0	13,803 (10,483)	22.0 (16.7)
元		48,835	77.1	13,846 (11,548)	21.8 (18.2)
2		49,285	77.2	13,828 (11,412)	21.7 (17.9)
3		49,622	77.1	14,046 (11,879)	21.8 (18.5)
4		49,708	76.7	14,350 (12,306)	22.2 (19.0)

1. 昭和58年10月から納付制度実施

2. 振込納入（ ）の内数はコンビニ収納分

(5) 不納欠損金額

(税抜き)

不納欠損金額			不納欠損金額		
調定年度	金額(円)	処分年月	調定年度	金額(円)	処分年月
8	1,901,752	14年3月末	19	2,898,732	25年3月末
9	1,237,837	15年3月末	20	7,001,929	26年3月末
10	1,615,857	16年3月末	21	4,472,890	27年3月末
11	1,418,098	17年3月末	22	3,527,515	28年3月末
12	2,000,077	18年3月末	23	1,769,902	29年3月末
13	2,565,014	19年3月末	24	936,678	30年3月末
14	3,538,508	20年3月末	25	2,102,624	31年3月末
15	3,241,000	21年3月末	26	766,097	令和2年3月末
16	2,447,580	22年3月末	27	329,186	令和3年3月末
17	3,486,520	23年3月末	28	561,345	令和4年3月末
18	2,844,345	24年3月末			

小中学校・公園・老人集会所等		臨時栓		計
件	%	件	%	件
379	0.6	265	0.4	61,530
380	0.6	324	0.5	62,256
380	0.6	294	0.4	62,824
379	0.6	313	0.5	63,373
379	0.6	323	0.5	63,815
377	0.6	341	0.5	64,386
376	0.6	317	0.5	64,751

(6) 福祉減免制度実施状況

年度別実施状況

(税抜き)

世帯別 年度別		ひとり親世帯		高齢者世帯		重度障がい者世帯		計	
		件	構成比	件	構成比	件	構成比	件	構成比
30年度	申請	494	14%	2,584	72%	486	14%	3,564	100%
	承認	431	13%	2,514	74%	454	13%	3,399	100%
	減免額 (円)	2,943,250	14%	14,935,250	71%	3,106,250	15%	20,984,750	100%
元年度	申請	492	14%	2,577	72%	484	14%	3,553	100%
	承認	426	13%	2,475	74%	446	13%	3,347	100%
	減免額 (円)	2,888,750	14%	14,923,180	71%	3,090,800	15%	20,902,730	100%
2年度	申請	477	13%	2,584	73%	490	14%	3,551	100%
	承認	413	12%	2,503	74%	473	14%	3,389	100%
	減免額 (円)	2,866,794	14%	14,953,212	71%	3,105,994	15%	20,926,000	100%
3年度	申請	472	14%	2,516	72%	497	14%	3,485	100%
	承認	400	12%	2,423	74%	459	14%	3,282	100%
	減免額 (円)	2,756,500	13%	14,712,000	72%	3,101,750	15%	20,570,250	100%
4年度	申請	478	13%	2,585	72%	520	15%	3,583	100%
	承認	397	12%	2,439	74%	468	14%	3,304	100%
	減免額 (円)	2,772,250	13%	14,782,250	72%	3,106,250	15%	20,660,750	100%

9. 資 料

- (1) 水道料金の変せん
- (2) 現行水道料金
- (3) 町名別調定区分表
- (4) 広報の実績及び主な記事

9. 資料

(1) 水道料金の変せん

期 間		昭 和 30 年 9 月 ~ 昭 和 35 年 7 月			昭 和 32 年 6 月 ~		
事 業 名		和 泉 町 他 2 か 町 村 上 水 道 組 合			北 田 中 簡		
種 類	用 途 別	基 本 料 金		超 過 料 金 (円/m ³)	基 本 料 金		
		基本水量 (m ³)	金額 (円)		基本水量 (m ³)	金額 (円)	
計 量 せ ん	専用せん	家 事 用	8	240	35	10	250
	〃	官公署・学校・病院用	20	660	40	20	400
	〃	学校及び公共プール用					
	〃	湯屋営業用	100	2,600	30		
	〃	工 場 用				12	300
	〃	臨 時 用					
	共用せん	家 事 用	7	200	35		
	連用せん	家 事 用					
私 設 消 火 栓	—				1栓1回10分間	200	

事 業 名		(イ) 和 泉 水 道			(ロ) 北 田 中 簡 易 水 道			
種 類	用 途 別	基 本 料 金		超 過 料 金 (円/m ³)	基 本 料 金		超 過 料 金 (円/m ³)	
		基本水量 (m ³)	金額 (円)		基本水量 (m ³)	金額 (円)		
計 量 せ ん	専用せん	家 事 用	10	350	35	10	300	30
	〃	官公署・学校・病院用	20	600	35	20	500	30
	〃	学校及び公共プール用	300	6,000	25	300	6,000	25
	〃	湯屋営業用	200	6,000	35	200	5,000	30
	〃	工 場 用	100	3,500	35	100	3,000	30
	〃	臨 時 用	10	500	55	10	400	50
	共用せん	家 事 用	10	300	35	10	250	30
	連用せん	家 事 用	10	350	35	—	—	—
私 設 消 火 栓	—	1栓1回5分間	300	—	1栓1回5分間	250	—	
期 間	—	昭 和 36 年 4 月 ~ 昭 和 40 年 3 月			昭 和 36 年 4 月 ~ 昭 和 40 年 3 月			

昭和36年3月	昭和35年8月～昭和36年3月		
易水道	(イ) 和泉上水道		
超過料金(円/m ³)	基本料金		超過料金(円/m ³)
	基本水量(m ³)	金額(円)	
25	10	350	35
20	20	600	35
	300	6,000	25
	営業20 湯屋200	800 6,000	45 35
25	100	3,500	35
		1m ³ につき 30・40	
	10	300	35
	1栓1回5分間	300	

(ハ) 松尾上水道			(ニ) 父鬼簡易水道			(ホ) 池田広域簡易水道		
基本料金		超過料金(円/m ³)	基本料金		超過料金(円/m ³)	基本料金		超過料金(円/m ³)
基本水量(m ³)	金額(円)		基本水量(m ³)	金額(円)		基本水量(m ³)	金額(円)	
10	350	50	10	350	50	10	350	35
20	600	50	20	600	50	20	600	35
300	6,000	35	300	6,000	35	300	6,000	25
200	6,000	50	200	6,000	50	200	6,000	35
100	3,500	50	100	3,500	50	100	3,500	35
10	500	65	10	500	65	10	500	55
10	300	50	10	300	50	10	300	35
—	—	—	—	—	—	10	350	35
1栓1回5分間	300	—	1栓1回5分間	300	—	1栓1回5分間	300	—
昭和36年4月～昭和40年3月			昭和36年4月～昭和40年3月			昭和37年5月～昭和40年3月		

事業名		(イ) 和泉水道			
種類	用途別	基本料金		超過料金(円/m ³)	
		基本水量(m ³)	金額(円)		
計 量 せ ん	専用せん	家事用	8	300	50
	〃	官公署・学校・病院用	20	600	50
	〃	学校及び公共プール用	300	6,000	50
	〃	湯屋営業用	200	6,000	50
	〃	工場用	100	3,500	50
	〃	臨時用	10	500	60
	共用せん	家事用	8	250	50
	連用せん	家事用	8	300	50
私設消火栓	—	1栓1回5分間	400	—	
期間	昭和40年4月～昭和44年1月				

事業名		(イ) 和泉水道				値上げ率	
種類	用途別	基本料金		超過料金(円/m ³)	基本料金%	超過料金%	
		基本水量(m ³)	金額(円)				
計 量 せ ん	専用せん	家事用	8	400	70	33	40
	〃	官公署・学校・病院用	20	800	70	33	40
	〃	学校及び公共プール用	300	8,000	70	33	40
	〃	湯屋営業用	200	8,000	70	33	40
	〃	工場用	100	4,600	70	31	40
	〃	臨時用	10	1,000	100	100	67
	共用せん	家事用	8	300	70	20	40
	連用せん	家事用	8	400	70	33	40
私設消火栓	—	1栓1回5分間	400	—	—	—	
期間	昭和44年2月～昭和53年1月						

事業別	用途別及び口径別	月 額 使 用 料			値 上 げ 率	
		メーター口径	基本料金	従量料金（1㎡につき）	基本料金%	従量料金%
和	一 般 用	25mm以下	8㎡まで 700円	9㎡～20㎡まで 90円	75	29
				21㎡～30㎡まで 100円		43
				31㎡～50㎡まで 120円		71
				51㎡以上 140円		100
	口 径 別	40mm	1,800円	1㎡～20㎡まで 90円	—	—
50mm	3,200円	21㎡～30㎡まで 100円				
75mm	9,200円	31㎡～50㎡まで 120円				
100mm	17,300円	51㎡以上 140円				
150mm以上	44,000円					
上	湯 屋 用	—	200㎡まで 11,000円	201㎡以上 80円	38	14
	福 祉 施 設 用	—	100㎡まで 5,500円	101㎡以上 80円	—	—
水	共 用	25mm以下	8㎡まで 500円	9㎡～20㎡まで 80円 21㎡以上 90円	25	14 29
	連 用	25mm以下	8㎡まで 700円	9㎡～20㎡まで 90円	75	29
21㎡～30㎡まで 100円				43		
31㎡～50㎡まで 120円				71		
51㎡以上 140円				100		
道	臨 時 用	—	10㎡まで 1,800円	11㎡以上 180円	80	80
九鬼 簡易水道	一戸当たり定額制	—	350円	—	75	—
昭 和 53 年 2 月 ～ 昭 和 53 年 9 月						

事業別	用途別及び口径別	月 額 使 用 料			値 上 げ 率	
		メーター口径	基本料金	従量料金（1㎡につき）	基本料金%	従量料金%
和	一 般 用	25mm以下	8㎡まで 700円	9㎡～20㎡まで 100円	—	11
				21㎡～30㎡まで 110円		10
				31㎡～50㎡まで 130円		8
				51㎡以上 170円		21
	口 径 別	40mm	2,000円	1㎡～20㎡まで 100円	11	
50mm	3,500円	21㎡～30㎡まで 110円	9	11		
75mm	10,200円	31㎡～50㎡まで 130円	11	10		
100mm	19,300円	51㎡以上 170円	12	8		
150mm以上	49,000円		11	21		
上	湯 屋 用	—	200㎡まで 12,000円	201㎡以上 90円	9	13
	福 祉 施 設 用	—	100㎡まで 6,000円	101㎡以上 90円	9	13
水	共 用	25mm以下	8㎡まで 500円	9㎡～20㎡まで 90円	—	13
				21㎡以上 100円		11
道	連 用	25mm以下	8㎡まで 700円	9㎡～20㎡まで 100円	—	11
				21㎡～30㎡まで 110円		10
				31㎡～50㎡まで 130円		8
				51㎡以上 170円		21
臨 時 用	—	10㎡まで 2,000円	11㎡以上 200円	11	11	
九鬼簡易水道	一戸当たり定額制	—	350円	—	—	—
昭 和 53 年 10 月 ～ 平 成 5 年 12 月						

平均改定率25.21%

事業別	用途別及び口径別	月 額 使 用 料			値 上 げ 率	
		メーター口径	基本料金	従量料金（1㎡につき）	基本料金%	従量料金%
和	一 般 用	25mm以下	10㎡まで 900円	11㎡～20㎡まで 130円	—	—
				21㎡～30㎡まで 150円		36
				31㎡～50㎡まで 170円		31
				51㎡以上 220円		29
泉	口 径 別	40mm	2,000円	1㎡～20㎡まで 130円	—	30
		50mm	3,500円	21㎡～30㎡まで 150円	—	36
		75mm	10,200円	31㎡～50㎡まで 170円	—	31
		100mm	19,300円	51㎡～100㎡まで 220円	—	—
		150mm以上	49,000円	101㎡～200㎡まで 240円 201㎡以上 260円	— —	— —
上	湯 屋 用	—	200㎡まで 12,000円	201㎡以上 110円	—	22
	福 祉 施 設 用	—	100㎡まで 6,000円	101㎡以上 110円	—	22
水	共 用	25mm以下	10㎡まで 700円	11㎡～20㎡まで 110円 21㎡以上 130円	—	— 30
	道	25mm以下	10㎡まで 900円	11㎡～20㎡まで 130円	—	—
21㎡～30㎡まで 150円				36		
31㎡～50㎡まで 170円				31		
51㎡以上 220円				29		
	臨 時 用	—	10㎡まで 4,000円	11㎡以上 400円	100	100
九鬼簡易水道		25mm以下	10㎡まで 900円	11㎡以上 60円	—	—
平成 6 年 1 月 ～ 平成 14 年 3 月						

平均改定率14.63%

事業別	用途別及び口径別	月 額 使 用 料			値 上 げ 率	
		メーター口径	基本料金	従量料金（1㎡につき）	基本料金%	従量料金%
和	一 般 用	25mm以下	500円	1㎡～10㎡まで 50円	—	—
				11㎡～20㎡まで 150円		15
				21㎡～30㎡まで 180円		20
				31㎡～50㎡まで 210円		24
				51㎡～100㎡まで 240円		—
				101㎡以上 270円		—
	口 径 別	40mm 50mm 75mm 100mm 150mm以上	2,400円 4,100円 11,700円 22,000円 55,000円	1㎡～20㎡まで 150円	20	15
				21㎡～30㎡まで 180円	17	20
				31㎡～50㎡まで 210円	14	24
				51㎡～100㎡まで 240円	14	9
101㎡～200㎡まで 270円				12	13	
湯 屋 用	—	2,000円	1㎡～200㎡まで 50円	△17	—	
			201㎡以上 130円	—	18	
			1㎡～100㎡まで 50円	△17	—	
福 祉 施 設 用	—	1,000円	101㎡以上 130円	—	18	
			1㎡～10㎡まで 20円	—	—	
共 用	25mm以下	500円	11㎡～20㎡まで 130円	—	18	
			21㎡以上 150円	—	15	
			1㎡～10㎡まで 50円	—	—	
水	連 用	25mm以下	500円	11㎡～20㎡まで 150円	—	15
				21㎡～30㎡まで 180円		20
				31㎡～50㎡まで 210円		24
				51㎡～100㎡まで 240円		—
				101㎡以上 270円		—
				1㎡以上 500円		—
道	臨 時 用	25mm以上 500円	500円	—	—	
		40mm 2,400円				
		50mm 4,100円				
		75mm 11,700円				
		100mm 22,000円				
		150mm以下 55,000円				
九鬼簡易水道	25mm以下	500円	1㎡～10㎡ 50円	—	—	
			11㎡以上 70円		17	

平成 14 年 4 月 ～ 平成 26 年 3 月

(2) 現行水道料金

水道料金算定一覧表（平成26年4月計量分から適用）

【1カ月用・消費税抜額】

用途別及び 口径別	メーター口径	1カ月基本料金	1カ月分使用水量 (従量水量)	使用水量 1m ³ につき
一般用	25mm以下	500円	1m ³ ~10m ³	46円
			11m ³ ~20m ³	138円
			21m ³ ~30m ³	165円
			31m ³ ~50m ³	193円
			51m ³ ~100m ³	220円
			101m ³ 以上	248円
口径別	40mm	2,400円	1m ³ ~20m ³	138円
	50mm	4,100円	21m ³ ~30m ³	166円
	75mm	11,700円	31m ³ ~50m ³	194円
	100mm	22,000円	51m ³ ~100m ³	221円
	150mm以上	55,000円	101m ³ ~200m ³	249円
			201m ³ ~500m ³	286円
			501m ³ 以上	322円
湯屋用	—	2,000円	1m ³ ~200m ³	46円
			201m ³ 以上	120円
福祉施設用	—	1,000円	1m ³ ~100m ³	46円
			101m ³ 以上	120円
連用	25mm以下	500円	1m ³ ~10m ³	46円
			11m ³ ~20m ³	138円
			21m ³ ~30m ³	165円
			31m ³ ~50m ³	193円
			51m ³ ~100m ³	220円
			101m ³ 以上	248円
臨時用	25mm以上	500円	1m ³ 以上	500円
	40mm	2,400円		
	50mm	4,100円		
	75mm	11,700円		
	100mm	22,000円		
	150mm以下	55,000円		

水道料金算定式（水道使用料金）×消費税率

水道使用料金に消費税率を乗じた額に1円未満の端数が生じたときは、切り下げます。

大阪府下 水道月額料金比較 (税込) ※メーター使用料を含む

順位は20m³を基準に高い順に表示 (令和5年9月1日現在)

市 町 村 名	現行料金 適用年月日	10m ³		20m ³		基本料金 (円)	
		金額(円)	順位	金額(円)	順位		
豊能町	R5.4.1	2,975	1	4,955	1	0 m ³ まで	1,255
能勢町	H19.4.1	2,459	2	4,769	2	8 m ³ まで	1,892
千早赤阪村	R4.4.1	2,398	3	4,433	3	0 m ³ まで	1,298
岬町	H19.5.1	1,720	4	3,810	4	6 m ³ まで	910
河南町	R4.4.1	1,677	6	3,525	5	0 m ³ まで	489
藤井寺市	R2.10.1	1,034	33	3,278	6	8 m ³ まで	968
泉南市	H30.10.1	1,697	5	3,204	7	0 m ³ まで	908
太子町	H22.10.1	1,672	7	3,190	8	0 m ³ まで	418
阪南市	H29.4.1	1,367	10	3,122	9	8 m ³ まで	1,016
泉大津市	H24.4.1	968	41	3,113	10	0 m ³ まで	466
熊取町	R4.4.1	1,320	11	3,090	11	0 m ³ まで	550
田尻町	H17.4.1	1,320	12	3,070	12	8 m ³ まで	880
松原市	H26.4.1	1,230	14	3,067	13	6 m ³ まで	726
忠岡町	H25.10.1	1,397	8	3,047	14	8 m ³ まで	902
河内長野市	H20.4.1	1,127	22	2,975	15	0 m ³ まで	720
島本町	H22.12.1	1,386	9	2,926	16	0 m ³ まで	726
泉佐野市	H21.4.1	1,166	18	2,926	17	0 m ³ まで	550
四條畷市	H22.10.1	1,130	21	2,923	18	5 m ³ まで	805
箕面市	H30.7.1	1,058	26	2,906	19	8 m ³ まで	754
高石市	H22.4.1	1,250	13	2,845	20	0 m ³ まで	500
富田林市	R3.10.1	1,133	20	2,816	21	8 m ³ まで	796
交野市	H12.10.1	1,196	15	2,813	22	8 m ³ まで	847
摂津市	H22.10.1	1,183	16	2,778	23	6 m ³ まで	748
八尾市	H22.10.1	1,034	34	2,772	24	0 m ³ まで	660
羽曳野市	H26.10.1	984	40	2,744	25	8 m ³ まで	698
門真市	R3.1.1	985	39	2,723	26	10 m ³ まで	985
大阪狭山市	H22.7.1	946	42	2,706	27	10 m ³ まで	946
吹田市	R2.4.1	1,166	17	2,706	28	6 m ³ まで	990
柏原市	H15.8.1	1,028	35	2,678	29	5 m ³ まで	704
岸和田市	H22.6.1	1,056	27	2,673	30	5 m ³ まで	638
池田市	H26.1.1	1,001	36	2,651	31	8 m ³ まで	781
寝屋川市	H23.10.1	1,060	25	2,600	32	10 m ³ まで	1,060
東大阪市	H23.3.1	992	37	2,598	33	7 m ³ まで	668
大東市	H22.10.1	1,042	31	2,582	34	10 m ³ まで	990
和泉市	H26.4.1	1,056	29	2,574	35	0 m ³ まで	550
守口市	H22.8.1	1,098	24	2,572	36	8 m ³ まで	810
豊中市	H22.11.1	1,056	28	2,497	37	0 m ³ まで	836
堺市	R1.12.1	1,122	23	2,464	38	0 m ³ まで	715
高槻市	H30.7.1	935	43	2,420	39	0 m ³ まで	759
貝塚市	H14.4.1	1,034	32	2,409	40	10 m ³ まで	1,034
枚方市	R3.4.1	992	38	2,290	41	0 m ³ まで	726
大阪市	H27.10.1	1,045	30	2,112	42	0 m ³ まで	935
茨木市	H22.10.1	1,155	19	2,035	43	0 m ³ まで	550
府内平均	-	1,271	-	2,939	-	-	-

- ・現行料金適用年月日は、消費税及び地方消費税(以下、消費税等という。)の転嫁のみの改定を反映してない。
- ・各料金は、消費税等を含む。(メーター使用料については口径13mmとする。)
- ・基本料金には、メーター使用料は含まない。
- ・平均料金は、単純平均である。

(3) 町名別調定区分表

A地区		B地区		備考
2・4・6・8・10・12月調定		1・3・5・7・9・11月調定		
1 回 目	王 子 町 尾 井 町 鶴 山 台	1 回 目	府 中 町 井 ノ 口 町 伯 太 町 桑 原 町	※1日～6日頃に検針
2 回 目	上 太 町 葛 の 葉 町 富 秋 町 上 代 町 幸 町 舞 町 小 野 町	2 回 目	肥 子 町 小 田 町 和 気 町 繁 和 町 黒 鳥 町 池 上 町 山 荘 町 観 音 寺 町	※5日～12日頃に検針
3 回 目	室 堂 町 伏 屋 町 和 田 町 三 林 町 浦 田 町 鍛 治 屋 町 納 花 町 平 井 町 黒 石 町 下 宮 町 北 田 中 町 岡 町 福 瀬 町 小 野 田 町 仏 並 町 坪 井 町 善 正 町 南 面 利 町	3 回 目	今 福 町 唐 国 町 内 田 町 春 木 町 松 尾 寺 町 久 井 町 若 檉 町 春 木 川 町 池 田 下 町 父 鬼 町 大 野 町 緑 ケ 丘 町 あ ゆ み 野 テクノステージ	※10日～17日頃に検針
4 回 目	東 阪 本 町 万 町 国 分 町 光 明 台 青 葉 台 ま な び 野 の そ み 野 は つ が 野 み ず き 台 九 鬼 町	4 回 目	一 条 院 町 芦 部 町 阪 本 町 寺 門 町 寺 田 町 箕 形 町 弥 生 町 い ぶ き 野	※16日～22日頃に検針

(4) 広報の実績及び主な記事

名称	発行年月日	配布方法	主な掲載内容
広報いずみ	5.6.1	全戸配布	水道週間(5.6.1.～5.6.7)
	5.7.1	//	和田浄水場夏休み施設見学会(5.8.5)
	5.12.1	//	水道管にも冬支度をしましょう(6.12.1) 防寒・凍結時・漏水時
上下水道 だより	4.7.1	全戸配布	No.52 しっかり水分補給で夏を楽しく乗り切りましょう
	5.1.1	//	No.53 私たちの街の上水道と下水道
	5.7.1	//	No.54 暮らしの中の下水道
	6.1.1	//	No.55 未来のために、確かな水を
水道 ホームページ		全国版	水道財状況・拡張事業内容・和泉のすいどう・水道施設整備計画・経営戦略・福祉助成制度・給水装置工事関連情報・キッズページ(水道 Q&A) など

